



Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)

Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road
Palo Alto, CA 94303
U.S.A. 650-960-1300

Part Number 806-4118-10
2000年3月

Copyright 2000 Sun Microsystems, Inc. 901 San Antonio Road, Palo Alto, California 94303-4900 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

RESTRICTED RIGHTS: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリコービイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, docs.sun.com, AnswerBook, AnswerBook2, SunStore, docs.sun.com, Java, JDK, Solaris Web Start, JumpStart, AdminTools, NFS, JavaSpaces, DiskSuite, OpenWindows, XView, DeskSet, SunScreen, Solstice AdminSuite, Solstice AutoClient, HotJava は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社で開発されたソフトウェアです。(Copyright OMRON Co., Ltd. 1999 All Rights Reserved.)

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK8」は株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK8」にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政省が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 8 (Intel Platform Edition) Online Release Notes Update

Part No: 806-3772-10

Revision A



目次

はじめに 19

1. Solaris 8 の製品構成 25

製品の種類と出荷形態 25

Solaris 8 の構成 25

Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD (Intel 版) 26

Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD (Intel 版) 26

Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD (Intel 版) 26

Solaris 8 LANGUAGES CD (Intel 版) 27

Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) フロッピーディスク 27

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (英語 + ヨーロッパ言語版) 28

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) 28

Solaris 8 メディア一覧 (Contents of Solaris 8 Media) 28

Solaris 8 インストールの手引き (Solaris 8 Start Here) 29

Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版) (Solaris 8 (Intel Platform Edition) Release Notes) 29

Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書) 30

Binary Code License (Terms & Conditions) 30

2. インストールにあたって 31

カスタマサポートへの連絡	31
必要なメモリー	32
必要なスワップ領域	32
必要なディスク容量	33
Solaris 8 CD のソフトウェア容量	33
Solaris DOCUMENTATION CD のソフトウェア容量	34
日本語環境をインストールするために必要な設定	36
デフォルトロケールの設定	36
インストール言語の設定	37
Solaris 8 ソフトウェアのインストール	39
Solaris 8 のインストールについて	39
対話式インストール	40
カスタム JumpStart	42
Solaris Web Start 3.0	43
Solaris Web Start 3.0 CLI インストール	45
Solaris 8 へのアップグレード	45
インストールサーバーの作成方法	46
3. インストールに関する注意事項とバグ情報	51
対話式インストールの前に知っておく必要がある注意事項とバグ情報	51
ロケール選択機構の変更	52
symhis1、mega、cpqncr などのディスクコントローラドライバがインストールされているシステムに、8 G バイトを超えるパーティションを作成できない	53
Solaris 8 オペレーティング環境へアップグレードする前に、DPT PM2144UW コントローラの BIOS を最新のものに更新する必要がある	53
BIOS バージョン GG.06.13 を使って Hewlett-Packard (HP) Vectra XU シリーズのシステムをアップグレードできない	54
PCI-IDE システム上で DMA が無効になる	55
DiskSuite でデータが失われる可能性がある (バグ ID: 4121281)	55

対話式インストール中に発生するバグ 56

「媒体の指定」画面で、存在しない Solaris 8 Localizations CD が要求される (バグ ID: 4282513) 56

ddi: net: x86 ネットワークブートは、特定のタイプの一次ネットワークインタフェース上でしか動作しない (バグ ID: 1146863) 56

インストールの進捗を示すスケール表示が不正確 (バグ ID: 1266156) 57

ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (バグ ID: 4189127) 57

パスに # が含まれていてもエラーにならない (バグ ID: 4294586) 58

メディアが入っていない Zip ドライブが接続されていると、演算例外が発生する (バグ ID: 4307035) 58

[日本語環境のみ] 日本語端末からの tip(1) 接続によるインストールで、インストール画面が英語で表示される (バグ ID: 4313411) 58

カスタム JumpStart インストールに関するバグ情報 59

カスタム JumpStart は Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD と LANGUAGES CD をインストールしない (バグ ID: 4304912) 59

Solaris Web Start 3.0 インストールに関する注意事項とバグ情報 60

Solaris Web Start インストールにおいて必要なパーティション 60

Solaris Web Start 3.0 を使用して英語の AnswerBook ドキュメントをインストールする方法 61

Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD の挿入について 62

Live Upgrade のインストール画面の表示 62

アップグレードに関する注意事項とバグ情報 62

Solaris 8 へのアップグレードインストールの範囲 63

Solaris Web Start 3.0 を使用して Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードできない 63

対話式インストールによるアップグレードでのロケール選択 63

[日本語環境のみ] 「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」が入ったシステムからのアップグレード 63

[日本語環境のみ] cs00 に関するアップグレード時の注意事項 64

Solaris Easy Access Server (SEAS) 64

Priority Paging 機能と Solaris 8 キャッシュアーキテクチャ 65

アップグレードを行うと、システムのデフォルトロケールが正しく設定されない (バグ ID: 4233535) 66

[日本語環境のみ] アップグレード後のログファイル中に警告メッセージ `no longer a symbolic link` が出力されることがある (バグ ID: 4279768) 66

WBEM 1.0 がインストールされている Solaris 7 オペレーティング環境から Solaris 8 にアップグレードすると、WBEM 2.0 が動作しない (バグ ID: 4274920) 66

アップグレードできるシステムが、ディスク容量不足のためにアップグレードできないとして間違っって判断される (バグ ID: 4041733) 67

アップグレード時に `SUNWeeudt` のインストールが部分的に失敗する (バグ ID: 4304305) 68

インストール全般に関する注意事項とバグ情報 68

スワップ不足によって Solaris Web Start 2.x インストールが失敗する (バグ ID: 4166394) 69

[日本語環境のみ] デフォルトロケールに関係なくインストールログが `EUC` テキストファイルで生成される 69

[日本語環境のみ] Solaris 8 でサポートされる日本語入力システム 69

[日本語環境のみ] 日本語 106/109 キーボードに関する注意事項 70

[日本語環境のみ] ブート時に周辺デバイスの設定不備を告げるメッセージが表示される 70

[日本語環境のみ] 日本語キーボード入力 71

英語および日本語以外のロケールに関するバグ情報 72

一部のメッセージやダイアログが、各言語ではなく英語で表示される (バグ ID: 4283839) 72

ヨーロッパ言語のロケールのソフトウェアのインストール (バグ ID: 4299758) 72

スウェーデン語ロケール: インストール中に英語のダイアログボックスが表示される (バグ ID: 4300655) 72

フランス語およびイタリア語のインストールウィザードで、`CD` タイトルが `{0}` と表示される (バグ ID: 4302549) 73

de_AT.ISO8859-15 ロケールおよび fr_BE.ISO8859-15 ロケールで、対話式 GUI インストール (suninstall) が失敗する (バグ ID: 4305420) 73

ドイツ語ロケール: Web Start Kiosk でプロキシを設定するダイアログの「OK」ボタンおよび「Cancel」ボタンが「Undefined」と表示される (バグ ID: 4306260) 73

4. 実行時の注意事項とバグ情報 75

GUI 全般 76

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールとフォントに関する注意事項 76

[日本語環境のみ] Solaris CDE アプリケーションと ja_JP.UTF-8 ロケールのフォントに関する注意事項 78

[日本語環境のみ] DPS 上でのユーザー定義文字のアウトラインフォント指定に関する注意事項 79

共通デスクトップ環境 (CDE) 79

画面ブランク (モニタ省電力機能) のユーザー設定が無視される 80

dtmail はデフォルトで core ファイルを生成しない (バグ ID: 4249157) 80

PDA Sync がデスクトップ上の最後のエントリを削除できない (バグ ID: 4260435) 80

国際化 (複数バイト文字) 対応の PDA デバイスとのデータ交換を PDA Sync がサポートしていない (バグ ID: 4263814) 81

PDA Sync のオンラインヘルプ内での操作が無効になる (バグ ID: 4260411) 81

Solaris 8 オペレーティング環境で Motif プログラムをコンパイルする時に問題が発生する (バグ ID: 4172061) 81

フロッピーディスクのフォーマットウィンドウが終了しない (バグ ID: 4211612) 82

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケール および ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項 82

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールでは、カレンダー (dtcm) から印刷できない (バグ ID: 4092495) 84

[日本語環境のみ] メールプログラムで、日本語をキーワードとして検索できない (バグ ID: 1263296) 84

[日本語環境のみ] 移動メニューの設定で追加したメールボックス名が文字化けする (バグ ID: 4066565) 84

[日本語環境のみ] メールプログラムのツールバーボタンに不要なニーモニックが表示される (バグ ID: 4064006) 85

[日本語環境のみ] 日本語名のファイルが添付されたメールを転送する際、ファイル名がデコードされないで表示される (バグ ID: 4305194) 85

[日本語環境のみ] サブジェクトが日本語のメールに対して不在返信通知をする場合、不在返信メッセージ内のサブジェクトの部分が文字化けする (バグ ID: 4294887) 85

[日本語環境のみ] ワークスペース・メニューに無効なエントリがある (バグ ID: 4302027) 85

[日本語環境のみ] マウスの右クリックによって、フロントパネルがアイコン化されてしまう (バグ ID: 4305195) 86

OpenWindows 86

OpenWindows のアプリケーション起動時の注意事項 87

アイコン・エディタが強制的に終了することがある (バグ ID: 4298474) 87

アーカイブライブラリ 87

[日本語環境のみ] 日本語 OpenWindows の起動とロケールの制限事項 87

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8、ja_JP.eucJP ロケールに関する注意事項 88

[日本語環境のみ] 日本語 OpenWindows 初期画面のヘルプビューア 89

[日本語環境のみ] pageview に関する注意事項 89

[日本語環境のみ] mp コマンドで印刷する場合の制限事項 89

[日本語環境のみ] EUC コードセット 3 の使用上の制限事項 89

[日本語環境のみ] minm12、minm14、k14 ではボールドフォントを正しく表示できない (バグ ID: 1173970, 1176300) 89

[日本語環境のみ] 日本語ビットマップフォント 90

[日本語環境のみ] XView ツールキットの制限事項 90

[日本語環境のみ] XView ツールキットで Meta キー、左側ファンクションキーが動作しない (バグ ID: 1118887, 1148490) 90

[日本語環境のみ] OLIT ツールキットの制限事項 91

[日本語環境のみ] OLIT ツールキットで Meta キーが動作しない (バグ ID: 1170802) 91

[日本語環境のみ] ワークスペースのプロパティウィンドウ 91

[日本語環境のみ] ファイルマネージャの制限事項 91

[日本語環境のみ] メールツールの制限事項 91

[日本語環境のみ] dtmail から送られた日本語テキストの_attachments を表示できない (バグ ID: 4071688) 92

[日本語環境のみ] MIME 形式の日本語メールを印刷できない (バグ ID: 1193169) 92

[日本語環境のみ] 「変更内容を保存」を行うと MIME 形式の日本語メールが文字化けする (バグ ID: 1216748) 93

システム管理 93

wbemadmin、wbemlogviewer でのログインの際にエラーメッセージが出てログインできないことがある (バグ ID: 4298490) 93

WBEM でインスタンスを追加しようとするときエラー Exception: PS_UNAVAILABLE: 1 (out of memory) が発生する (バグ ID: 4284874) 93

Solaris_FileSystem インスタンスが要求された時に CIMOM (Common Information Model Object Manager) がクラッシュする (バグ ID: 4301275) 94

CD (ボリューム管理あり) を選択しても、ソフトウェア情報を認識できない (バグ ID: 4032417) 95

[日本語環境のみ] admintool で日本語を含むホームディレクトリを持つユーザーを登録できない (バグ ID: 1223141) 95

ソフトウェアパッケージを追加するときに、ディレクトリパスの指定時に admintool がコアダンプすることがある 95

[日本語環境のみ] admintool でソフトウェアの追加・削除を行う時に起動されるウィンドウで、日本語文字が表示されない (バグ ID: 1224697) 96

admintool でソフトウェア情報が更新されない (バグ ID: 4024598) 96

ソフトウェアパッケージを追加する場合、CD の読み込み中に admintool がコアダンプすることがある (バグ ID: 4104895, 4304720) 96

オペレーティングシステム・ネットワーク 97

ufsdump(1M) から xtrmap: too many map entries というエラーメッセージが表示される (バグ ID: 4297558) 97

[日本語環境のみ] ja_JP.eucJP ロケールに関する注意事項 97

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケールと ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項 98

[日本語環境のみ] 日本語環境の設定 98

[日本語環境のみ] 日本語 Solaris 1.x の 4.x バイナリ互換パッケージ (BCP) に関する注意事項 99

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールデータベースに関する注意事項 100

[日本語環境のみ] libjapanese に関する注意事項 101

[日本語環境のみ] jisconv(3x) インタフェースの制限事項 101

[日本語環境のみ] ワイド文字 (wchar_t) の制限 102

[日本語環境のみ] ネットワーク上の混在環境における日本語テキストの注意事項 102

[日本語環境のみ] 日本語ファイル名の印刷に関する注意事項 102

[日本語環境のみ] jpostprint におけるコードポイント 0x21 - 0x7e 部分のフォントに関する注意事項 103

[日本語環境のみ] マニュアルページ、および nroff、troff 形式の出力を /usr/xpg4/bin/more でうまく表示できない (バグ ID: 1225024) 103

Solaris 外字ツール (sdtudctool) 103

[日本語環境のみ] sdtudctool の制限事項と注意事項 103

[日本語環境のみ] ビットマップからアウトラインが正しく生成できない場合がある (バグ ID: 4007396) 105

[日本語環境のみ] アウトラインモードの編集で参照画面からコピーなどを行うと、ビットマップイメージが太くなる (バグ ID: 4176763) 106

[日本語環境のみ] sdtudctool の起動時にエラーメッセージが表示される (バグ ID: 4217154) 106

[日本語環境のみ] ボタンを初期化できない場合、起動に失敗する (バグ ID: 4273154) 106

「ファイル」メニューの「保存」がグレー表示されているために、ユーザー定義文字をファイルに保存できない場合がある (バグ ID: 4307286) 107

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールで solregis を起動している時に sdtudctool を使用してユーザー定義文字を保存しようとする時、sdtudctool がコアダンプする (バグ ID: 4107762) 107

[日本語環境のみ] ja_JP.eucJP ロケールで、ユーザー定義文字を辞書に登録できない (バグ ID: 4309914) 107

sdtudc_extract にて Windows 外字フォントファイルからユーザー定義文字を取り出す場合、空き領域部分にもユーザー定義文字を取り出してしまう (バグ ID: 4320088) 108

[日本語環境のみ] フォント管理を使用して CID/Type1 フォントをインストールする際の注意事項 108

[日本語環境のみ] フォント管理で CID フォントをインストールした場合の制限事項 (バグ ID: 4009292) 109

[日本語環境のみ] フォント管理でインストールした TrueType フォントを DPS で使用できない (バグ ID: 4030803) 109

[日本語環境のみ] CID フォントを X から利用した場合にサイズが正しくない (バグ ID: 4067265) 110

[日本語環境のみ] PCK でエンコードされた TrueType フォントに関する注意事項 (バグ ID: 4066981, 4066982) 110

日本語入力全般 (XIM を含む) 110

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項 111

[日本語環境のみ] XIM のステータス文字列 112

[日本語環境のみ] imDisplayInClient 使用時の XView アプリケーションの問題 (バグ ID: 1124457, 1124459) 113

[日本語環境のみ] XIMP_FE_TYPE1 で入力した文字がわずかに失われることがある (バグ ID: 1172824) 113

[日本語環境のみ] ステータス表示が正確でない (バグ ID: 1180785) 114

[日本語環境のみ] 入力サーバー (htt) の属性変更 114

[日本語環境のみ] htt の起動 114

[日本語環境のみ] 日本語入力システム設定後に再びログインしても、希望する日本語入力システムが利用できない 114

[日本語環境のみ] Wnn6 の同時接続クライアント数 115

[日本語環境のみ] Wnn6 で、同じカタカナが変換候補として 2 回表示されることがある (バグ ID: 4040987) 115

[日本語環境のみ] Wnn6 設定ユーティリティで「変換 ON」のキーの割り当てを設定できない (バグ ID: 4043377) 115

[日本語環境のみ] Wnn6 設定ユーティリティの「学習/変換/表示モード」の設定画面で「次候補一覧の位置」に「カーソル」または「中央」を設定した場合、候補一覧ウィンドウはマウスポインタの位置に表示される 116

[日本語環境のみ] ATOK8 風入力スタイルでは、通常の候補一覧ウィンドウは縦または横一列で表示される 116

[日本語環境のみ] 壊れた辞書を指定すると jserver がコアダンプする (バグ ID: 4038938) 116

[日本語環境のみ] Solaris CDE 上の ATOK8 で、カラーマップを使い果たすとプリエディット・ステータスが見えなくなる (バグ ID: 1239350) 116

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールでの ATOK8 の利用 117

[日本語環境のみ] Solaris CDE 環境において、ATOK8 で <Shift> + <Esc>、<Alt> + <Space> が機能しない 117

[日本語環境のみ] ATOK8 を Solaris CDE 環境で使う際、カーソルキーを使用すると入力が反映されないことがある (バグ ID: 4113801) 117

[日本語環境のみ] cs00 で、Ctrl-N によって次候補を連続表示すると、同じ候補が表示されることがある (バグ ID: 1101391) 118

[日本語環境のみ] cs00 ユーザー辞書ツールに対して、Solaris CDE のセッション保存機能が働かない 119

[日本語環境のみ] cs00 使用時に、Meta-A (Again キー)、Meta-Z (Undo キー) が動作しない 119

[日本語環境のみ] cs00 でコードを区切って区点入力をする、アプリケーションへの入力が停止する 119

[日本語環境のみ] udicm コマンドは、mshow コマンドで -e または -s オプションに何も指定しないとコアダンプする (バグ ID: 1232152) 119

[日本語環境のみ] mdicm コマンドでメイン辞書を空にするとコアダンプする (バグ ID: 1209956) 120

[日本語環境のみ] cs00 の部首入力を取り消し、次に漢字候補一覧を表示させると、部首の一覧が表示されてしまう (バグ ID: 1257579) 120

[日本語環境のみ] OpenWindows 上で候補一覧ウィンドウ表示中にキーが効かなくなる (バグ ID: 4039587) 120

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールで ATOK12 を使用するよう
に設定しても、複数の言語入力の設定になる (バグ ID: 4304743) 121

[日本語環境のみ] 複数言語入力環境または ATOK12 使用時に、Java2 ア
プリケーションのウィンドウをアイコン化してもステータス表示が残
る (バグ ID: 4305501) 122

[日本語環境のみ] 複数言語入力環境で cs00 (日本語入力) を使用する場
合のバグおよび制限事項 122

ATOK12 123

[日本語環境のみ] ATOK12 がサポートするウィンドウ環境 123

[日本語環境のみ] 修飾キーをロックしていると、ATOK パレットのメ
ニューが表示されない (バグ ID: 4270090) 123

[日本語環境のみ] ATOK12 の一部のコマンド行ユーティリティに関す
るマニュアルページが提供されていない 124

[日本語環境のみ] Java 2 クライアントから ATOK12 使用する場合の制
限事項とバグ情報 125

Java 126

Java Plug-in のサポート 127

UTF-8 ロケールで Java2 アプリケーションを実行する時に警告メッ
セージが表示される (バグ ID: 4254198) 127

[日本語環境のみ] アプレット上での日本語入力が正しく動作しないこと
がある (バグ ID: 4052171) 127

パフォーマンス 128

PCI-IDE システム上で DMA が無効になる 128

AnswerBook2 129

ab2admin コマンドの実行に成功しても、断続的に command failed
と表示される (バグ ID: 4242577) 129

ab2cd スクリプトから誤ったエラーメッセージが表示される (バグ ID:
4256516) 129

UTF-8 ロケールで ab2cd を起動すると、エラーメッセージが表示さ
れ、ヘルプライブラリしか表示されない (バグ ID: 4308667) 130

Netscape Communicator 4.7 (日本語版) 130

[日本語環境のみ] ページ情報ダイアログ内の日本語が正しく表示され
ない場合がある (バグ ID: 4269123) 130

[日本語環境のみ] CDE アプリケーションから日本語文字列をコピー&ペーストできない (バグ ID: 4197428) 131

英語以外のロケールに関するバグ情報 131

共通デスクトップ環境 (CDE) で一部のギリシア文字が利用できない (バグ ID: 4179411) 131

すべての部分ロケールで、カレンダー・マネージャ中の拡張文字を印刷できない (バグ ID: 4285729) 131

アラビア語と UTF-8 ロケールの英語との間で、テキストをカット&ペーストできない (バグ ID: 4287746) 132

ヨーロッパ言語のロケールで Extras ドロップダウンメニューを使用できない (バグ ID: 4298547) 132

日本語およびアジア各国語の UTF-8 ロケールで CTL がサポートされていない (バグ ID: 4300239) 132

ワークスペース・メニュー中のスマートカード・メニューオプションがサポートされていない (バグ ID: 4301544) 132

アプリケーションの画面の一部が英語で表示される (バグ ID: 4301212, 4299487) 133

Solaris オペレーティング環境と Microsoft Windows の間で dtmail を使用している場合、アラビア語の文字列が正しく表示されない (バグ ID: 4301870) 133

ギリシア語ロケールの Solstice AdminTool で、ユーザーを追加、削除、変更できない (バグ ID: 4302983) 133

イタリア語ロケールで、フォントダウンローダの「Add」ボタンと「Cancel」ボタンが正しく表示されない (バグ ID: 4303549) 134

Sun アラビア語キーボードの文字と Microsoft アラビア語キーボードの文字が互換でない (バグ ID: 4303879) 134

ISO8859-1 以外のロケールにおけるフォントダウンローダでの印刷 (バグ ID: 4304493) 135

SEAM アプリケーションにおいて、英語のメッセージが表示される (バグ ID: 4306619) 135

ギリシア語ロケールおよび UTF-8 ロケールで、ユーロ通貨記号が正しくサポートされていない (バグ ID: 4306958, 4305075) 135

ヨーロッパ言語の UTF-8 ロケールで、ソートが正しく機能しない (バグ ID: 4307314) 136

スウェーデン語の dtcalc で 16 進数が正しくサポートされない (バグ ID: 4308864) 136

その他 137

バンドルされたフリーウェアのソフトウェアが国際化対応でない 137

5. 機能に関する情報 139

PIM カーネルのサポート 139

実行時検索パスの構成 139

[日本語環境のみ] コード変換 (iconv) 140

[日本語環境のみ] 日本語入力システム ATOK12 142

6. サポート中止に関する情報 143

Solaris 8 でサポートを中止した製品 143

HotJava ブラウザ 143

Solaris Java Development Kit: JNI 1.0 インタフェース 143

Solstice AdminSuite 2.3/AutoClient 2.1 144

LDAP クライアントライブラリ 144

F3 フォントテクノロジー 144

XGL 144

派生型 paddr_t 144

ユーザーアカウントリングデータのアプリケーションプログラミング
インタフェース (API) に対する変更 145

sysidnis(1M) システム認識プログラム 145

コンソールサブシステム 145

ビデオカード 146

sdtudc_extract_ps 147

将来のリリースでサポートを中止する予定の製品 147

Solstice AdminTool 147

Solstice Enterprise Agents 147

XIL 147

crash(1M) ユーティリティ 148

Kerberos バージョン 4 クライアント 148
adb(1) マップ修飾子とウォッチポイント構文 148
OpenWindows ツールキット (開発者向き) 149
OpenWindows 環境 (一般ユーザー向き) 149
フェデレーテッドネーミングサービス (FNS) / XFN のライブラリとコマンド 149
Solaris ipcs(1) コマンド 149
sendmail -AutoRebuildAliases 150
devconfig 150
デバイスのサポートとドライバソフトウェア 150
Intel 486 システム 151
[日本語環境のみ] japanese ロケール 151
[日本語環境のみ] libjapanese.a 151
[日本語環境のみ] 日本語入力システム ATOK8 152
[日本語環境のみ] 日本語入力システム cs00 152

7. マニュアルに関する情報 153

マニュアルの訂正・補足と注意事項 153

『Solaris 8 デバイスの構成 (Intel 版)』 『Solaris 8 ハードウェア互換リスト (Intel 版)』 『man pages section 7: Device and Network Interfaces』 の adp(7D) と cadp(7D) 『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』 153

『Solaris 8 デバイスの構成 (Intel 版)』 154

『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』 : 「Solaris Web Start インストールの変更」 155

『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』 : 最新の記載内容 155

[日本語環境のみ] セクション 3x の日本語マニュアルページが表示されない (バグ ID: 4274297) 155

[日本語環境のみ] マニュアルページ eucJP(5) の訂正事項 (バグ ID: 4302905) 157

[日本語環境のみ] contrast の日本語マニュアルページが提供されている (バグ ID: 4314213) 159

[日本語環境のみ] dtpower の日本語マニュアルページが表示されない
(バグ ID: 4318868) 159

- 8. **ドライバ更新情報 161**
 Solaris のドライバ 161
- 9. **CERT アドバイザリ 163**
- 10. **Solaris 8 に統合されたパッチ 169**
 パッチ情報 (Intel 版) 169

はじめに

本書『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』は、Solaris 8 をご使用になるにあたって最初に読んでいただくマニュアルです。Solaris 8 オペレーティング環境ソフトウェアをインストールする前に必要な情報、リリース直前に明らかになった情報や問題点について説明します。

本書には、印刷マニュアルおよび Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれている『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の作成後に見つかった、注意事項やバグ情報が追記されています。

対象読者

本書は、Solaris に関する知識を持つ方、現在習得中の方を対象に、Solaris 8 ソフトウェアをインストールして使用するために必要な情報を提供します。

内容の紹介

本書は、Solaris 8 オペレーティング環境ソフトウェアに関する以下の情報を提供します。

第 1 章では、Solaris 8 製品に含まれている CD、マニュアル、カードなどについて説明しています。

第 2 章では、Solaris 8 をインストールするために必要なメモリーやディスクの容量、日本語環境のインストールについての概要を説明しています。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 3 章では、インストールに関する注意事項とバグについて説明しています。この章の内容を理解してからインストールを開始してください。

第 4 章では、Solaris 8 実行時の注意事項とバグについて説明しています。

第 5 章では、Solaris 8 の機能について、該当マニュアルに記載できなかった情報について説明しています。

第 6 章では、サポートを終了するソフトウェア機能またはハードウェアについて説明しています。

第 7 章では、Solaris 8 のマニュアル中の記述に関する、補足事項や訂正事項を説明しています。

第 8 章では、更新されたドライバの情報を記載しています。

第 9 章では、CERT アドバイザリのリストを記載しています。

第 10 章では、Solaris 8 に統合されたパッチとその修正内容を記載しています。

Solaris のほかに付属のソフトウェアをインストールする場合は、付属ソフトウェアに含まれている最新リリース情報を参照して、そのソフトウェアに関する注意事項とバグ情報を確認してください。

関連マニュアル

Solaris をインストールする際は、本書の内容を理解した上で、次のマニュアルをご利用ください。

- 『Solaris 8 インストールの手引き』
- 『Solaris 8 インストールガイド (Intel 版)』
- 『Solaris 8 のインストール (上級編)』
- 以下の各『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』
 - Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) の「Solaris 8 Release Documents Collection」に含まれているもの
 - 印刷マニュアル (インストールに関するバグと注意事項のみが記載されている)

- <http://docs.sun.com> に掲載されているもの (最新情報が記載されている)
- 『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』
- 『Solaris 8 マニュアルの概要』

Solaris のマニュアルは、このリリースに含まれている Solaris 8 Documentation CD で提供されています。

ハードウェア構成によっては、インストール時に別途作業が必要になることがあります。その場合は、各ハードウェアのメーカーから提供されるインストール手順の補足資料を参照してください。

Solaris ハードウェア検証プログラム

Solaris ハードウェア検証プログラムに関する情報は、<http://soldc.sun.com/support/certify/> をご覧ください。Solaris の次期リリースまでにハードウェア互換リストが変更されることがあります。最新のハードウェア互換リストは、上記の Web サイトに提供されます。

Sun のマニュアルの注文方法

専門書を扱うインターネットの書店 Fatbrain.com から、米国 Sun Microsystems™, Inc. (以降、Sun™ とします) のマニュアルをご注文いただけます。

マニュアルのリストと注文方法については、<http://www1.fatbrain.com/documentation/sun> の Sun Documentation Center をご覧ください。

Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索をおこなうこともできます。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING'</code>

ただし AnswerBook2™ では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例は次のように表示されます。

■ C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- このマニュアルでは、「IA」という用語は、Intel 32 ビットのプロセッサアーキテクチャを意味します。これには、Pentium、Pentium Pro、Pentium II、Pentium II Xeon、Celeron、Pentium III、Pentium III Xeon の各プロセッサ、および AMD、Cyrix が提供する互換マイクロプロセッサチップが含まれます。

Solaris 8 の製品構成

この章では、Solaris 8 に含まれている CD および印刷マニュアルについて説明します。

製品の種類と出荷形態

Solaris 8 は、英語版製品と、「Multilingual」と呼ばれる複数言語 (英語、日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、スウェーデン語) 版製品の 2 種類で提供されます。日本語が含まれている本製品は「Multilingual」製品です。

Solaris 8 の構成

Solaris 8 の構成について、概要を説明します。

Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD (Intel 版)



この CD には、Solaris Web Start 3.0 インストールプログラムが含まれています。Solaris Web Start 3.0 を使用して Solaris ソフトウェアおよび同梱の CD に含まれる別のソフトウェアをインストールする場合に使用します。

Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD (Intel 版)



この CD には、主に次のソフトウェアが含まれています。

- Solaris 8 オペレーティング環境 (「コアシステムサポート」と「エンドユーザーシステムサポート」のソフトウェアグループ)
- 従来のインストールソフトウェア

Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD (Intel 版)



この CD には、主に次のソフトウェアが含まれています。

- Solaris 8 オペレーティング環境 (「開発者システムサポート」、「全体ディストリビューション」、「全体ディストリビューションと OEM サポート」のソフトウェアグループ)
- アーリーアクセス・ソフトウェア (DiskSuite 4.2.1、Live Upgrade 1.0、Appcert 2.1、Solaris Management Console 2.0)

DiskSuite 4.2.1 のユーザーインターフェースは日本語 (ja ロケール) に対応していますが、その他のソフトウェアのユーザーインターフェースは英語のみです。

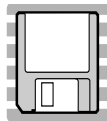
Solaris 8 LANGUAGES CD (Intel 版)



この CD には、Solaris オペレーティング環境で英語以外の言語を使用する際に必要なソフトウェアが含まれています。

注 - Solaris 8 でサポートされているすべてのロケールの基本機能 (言語の入力、出力、印刷、データ処理) をサポートするソフトウェア (部分ロケールと呼ぶ) は、SOFTWARE CD に含まれています。LANGUAGES CD には、各言語用のユーザーインターフェースの翻訳および追加ソフトウェアが含まれています。

Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) フロッピーディスク



このフロッピーディスクは、IA システムまたは Pentium プロセッサを搭載したシステムのブートに使用します。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (英語 + ヨーロッパ言語版)



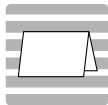
この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、英語およびヨーロッパ言語のオンライン文書コレクションが含まれています。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版)



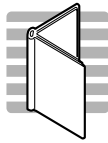
この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、日本語およびその他のアジア言語のオンライン文書コレクションが含まれています。

Solaris 8 メディア一覧 (Contents of Solaris 8 Media)



Solaris 8 の内容について各国語で記述されているカードです。メディアフォルダのポケットに入っています。

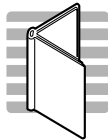
Solaris 8 インストールの手引き (Solaris 8 Start Here)



インストールを始めるにあたって参照するマニュアルです。従来の対話式インストールを行うか、または Solaris Web Start インストールを行うかを選択し、それぞれを使用してインストールを行う手順が説明してあります。また、マニュアルの注文方法や Web ブラウザでの参照方法についても説明しています。

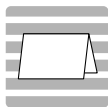
インストールに際しては、本書の第 2 章および第 3 章も必ずお読みください。

Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版) (Solaris 8 (Intel Platform Edition) Release Notes)



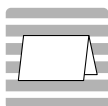
インストールに関する特に重要なバグ情報や注意事項が記載されています。5 種類の言語 (英語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語) で提供されています。

Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書)



ソフトウェア使用の許諾について記述されています。

Binary Code License (Terms & Conditions)



上記の「ソフトウェア使用許諾契約書」に対する補足条項が含まれています。

インストールにあたって

この章では、Solaris 8 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについて説明します。

以下に、Solaris 8 で提供されるインストール方法を簡単に説明します。

インストール方法	説明
従来の対話式インストール Jump Start™ カスタム Jump Start	Solaris ソフトウェアだけをインストールする (Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD に含まれている)
Solaris Web Start 2.1.0 (installer)	共通のユーザーインターフェースを使って、同梱の CD に含まれている別のソフトウェアを、Solaris がイン ストールされた環境に容易にインストールできる (同梱の CD に含まれている)
Solaris Web Start 3.0 (新規)	Solaris ソフトウェアおよび同梱の CD に含まれてい る別のソフトウェアを、1 度に容易にインストールで きる (Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD に 含まれている)

カスタマサポートへの連絡

サポートに関連する問題については、ご購入先にお問い合わせください。また、Sun に関する情報については、以下の Web ページをご覧ください。

- <http://access1.sun.com>
- <http://www.sun.com>
- <http://www.sun.co.jp> (サン・マイクロシステムズ株式会社)

必要なメモリー

Solaris CDE や OpenWindows などの日本語デスクトップ環境を使用する場合には、最低 64M バイト以上の物理メモリーを確保することをお勧めします。

また、Solaris Web Start 3.0 によるインストールを行うには、64M バイト以上の物理メモリーが必要です。

必要なスワップ領域

日本語デスクトップ環境を使用する場合には、実メモリーとスワップ領域の合計が少なくとも 256 M バイトになるように、スワップ領域を確保することをお勧めします。

Solaris Web Start 3.0 によるインストールでは、インストールプログラムを起動後、Solaris Installer が使用するスワップスライスとサイズを指定する必要があります。ここで指定したスワップは、ファイルシステムの配置でスワップに設定され、変更することはできません。つまり、インストール後のシステムのスワップとして使用されます。

Solaris Web Start 3.0 のデフォルトのスワップサイズは、512 M バイトです。最小スワップサイズは、デフォルトよりも小さい値ですが、システムによって異なります。デフォルトのスワップサイズを確保することを推奨します。

注 - 将来、Solaris 8 のシステムを Solaris Web Start を使用してアップグレードする可能性がある場合は、ファイルシステムの配置においてスワップサイズを 512 M バイト (Solaris Web Start のデフォルトのスワップサイズ) 以上確保することをお勧めします。Solaris Web Start 3.0 によるアップグレードが可能なシステムの要件については、45ページの「Solaris 8 へのアップグレード」を参照してください。

必要なディスク容量

Solaris 8 の日本語環境と DOCUMENTATION CD をインストールする場合に必要なディスク容量について説明します。

日本語環境と DOCUMENTATION CD をシステムにインストールするには、インストールするソフトウェアとディスクの構成に応じてファイルシステムを構築する必要があります。

Solaris Web Start 3.0 (Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD に含まれている) を使うと、Solaris オペレーティング環境および同梱の別ソフトウェアをインストールするためのファイルシステムが自動的に配置され、これらのソフトウェアを一度に容易にインストールすることができます。

一方、従来の対話式インストール¹は、Solaris オペレーティング環境だけをインストールするように設計されているので、同梱のソフトウェア容量も考慮したファイルシステムの自動配置を行うことはできません。

同梱のソフトウェアもインストールする場合は、それらのソフトウェア容量を考慮して、手作業でファイルシステムを構成する必要があります。そして、Solaris オペレーティング環境のインストール終了後に、同梱の CD に含まれている Solaris Web Start 2.1.0 (installer)、または各ソフトウェアのインストール手順に従って、同梱のソフトウェアをインストールしてください。

Solaris 8 CD のソフトウェア容量

次の表に、Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD、Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD、Solaris 8 LANGUAGES CD に含まれる日本語ロケール

(ja、ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8) のパッケージをインストールするために必要なディスク容量を示します。Solaris 8 より、ファイルシステムの自動配置でデフォルトとして選択される領域は、ルート (/) とスワップ (swap) だけになりました。記載されている値は、このデフォルトのファイルシステムでインストールする場合にルートファイルシステムに必要な推奨値 (括弧内は最小値) で、スワップ領域に必要な容量は含まれていません。インストールする日本語ロケールが 1 つの場合には、この表の値よりもおよそ 30M バイトほど少ない容量で済みます。

1. システムが Solaris Web Start 3.0 を実行するための要件を満たしていない場合や、細かいインストール設定を行いたい場合などは、従来の対話式インストールを行なってください。

なお、従来の対話式インストールで「ソフトウェアの選択」画面に実際に表示される各ソフトウェアグループの値は、スワップ領域を含んだ値です。この値は、インストールするシステムのディスクやメモリーのサイズによって異なります。

表 2-1 Solaris 8 (Intel 版) のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ソフトウェアグループ	ルート (/) ファイルシステム ja、PCK、UTF-8 全部
全体ディストリビューションと OEM サポート	1028 (871)
全体ディストリビューション	1028 (871)
開発者システムサポート	989 (840)
エンドユーザーシステムサポート	691 (589)

Solaris DOCUMENTATION CD のソフトウェア容量

次の表に、アジア言語版の DOCUMENTATION CD に含まれている、日本語 AnswerBook パッケージとその容量を示します (その他のアジア言語のパッケージは省略)。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-2 Solaris 8 DOCUMENTATION CD のソフトウェア容量 (日本語版)
(単位: M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の 概算値
SUNWjinab	AB2	Solaris 8 Installation Collection - Japanese	9
SUNWjabe	AB2	Solaris 8 User Collection - Japanese	17
SUNWjaadm	AB2	Solaris 8 System Administrator Collection - Japanese	19
SUNWjabsd	AB2	Solaris 8 Software Developer Collection - Japanese	10
SUNWjdad	AB2	Solaris Common Desktop Environment Developer Collection - Japanese	7
SUNWamaja	AB2	Solaris 8 Reference Manual Collection - Japanese	17
SUNWjopen	AB2	OpenBoot Collection - Japanese	3

表 2-2 Solaris 8 DOCUMENTATION CD のソフトウェア容量 (日本語版) (単位: M バイト) 続く

注 - 日本語版には、Solaris 8 英語版に含まれるマニュアルの翻訳版と併せて、日本語固有のマニュアルが含まれています。

次の表に、英語 + ヨーロッパ言語版の DOCUMENTATION CD に含まれている、英語 AnswerBook パッケージとその容量を示します (ヨーロッパ言語のパッケージは省略)。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-3 Solaris 8 DOCUMENTATION CD のソフトウェア容量 (英語版) (単位: M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 8 Installation Collection	7
SUNWabe	AB2	Solaris 8 User Collection	15
SUNWadm	AB2	Solaris 8 System Administration Collection	18
SUNWabsdk *	AB2	Solaris 8 Software Developer Collection	14
SUNWdtad	AB2	Solaris Common Desktop Environment Developer Collection	8
SUNWaman *	AB2	Solaris 8 Reference Manual Collection	82
SUNWopen *	AB2	OpenBoot Collection	4
SUNWakcs *	AB2	KCMS AnswerBook	2

* 印が付いているパッケージは、日本語に翻訳されていないマニュアルが含まれています。それらのマニュアルをインストールする場合には、英語 + ヨーロッパ言語版の DOCUMENTATION CD からインストールしてください。

次の表に、AnswerBook2 文書サーバー (以降「文書サーバー」とします) を構成するパッケージ SUNWab2r、SUNWab2s、SUNWab2u をインストールするのに必要な容量を示します。文書サーバーについての詳細は、Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれる README_ja.html を参照してください。

表 2-4 文書サーバーのソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/	0.3
/usr	33

日本語環境をインストールするために必要な設定

Solaris 8 の日本語環境をインストールするために必要な設定について説明します。日本語環境をインストールするには、大きく分けて「デフォルトロケールの設定」と「インストール言語の設定」の 2 つの設定が必要です。インストール手順の詳細は、39 ページの「Solaris 8 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

Solaris 8 は、文字エンコーディングが異なる次の 3 つの日本語ロケールをサポートしています。

- EUC をサポートする ja または ja_JP.eucJP ロケール
- PCK (PC 漢字コード) をサポートする ja_JP.PCK ロケール (シフト JIS と同等)
- Unicode の UTF-8 をサポートする ja_JP.UTF-8 ロケール

デフォルトロケールの設定

インストール後のシステムのデフォルトロケールを設定します (具体的には、`/etc/default/init` ファイル内に LANG 環境変数が定義されます)。

日本語環境をインストールする場合、システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていなければならないわけではありませんが、このように設定することを推奨します。システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていると、たとえば、システムログイン時の LANG の設定を、ユーザーごとに環境設定ファイルで定義しなくても済むようになります。また、`dtlogin` の言語設定で、デフォルトで日本語ロケールが設定されます。

- GUI (グラフィカル・ユーザーインターフェース) インストールの場合

日本語環境でインストールするには、最初に言語を選択するプロンプトが表示されるので、「Japanese」を選択します。次に、日本語ロケール「Japanese EUC (ja)」、「Japanese PC Kanji (ja_JP.PCK)」、「Japanese UTF-8 (ja_JP.UTF-8)」のい

いずれか選択してください。どれを選択するかわからない場合は、「Japanese EUC (ja)」を選択してください。ここで選択したロケールが、システムのデフォルトロケールになります。

ここでの設定は、以後起動されるインストール画面の表示言語も決定します。

■ CUI (キャラクタ・ユーザーインタフェース) インストールの場合

GUI インストールの場合と同様に、言語とロケールを選択するプロンプトが表示されます。ここで選択したロケールが、システムのデフォルトロケールになります。インストール画面は英語による表示だけです。²

システムのデフォルトロケールを、インストール後に設定または変更する場合には、`/etc/default/init` ファイルでの `LANG` 環境変数の設定を次のようにしてから、システムを再起動します。

ja ロケールに設定	LANG=ja
ja_JP.PCK ロケールに設定	LANG=ja_JP.PCK
ja_JP.UTF-8 ロケールに設定	LANG=ja_JP.UTF-8
C ロケールに設定	LANG= の行を削除、または LANG=C

インストール前に、このデフォルトロケールをあらかじめ設定しておくことも可能です。この事前設定をしておくこと、GUI インストール時にもロケール設定画面が表示されません。この設定は、カスタム `JumpStart` による自動インストールの場合など、意図的にロケール設定画面を表示させたくない場合に有効です。³

■ Solaris Web Start 3.0 インストールの場合

最初にインストール画面の表示言語を選択するプロンプトが表示されるので、日本語環境でインストールするには、「Japanese」を選択してください。システムのデフォルトロケールは、「システムのロケール選択」画面で設定します。

インストール言語の設定

言語 (ロケール) に依存するソフトウェアパッケージのインストールを決定します。日本語環境をインストールするには、必ず日本語パッケージ (JFP) をインストールする必要があります。

2. グラフィカルモニターを装備していないシステムの場合は、自動的に CUI インストールが起動します。また、「Bypass Configuration」を選択して明示的に周辺デバイスの設定を省略した場合にも、CUI インストールになります。

3. デフォルトロケールの事前設定を行う方法には、「ネームサービスに事前に定義しておく方法」と「`sysidcfg` ファイルを使用する方法」の2通りがあります。詳しくは、『Solaris 8 のインストール (上級編)』を参照してください。

Solaris 8 では、ja ロケール環境、ja_JP.PCK ロケール環境、ja_JP.UTF-8 ロケール環境、そしてそれらの任意の混在環境をインストールすることが可能です。

■ 従来の対話式インストールの場合

「地域の選択」画面で、インストールする日本語ロケールを「アジア」地域から選択します。この画面では、あらかじめ選択したシステムのデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

たとえば、ja と ja_JP.PCK の両ロケール環境をインストールするには、ja と ja_JP.PCK の両方を選択します。

■ Solaris Web Start 3.0 インストールの場合

「ソフトウェアのロケール選択」画面で日本語ロケールを選択します。ここで選択したロケールのパッケージが、Solaris ソフトウェアおよびインストールする同梱ソフトウェアの各々からインストールされます。この画面では、インストール画面の表示言語で「Japanese」を選択した場合、「Japanese EUC (ja)」が自動的に選択された状態になっています。たとえば、ja_JP.UTF-8 ロケール環境のみをインストールするには、選択されている「Japanese EUC (ja)」を選択解除して、「Japanese UTF-8 (ja_JP.UTF-8)」を選択します。

■ カスタム JumpStart インストールの場合

カスタム JumpStart インストールが参照するプロファイルに locale キーワードを追加します。⁴

次に、ja と ja_JP.PCK の両ロケール環境をインストールする場合のプロファイルの例を示します。

キーワード	値
install_type	initial_install
system_type	standalone
partitioning	default
cluster	SUNWCuser
locale	ja
locale	ja_JP.PCK

なお、このようにプロファイル中で locale キーワードを明示的に定義しない場合でも、デフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていれば、その

⁴ locale キーワードは、JFP パッケージのインストールに影響しますが、システムのデフォルトロケールを決定するものではありません。

ロケール環境が自動的にインストールされます。ただし、複数の日本語ロケール環境をインストールする場合は、プロファイルで指定する必要があります。

Solaris 8 ソフトウェアのインストール

Solaris 8 の日本語環境をインストールする方法とインストールサーバーを作成する方法について、従来の Solaris リリースと異なる部分を中心に説明します。

インストールに関する詳細は、「Solaris 8 Installation Collection」にあるマニュアルを参照してください。

インストールに関するハードウェア要件については、各ハードウェアのメーカーから提供されている資料を参照してください。

Solaris 8 のインストールを始める前に、必ずシステムのバックアップをとってください。ファイルシステムのバックアップについての詳細は、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』を参照してください。

Solaris 8 のインストールについて

Solaris 8 ソフトウェアをインストールするには、次のいずれかを使用します。

- 対話式インストール
- JumpStart、カスタム JumpStart
- Solaris Web Start 3.0

日本語ロケールのパッケージだけでなく、日本語以外のロケールのパッケージもインストールすることが可能です。これ以降の説明は、日本語ロケールのパッケージをインストールする場合のみを対象にしています。

Solaris 8 でサポートされている日本語環境のインストールは、次の表のとおりです。

	CD を使用		インストールサーバーを使用 ¹	
	初期	アップグレード	初期	アップグレード
対話式インストール	○	○	○	○
カスタム JumpStart	○ ²	○ ³	○	○
Solaris Web Start 3.0	○	○ (SPARC) × ³ (Intel)	○	○ (SPARC) × ³ (Intel)

1. サーバーを構築する方法については、46ページの「インストールサーバーの作成方法」を参照してください。
2. 42ページの「カスタム JumpStart」を参照してください。
3. 45ページの「Solaris 8 へのアップグレード」を参照してください。

次に、それぞれのインストールについて説明します。以降の説明では、便宜上「Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD」を「OS1 CD」、「Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD」を「OS2 CD」、「Solaris 8 LANGUAGES CD」を「LANG CD」と呼びます。

対話式インストール

CD を使用してインストールする方法を説明します。

1. **OS1 CD** からブートします。
2. 次のような画面が表示されるので、「4」を入力します。

```

Select a Language
0. English
1. French
2. German
3. Italian
4. Japanese
5. Korean
6. Simplified Chinese
7. Spanish
8. Swedish
9. Traditional Chinese

```

(続く)

続き

```
Please make a choice (0 - 9), or press h or ? for help:
```

3. 日本語ロケールの選択画面が表示されるので、ロケールを選択します。

```
Select a Locale
0. Japanese EUC (ja)
1. Japanese PC Kanji (ja_JP.PCK)
2. Japanese UTF-8 (ja_JP.UTF-8)
3. Go Back to Previous Screen

Please make a choice (0 - 3), or press h or ? for help:
```

GUI インストールの場合：ここで選択したロケールがシステムのデフォルトロケールになります。対話式インストール画面の表示言語は日本語になります。

CUI インストールの場合：ここで選択したロケールがシステムのデフォルトロケールになります。インストール画面の表示言語は英語になります。

4. 従来の対話式インストールと同じように設定を行います。
5. 「地域の選択」画面で、インストールしたい日本語ロケールを「アジア」地域から選択します。

ファイルシステムの自動配置画面では、ここで選択したロケールのパッケージがインストールできるようにディスク容量が割り当てられます。

注 - 将来、Solaris 8 のシステムを Solaris Web Start を使用してアップグレードする可能性がある場合は、ファイルシステムの配置においてスワップサイズを 512 M バイト (Solaris Web Start のデフォルトのスワップサイズ) 以上確保することをお勧めします。

6. インストール画面に従って設定を続け、インストールを開始します。

7. **OS1 CD** のインストールが終了すると、システムがリブートします。メッセージに従って **OS2 CD** を挿入し、インストールを続けます。

注 - OS2 CD の挿入は、「開発者システムサポート」以上のソフトウェアグループを選択した場合のみ要求されます。

8. **OS2 CD** のインストールが終了すると、**Lang CD** を挿入するように要求するメッセージが表示されます。ここで、**Lang CD** を挿入します。
9. 「インストールの形式の選択」画面で「カスタムインストール」を選択し、「製品の選択」画面で「**Solaris 8 Japanese Localization**」を選択してください。
「デフォルトインストール」を選択すると、日本語ロケールだけではなく、Lang CD に含まれているすべてのロケールが選択されてしまうので注意が必要です。
10. 「コンポーネントの選択」画面で、41ページの手順5の「地域の選択」で選択したロケールと同じロケールを選択してください。

11. **Lang CD** のインストールが終了したら、以下のログファイルを確認します。

```
/var/sadm/system/logs/install_log  
/var/sadm/system/logs/begin.log  
/var/sadm/system/logs/finish.log  
/var/sadm/install/logs/Solaris_8_Localization_CD_install_.A*  
/var/sadm/install/logs/Solaris_8_Japanese_Localization_CD_install_.B*
```

12. システムをリブートします。

カスタム JumpStart

カスタム JumpStart で日本語ロケールのパッケージをインストールするには、インストールサーバーを使用してインストールを行なってください。インストールサーバーの作成については、46ページの「インストールサーバーの作成方法」を参照してください。

プロファイルには、日本語ロケールのパッケージをインストールできるファイルシステムを指定する必要があります。ディスク容量についての詳細は、33ページの「必要なディスク容量」を参照してください。カスタム JumpStart についての詳細は、『Solaris 8 のインストール (上級編)』を参照してください。

CDを使用する場合、JumpStartはOS1 CDのみのインストールを行います。OS2 CD、Lang CDのインストールは行いません。JumpStartでOS1 CDのインストールを行なった後に、Solaris Web Start 2.1.0を使用してOS2 CD、Lang CDをインストールすることは可能です。詳細は、59ページの「カスタム JumpStartはSolaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CDとLANGUAGES CDをインストールしない(バグ ID: 4304912)」を参照してください。

注 - 将来、Solaris 8のシステムをSolaris Web Startを使用してアップグレードする可能性がある場合は、ファイルシステムの配置においてスワップサイズを512 Mバイト (Solaris Web Startのデフォルトのスワップサイズ) 以上確保することをお勧めします。

Solaris Web Start 3.0

ここでは、一般的なシステムに日本語環境をインストールする手順を説明します。

Solaris Web Start 3.0についての詳細は、『Solaris 8 インストールガイド (Intel版)』を参照してください。

1. **INSTALLATION (Multilingual) CD** からブートします。
2. 次のような画面が表示されたら、言語を選択します。ここで選択した言語が、インストール画面の表示言語に設定されます。インストール画面の表示言語を日本語にするには、「6」を入力します。

```
The Solaris Installer can be run in English,  
or any of the following languages:  
1) English      6) Japanese  
2) German       7) Korean  
3) Spanish      8) Swedish  
4) French       9) Simplified_Chinese  
5) Italian      10) Traditional_Chinese  
  
Select the language you want to use to run the installer:
```

3. メッセージに従って、ルートディスクを選択します。

4. スワップを設定します。スワップのサイズは、デフォルトサイズ (512M バイト) を指定することを推奨します。ここで選択したスワップは、ファイルシステムの配置でスワップに設定され、変更することはできません。
5. 設定が完了すると、ミニルートがローカルディスクにコピーされ、コピーが完了すると、システムが自動的にリブートします。
6. 「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」をクリックし、インストール画面に従って設定を続けます。
7. 「ソフトウェアのロケール選択」画面で、インストールしたい日本語ロケールを選択します。ここで選択したロケールのパッケージが、**Solaris** ソフトウェアおよびインストールする同梱ソフトウェアの各々からインストールされます。
8. 「システムのロケール選択」画面で、システムのデフォルトロケールを選択します。
9. 「製品の選択」画面で、インストールしたい製品を選択します。
10. 「追加製品の指定」画面で、追加したい製品があればその製品を指定します。
11. インストール画面に従って設定を続け、インストールを開始します。
12. メッセージに従って **CD** を **CD-ROM** ドライブに挿入し、インストールを続けます。
13. すべてのインストールが終了したら、メッセージに従ってシステムをリブートします。
14. 以下のログファイルを確認します。

```
/var/sadm/system/logs/install_log  
/var/sadm/system/logs/disk0_install.log  
/var/sadm/system/logs/cd0_install.log  
/var/sadm/system/logs/webstart_launch.log*
```

同梱の CD をインストールした場合は、/var/sadm/install/logs の配下のログファイルも確認します。たとえば、次のようなログファイルがあります。

```
Solaris_8_Software_2_install_.A*  
Solaris_8_Software_2_install_.B*  
Solaris_8_Languages_CD_install_.A*  
Solaris_8_Japanese_Localization_install_.B*
```

```
Solaris_AnswerBook2_Server_install.B*
Solaris_8_Documentation_Asian_install.A*
Solaris_8_Collections_-_Japanese_install.B*
```

Solaris Web Start 3.0 CLI インストール

tip(1) 接続によって INSTALLATION (Multilingual) CD からブートすると、コマンド行インタフェースの Solaris Web Start 3.0 インストールが起動します。

IA システムで標準入出力先を変更するには、Device Configuration Assistant を使用してください。「Identified Devices」画面で「Device Tasks」(F4 キー)を選択すると、「Device Tasks」画面が表示されます。「Set Console Device」を選択し、希望するデバイスを指定してください。

Solaris 8 へのアップグレード

Solaris 8 へのアップグレードインストールは、Solaris 2.5.1 以降のシステムからのアップグレードをサポートします。

アップグレードを開始する前に、62ページの「アップグレードに関する注意事項とバグ情報」を参照して、アップグレードに関する注意事項を確認してください。

CD を使用した対話式によるアップグレード

OS1 CD からブートし、従来のアップグレードと同様の設定を行ってから、アップグレードを開始します。OS1 CD のアップグレードが終了すると、システムがリブートします。CD を挿入するように促すメッセージが表示されるので、メッセージに従って CD を挿入し、アップグレードを行なってください。

カスタム JumpStart によるアップグレード

カスタム JumpStart によるアップグレードを行う場合は、前述の 42ページの「カスタム JumpStart」と同様に、インストールサーバーを使用してインストールを行なってください。

CD を使用して JumpStart でアップグレードを行う場合、インストールされるのは OS1 CD のみです。OS2 CD、Lang CD はインストールされません。このため、OS1 CD からの JumpStart アップグレードを行なった場合は、Solaris Web Start 2.1.0 を使用して、OS2 CD と Lang CD をインストールする必要があります。詳細は、59

ページの「カスタム JumpStart は Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD と LANGUAGES CD をインストールしない (バグ ID: 4304912)」を参照してください。

Solaris Web Start 3.0 によるアップグレード

SPARC システムのアップグレード

Solaris Web Start 3.0 は、SPARC システムが次の要件を満たしている場合に、アップグレード可能なシステムと認識します。要件を満たしているシステムでは、Solaris Web Start 3.0 は「アップグレード」オプションを表示します。SPARC システムがこれらの要件に適合しない場合は、対話式インストールでアップグレードを行なってください。

■ SPARC の要件:

アップグレードするシステムが、次のいずれかの条件を満たすスライスを持っている。

- 384 M バイト以上のスワップスライス
- 384 M バイト以上の未使用のスライス

IA システムのアップグレード

Solaris Web Start 3.0 を使用して、Solaris 8 以前のリリースのシステムを Solaris 8 にアップグレードすることはできません。

Solaris Web Start が、以前の Solaris リリースとは異なる方法で Solaris ソフトウェアをインストールするためです。10 M バイトの IA ブートパーティションが別に必要となります。したがって、IA システムをアップグレードする場合は、対話式インストールを使用する必要があります。

IA システムのアップグレードについての詳細は、『Solaris 8 インストールガイド (Intel 版)』を参照してください。

インストールサーバーの作成方法

対話式インストールおよびカスタム JumpStart インストールと、Solaris Web Start 3.0 とでは、ブートソフトウェアが異なります。ここでは、ブートソフトウェア以外

のソフトウェアを共有し、1つのインストールサーバーでこれらのインストールが行えるインストールサーバーを作成する方法を説明します。

はじめに、対話式用およびカスタム JumpStart 用のインストールサーバーを作成します。

1. インストールサーバーにするシステムにログインします。

2. **OS1 CD** を **CD-ROM** ドライブに挿入し、Tools ディレクトリに移動します。

```
# cd Solaris_8/Tools
```

3. `setup_install_server` コマンドを使用して、**OS1 CD** のソフトウェアをディスクにコピーします。

```
# ./setup_install_server /install_server/s8
```

4. **OS1 CD** のコピーが終了したら、**CD-ROM** ドライブから **OS1 CD** を取り出し、**OS2 CD** を **CD-ROM** ドライブに挿入します。**OS2 CD** の Tools ディレクトリにある `add_to_install_server` コマンドを使用して、**OS2 CD** のソフトウェアを47ページの手順3で作成した **OS1 CD** のソフトウェアに追加します。

```
# ./add_to_install_server /install_server/s8
```

5. **OS2 CD** のコピーが終了したら、**CD-ROM** ドライブから **OS2 CD** を取り出し、**Lang CD** を **CD-ROM** ドライブに挿入します。**Lang CD** の Tools ディレクトリにある `add_to_install_server` コマンドを使用して、**Lang CD** のソフトウェアを47ページの手順4で作成した **OS2 CD** のソフトウェアに追加します。日本語ロケールのソフトウェアのみを追加する場合は、次のように `-s` オプションを指定して `add_to_install_server` を起動し、`Japanese` と `shared` を選択してください。複数を選択する場合は、「5,10」のようにカンマ(,)で区切って指定します。`-s` オプションを指定しないで起動すると、すべてのロケールのソフトウェアが追加されてしまうため、注意が必要です。

```
# ./add_to_install_server -s /install_server/s8
```

```
Enter the number of the product(s) you want to add  
to /install_server/s8/Solaris_8/Product or 'all' for all products.
```

(続く)

```
The following are valid products:
```

- 1 Simplified_Chinese
- 2 French
- 3 German
- 4 Italian
- 5 Japanese
- 6 Korean
- 7 Spanish
- 8 Swedish
- 9 Traditional_Chinese
- 10 shared

次に、Solaris Web Start 3.0 用インストールサーバーを作成するために、対話式およびカスタム JumpStart 用インストールサーバーに Solaris Web Start 3.0 のブートソフトウェアを追加します。

1. INSTALLATION (Multilingual) CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

SPARC 版の INSTALLATION (Multilingual) CD は、SPARC Solaris マシンの CD-ROM ドライブでのみ見ることができます。Intel 版の INSTALLATION (Multilingual) CD は、Intel 版 Solaris マシンの CD-ROM ドライブでのみ見ることができます。

INSTALLATION (Multilingual) CD の `modify_install_server` コマンドを使用して、前述の47ページの手順4で作成したインストールサーバーに Solaris Web Start 3.0 のブートソフトウェアを追加します。追加するときには、必ず `-p` オプションを指定してください。`-p` オプションを指定しないと、対話式およびカスタム JumpStart 用のブートソフトウェアが削除されてしまいます。

SPARC 版の INSTALLATION (Multilingual) CD :

```
# cd /cdrom/multi_icd_sol_8_sparc/s0
# ./modify_install_server -p /install_server/s8 /cdrom/cdrom0/s1
```


Intel 版の INSTALLATION (Multilingual) CD :

```
# cd /cdrom/multi_icd_sol_8_ia/s2
# ./modify_install_server -p /install_server/s8 /cdrom/cdrom0/s0
```

これで、インストールサーバーの作成が完了しました。インストールサーバーには、Boot と Boot.orig というディレクトリが存在しています。

Solaris_8/Tools/Boot.orig 対話式、カスタム JumpStart 用

Solaris_8/Tools/Boot Solaris Web Start 3.0 用

インストールを行う前に add_install_client コマンドを使用してインストールするシステムを設定する際に、-t オプションでブートソフトウェアの場所を指定します。

対話式、カスタム JumpStart の場合 :

```
# cd /install_server/s8/Solaris_8/Tools
# ./add_install_client -t /install_server/s8/Solaris_8/Tools/Boot.orig hostname arch
```

Solaris Web Start 3.0 の場合 :

```
# cd /install_server/s8/Solaris_8/Tools
# ./add_install_client -t /install_server/s8/Solaris_8/Tools/Boot hostname arch
```


インストールに関する注意事項とバグ情報

この章では、Solaris 8 のインストールに関する注意事項とバグ情報について説明します。本章の内容を理解してからインストールを開始してください。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれているものおよび印刷マニュアルの『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の作成後に見つかった、以下のバグの情報が追記されています。また、既存のバグ情報・注意事項の一部についても、最新の内容に変更されています。

- バグ ID: 1146863
- バグ ID: 4313411
- バグ ID: 4283839
- バグ ID: 4302549
- バグ ID: 4305420
- バグ ID: 4306260

対話式インストールの前に知っておく必要がある 注意事項とバグ情報

対話式インストールで Solaris 8 のインストールを開始する前に、知っておく必要がある情報について説明します。



注意 - IA (Intel Architecture) ベースのシステムを Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードする場合は、インストールを開始する前に、55ページの「DiskSuite でデータが失われる可能性がある (バグ ID: 4121281)」の説明を必ずお読みください。

ロケール選択機構の変更

Solaris 8 では、インストールするロケールを選択する機構が変更されました。Solaris 2.5.1、Solaris 2.6、Solaris 7 では、一部のロケールは、選択するソフトウェアグループ (ソフトウェアクラスタ) によって、インストールするロケールを決定していました。Solaris 8 では、新しいインストールインタフェースが導入され、地域を選択することによって必要なロケールを決定します。このため Solaris 8 では、Solaris 2.5.1、Solaris 2.6、Solaris 7 よりも柔軟にオペレーティングシステムのインストール時にシステム構成をカスタマイズすることができます。

特に、次の点に注意してください。

- 初期インストールの場合、インストールするロケールは「地域の選択」画面で選択してください。ただし、C ロケール (POSIX ロケール) と en_US.UTF-8 ロケール (Unicode をサポート) は、自動的にインストールされます。
- 従来のリリースからのアップグレードインストールの場合、「地域の選択」画面でいくつかのロケール (アップグレードするシステムによって使用できるロケールは異なる) が自動的に選択されています。これは、Solaris 2.5.1、Solaris 2.6、Solaris 7 では、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、スウェーデン語の一部のロケールがシステム上に暗黙のうちにインストールされていたためです。
- Unicode ロケール (UTF-8) には、複数言語の入力を可能にする機能があります。Unicode ロケールは、その個々のロケールで提供されるアジア言語の入力方式を利用しているので、文字入力に必要なアジア言語のロケールをインストールしてください。たとえば、韓国語入力を可能にするには、ko.UTF-8 ロケールをインストールしてください。

symhis1、mega、cpqncr などのディスクコントローラ ドライバがインストールされているシステムに、8 G バイトを超えるパーティションを作成できない

以下に示すコントローラのいずれかを使用するディスク上に 8G バイトを超えるパーティションを作成すると、インストールされたシステムが正常に動作しません。

Solaris オペレーティング環境のインストールプログラムは、ドライバが 8G バイトを超えるパーティションをサポートしないことを検知できません。したがって、エラーを表示せずにインストールを続けますが、システムをリブートしようとするときリブートは失敗します。

システムをリブートできたとしても、ブートデバイスや追加されたパッケージに関連する他の変更が原因となって、後で異常終了します。これらのドライバに関連するディスクコントローラは、次のとおりです。

- Symbios 53C896 ベースのコントローラ (symhis1)
- AMI MegaRAID コントローラ (mega)
- Compaq 53C8xx ベースの SCSI コントローラ (cpqncr)

回避方法: symhis1、mega、cpqncr などのドライバによって稼動するディスクコントローラを持つシステムに、ディスクの最初の 8G バイトを超える大きなパーティションをインストールしないでください。

Solaris 8 オペレーティング環境へアップグレードする前に、DPT PM2144UW コントローラの BIOS を最新のものに更新する必要がある

Solaris 8 オペレーティング環境には、サイズの大きいパーティションをインストールするための新しい機能が追加されています。DPT PM2144UW コントローラの BIOS は、LBA (論理ブロックアドレス指定, Logical Block Addressing) をサポートしていません。最新の BIOS は、LBA アクセスを完全にサポートしています。問題が発生した場合は、ほかの DPT コントローラモデルにも影響します。

回避方法: Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードする前に、DPT PM2144UW コントローラの BIOS が最新のバージョンであることを確認してください。

システムに DPT コントローラがインストールされているかどうかは、次の手順で確認できます。

1. 次のコマンドを実行します。

```
prtconf -D
```

2. 名前 `dpt` が表示されたら、カードの構成ユーティリティを起動して、機種や BIOS のバージョンに関する情報を取得します。
3. BIOS をフラッシュするか、最新の BIOS EPROM をインストールして、DPT PM2144UW コントローラをアップグレードします。すべての DPT コントローラの最新の BIOS イメージについては、<http://www.dpt.com> を参照してください。

これで、システムを Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードできます。

BIOS バージョン GG.06.13 を使って Hewlett-Packard (HP) Vectra XU シリーズのシステムをアップグレードできない

Solaris 8 オペレーティング環境には、サイズが大きいパーティションをインストールできる新しい機能が含まれています。システム BIOS は Logical Block Addressing (LBA) をサポートしている必要がありますが、BIOS バージョン GG.06.13 は LBA アクセスをサポートしていません。このような衝突を Solaris ブートプログラムは処理できません。この問題は他の HP Vectra システムにも影響します。

このシステムをアップグレードすると、HP システムはブートしなくなります。暗い画面上に点滅する下線が表示されるだけです。

回避方法 : HP Vectra XU シリーズシステムを最新の BIOS バージョン GG.06.13 で、Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードしないでください。Solaris 8 オペレーティング環境では、これらのシステムはサポートされていません。

ブートパスはハードディスクコードを使用しないため、ブートフロッピーディスクまたはブート CD でシステムをブートすることができます。、ブート可能デバイスとしてネットワークまたは CD-ROM ドライブの代わりに、ハードディスクを選択してください。

PCI-IDE システム上で DMA が無効になる

デフォルトでは、Solaris ata デバイスドライバは、ATA/ATAPI デバイスに対して DMA (Direct Memory Access) 機能を無効にします。Solaris 8 オペレーティング環境は、DMA 機能が無効になっている状態で正しく動作します。

パフォーマンスを向上させるために DMA 機能を有効にするには：

128ページの「PCI-IDE システム上で DMA が無効になる」の手順 1 の代わりに、次の手順を実行してください。

Device Configuration Assistant フロッピーディスクまたは INSTALLATION (Multilingual) CD を使用して、Intel 版 Solaris の Device Configuration Assistant を実行します。

注 - Device Configuration Assistant フロッピーディスクでブートする時に、新しい ata-dma-enabled 属性の値がフロッピーディスク上に保存されます。したがって、属性値を変更した場合、Device Configuration Assistant フロッピーディスクを再度使用した時に変更後の値が適用されます。

次に、128ページの「PCI-IDE システム上で DMA が無効になる」の手順 5d の代わりに、次の手順を実行してください。

どのデバイス (ネットワークアダプタまたは CD-ROM ドライブ) からインストールを実行するかを選択し、F2 キーを押します。

DiskSuite でデータが失われる可能性がある (バグ ID: 4121281)

DiskSuite™ metadb 複製には、DiskSuite 構成データの一部にドライバ名が含まれています。Solaris オペレーティング環境 2.5.1 または 2.6 を実行する IA ベースのシステムでは、SCSI ドライバ名は cmdk です。cmdk ドライバは、Solaris 8 オペレーティング環境では sd ドライバに置換されています。

回避方法 : Solaris 8 オペレーティング環境へのアップグレード中にデータを損失しないようにするには、DiskSuite が動作している IA システムのアップグレードを開始する前に、メタデバイス構成をテキストファイルに保存し、metadb 複製を削除してください。IA システムのアップグレード後に、DiskSuite のコマンド行インタフェースを使用してメタデバイス構成を復元してください。

『Solstice DiskSuite 4.2 ご使用にあたって』には、metadb 構成の保存、metadb 複製の削除、IA システムの Solaris 8 オペレーティング環境へのアップグレード、DiskSuite のバージョン 4.2 へのアップグレード、メタデバイス構成の復元について、それぞれの手順が記載されています。Solaris 8 オペレーティング環境には、これらの手順を自動化する Bourne シェルスクリプトが含まれています。

対話式インストール中に発生するバグ

対話式インストールで Solaris 8 のインストールを実行中に発生するバグの情報について説明します。

「媒体の指定」画面で、存在しない Solaris 8 Localizations CD が要求される (バグ ID: 4282513)

Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD から対話式インストールを行い、日本語環境をインストールする場合、「媒体の指定」画面で Solaris 8 Localizations CD の挿入を求めるメッセージが表示されます。しかし、Solaris 8 には Localization CD という名前の CD は存在しません。

回避方法：Solaris 8 Localizations は、Solaris 8 LANGUAGES を意味していますので、Solaris 8 LANGUAGES CD を挿入してください。

ddi: net: x86 ネットワークブートは、特定のタイプの一次ネットワークインタフェース上でしか動作しない (バグ ID: 1146863)

ネットワークを介するブートは、IA システムの一次ネットワークインタフェース上で実行する必要があります。

一次ネットワークインタフェースは、ネットワークインタフェースの選択とインストールを繰り返すことによって特定できますが、「Boot Solaris」メニューの最初または最後にリストされているネットワークデバイスが一次ネットワークインタフェースであることが多いです。

一次ネットワークインタフェースを特定できたら、ハードウェア構成を変更しない限り、システムをブートする度に一次ネットワークインタフェースは変わりませ

ん。ハードウェア構成を変更した場合、変更したハードウェア構成によって、一次ネットワークインタフェースが変更される場合と変更されない場合があります。

一次ネットワークインタフェース以外のネットワークインタフェースからブートした場合、ブートシステムがハングし、ブートサーバーに接続できなくなります。この問題は、システムがブートサーバーのクライアントとして登録されていない場合にも発生します。

インストールの進捗を示すスケール表示が不正確 (バグ ID: 1266156)

Solaris ソフトウェアのインストール中であるにもかかわらず、「Solaris ソフトウェアのインストール - 実行中」のスケールがインストールの完了を示す場合があります。

スケールがインストールの完了を示した後も、インストールプログラムによってパッケージが追加されている可能性があるため、インストールが完了したかどうかをスケールの表示で判断しないでください。すべてのインストール処理が完了すると、プロンプト # が表示されます。

ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (バグ ID: 4189127)

インストール中、ファイルシステムの作成時に、次のどちらかの警告メッセージが出力されることがあります。

```
Warning: inode blocks/cyl group (87) >= data blocks (63) in last cylinder group. This implies 1008 sector(s) cannot be allocated.
```

```
Warning: 1 sector(s) in last cylinder unallocated
```

この警告メッセージは、作成中のファイルシステムのサイズと使用しているディスク上の容量が等しくない場合に表示されます。この場合、ディスク上に、作成中のファイルシステムには取り込まれない未使用の領域ができます。この未使用のディスク領域は、他のファイルシステムに割り当ててはできません。

回避方法：警告メッセージは無視してください。警告メッセージが表示されても問題は発生しません。

パスに # が含まれていてもエラーにならない (バグ ID: 4294586)

Java プログラムのパスに # が含まれていると、プログラムを実行した時に次のようなメッセージが表示されます。

```
Exception in thread "main" java.lang.NoClassDefFoundError
Volume Management (vold) sometimes uses a pound sign in a path
when creating directory names:
```

回避方法: # を削除してください。または Java インストールウィザードを使用しないでください。

メディアが入っていない Zip ドライブが接続されていると、演算例外が発生する (バグ ID: 4307035)

Zip ドライブが接続されていて、ドライブ中にディスクが挿入されていない場合、Solaris Web Start から演算例外が発生し、次のようなメッセージが表示されます。

```
Starting the Web Start 3.0 Solaris installer
./W00.findswap[1823]: 173 Arithmetic Exception
Could not get disk information.
Exiting
```

回避方法: システムをブートする前に Zip ドライブの接続を外すか、またはドライブに Zip ディスクを挿入してください。

[日本語環境のみ] 日本語端末からの tip(1) 接続によるインストールで、インストール画面が英語で表示される (バグ ID: 4313411)

ヘッドレスシステムに日本語端末から tip(1) 接続によるインストールを行う場合、言語の選択画面で「Japanese」を選択すると端末タイプの選択画面は日本語で表示されますが、それ以降のすべてのインストール画面は英語で表示されます。

また、`sysidcfg` ファイルで `system_locale` に日本語ロケールを設定した場合、すべてのインストール画面は英語で表示されます。

回避方法：インストール画面が英語で表示されるだけで、インストール後のシステムのデフォルトロケールは、インストール時に選択したロケールに設定されます。なお、シリアル端末のシステムにインストールする場合は、言語の選択画面で「English」を選択してください。

カスタム JumpStart インストールに関するバグ情報

カスタム JumpStart は Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD と LANGUAGES CD をインストールしない (バグ ID: 4304912)

カスタム JumpStart インストールは、Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD をインストールした後、Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD および Solaris 8 LANGUAGES CD をインストールしません。

回避方法：「コアシステムサポート」ソフトウェアグループまたは「エンドユーザーシステムサポート」ソフトウェアグループを Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD に含まれる基本ロケール (部分ロケールともいい、ユーザーインタフェースの翻訳を含まない) 環境のみで利用する場合は、SOFTWARE 2 of 2 CD および LANGUAGES CD をインストールする必要はありません。

「開発者システムサポート」、「全体ディストリビューション」、「全体ディストリビューションと OEM サポート」のいずれかのソフトウェアグループをインストールする場合は、Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD、SOFTWARE 2 of 2 CD、LANGUAGES CD を含むインストールサーバーを使用して、ネットワーク上でカスタム JumpStart インストールを行なってください。詳細は、『Solaris 8 インストールガイド (上級編)』の「JumpStart ディレクトリをサーバー上に作成する方法」を参照してください。

なお、プロファイルフロッピーディスクを使用したカスタム JumpStart インストールを行う場合は、次の手順に従って Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD、LANGUAGES CD をインストールしてください。

1. カスタム JumpStart による Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD のインストールが終了したら、システムをリブートします。

2. システムにログインします。
3. Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
4. `installer` コマンドを実行します。インストール画面に従ってソフトウェアをインストールします。
5. Solaris 8 LANGUAGES CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
6. `installer` コマンドを実行します。インストール画面に従ってソフトウェアをインストールします。

Solaris Web Start 3.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

Solaris Web Start 3.0 を使用する場合のインストールに関する問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用するときには発生しません。

Solaris Web Start インストールにおいて必要なパーティション

Solaris Web Start 3.0 が、システム上の Solaris `fdisk` パーティションを認識できない場合は、ルートディスク上に Solaris `fdisk` パーティションを作成する必要があります。



注意 - 既存の `fdisk` パーティションのサイズを変更すると、そのパーティション上のすべてのデータが自動的に削除されます。データのバックアップをとってから、Solaris `fdisk` パーティションを作成してください。

Solaris Web Start でインストールを行うには、2 つの `fdisk` パーティションが必要です。

- Solaris `fdisk` パーティション
通常の Solaris `fdisk` パーティションです。
- x86 ブート `fdisk` パーティション

10 M バイトの fdisk パーティションです。これによって Intel アーキテクチャは、Solaris fdisk パーティション上に新しく作成されるスワップスライス上に置かれるミニルートを、ブートできるようになります。

注 - Solaris Web Start 3.0 は、以前の Solaris リリースのシステムには作成されていない x86 ブートパーティションを作成します。この x86 ブートパーティションは、既存の fdisk パーティションのうちの 10 M バイトを利用して自動的に作成されるので、既存の fdisk パーティションは変更しないでください。

また、x86 ブートパーティションを手動で作成することは許されていないので、Solaris 2.5.1、Solaris 2.6、Solaris 7 オペレーティング環境は x86 ブートパーティションを持つことができません。そのため、これらのオペレーティング環境のシステムを、Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD を使用して Solaris 8 にアップグレードしようとしても、Solaris Web Start 3.0 によってアップグレード可能なシステムとして認識されないため、アップグレードすることができません。詳細は、62 ページの「アップグレードに関する注意事項とバグ情報」を参照してください。

Solaris Web Start 3.0 を使用して英語の AnswerBook ドキュメントをインストールする方法

英語の AnswerBook ドキュメントは、Solaris 8 DOCUMENTATION CD (英語 + ヨーロッパ言語版) に含まれており、アジア言語版の DOCUMENTATION CD には含まれていません。

英語の AnswerBook ドキュメントは、Solaris Web Start 3.0 のデフォルトインストーラでインストールされます。カスタムインストーラの場合は、「製品の選択」画面で「Solaris 8 Documentation European」の「European Collections for Solaris 8」が選択されている場合にインストールされます。

また、「Solaris 8 Documentation European」と「Solaris 8 Documentation Asian」の両方に「AnswerBook2 Documentation Server」が含まれていますが、どちらも同じものです。両方を選択してもインストールには問題ありませんが、どちらか一方が選択されていれば十分です。

Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD の挿入について

Solaris Web Start 3.0 は、選択したソフトウェアグループ、ロケール、製品に応じて必要な CD を挿入するように要求し、インストールを行います。

Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD には、「開発者システムサポート」以上のソフトウェアグループとアーリーアクセス・ソフトウェア (Appcert 2.1、Live Upgrade 1.0、DiskSuite 4.2.1、Solaris Management Console 2.0) が含まれています。

「開発者システムサポート」以上のソフトウェアグループおよびアーリーアクセス・ソフトウェアを選択した場合、Solaris Web Start 3.0 は、SOFTWARE 1 of 2 CD のインストールが完了すると SOFTWARE 2 of 2 CD を挿入するように要求します。その後、LANGUAGES CD や DOCUMENTATION CD をインストールした後に再度 SOFTWARE 2 of 2 CD を挿入するように要求します。これは、アーリーアクセス・ソフトウェアをインストールするためで、Solaris ソフトウェアをインストールするためではありません。メッセージに従って SOFTWARE 2 of 2 CD を挿入し、アーリーアクセス・ソフトウェアのインストールを行なってください。

Live Upgrade のインストール画面の表示

Solaris Web Start 3.0 のインストールにおいて「製品の選択」画面で、Solaris 8 SOFTWARE 2 of 2 CD に含まれている Live Upgrade を選択した場合、Live Upgrade のインストール画面の一部が英語で表示されます。

また、Live Upgrade を Solaris Web Start 2.1.0 を使用してインストールする場合 (Solaris_8/EA/installer または Solaris_8/EA/products/Live_Upgrade_1.0/installer を起動) も、インストール画面の一部が英語で表示されます。

アップグレードに関する注意事項とバグ情報

旧リリースの Solaris がインストールされているシステムを、Solaris 8 にアップグレードする場合の注意事項とバグについて説明します。

Solaris 8 へのアップグレードインストールの範囲

Solaris 8 をアップグレードオプションによってインストールする場合、Solaris 2.5.1 以降のシステムからのアップグレードをサポートします。それより前のリリースからのアップグレードは保証されません。

Solaris Web Start 3.0 を使用して Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードできない

x86 ブートパーティションに関する制限事項のために、Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD の Solaris Web Start 3.0 を使用して、IA ベースのシステムを Solaris 8 へアップグレードすることはできません。IA ベースのシステムでは、対話式インストールを使用して Solaris 8 へのアップグレードを行なってください。

対話式インストールによるアップグレードでのロケール選択

52ページの「ロケール選択機構の変更」で説明したように、Solaris 8 では、インストールするロケールを選択する機構が変更されました。このため、対話式インストールを使用してシステムを Solaris 8 へアップグレードすると、既存システムのインストール時に明示的にインストールしなかったロケールが「地域の選択」画面で自動的に選択されます。これは、既存システムのインストール時に明示的に指定していないロケールのソフトウェアが、暗黙のうちにインストールされていたためです。

既存システムのインストール時にインストールするロケールとして明示的に指定しなかったロケールが含まれている地域を、「地域の選択」画面で選択解除することができます。余分なロケールをそのまま選択解除せずにアップグレードを行っても問題はありません。アップグレードしたシステムには、アップグレード前と同じレベルのロケール環境がサポートされます。ただし、既存のシステムに明示的にインストールしたロケールは、「地域の選択」画面で削除することはできません。

[日本語環境のみ] 「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」が入ったシステムからのアップグレード

Solaris 2.5.1 に同梱されていた「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」がインストールされているシステムをアップグレードする場合、それをサポートするパッケージ (SUNWjpr、SUNWjpu、SUNWjpxw、SUNWjpd) は自動的に削除され

ます。ja_JP.PCK ロケール環境をインストールするには、「言語の選択」画面で「Japanese PC Kanji (ja_JP.PCK)」を追加選択してください。

[日本語環境のみ] cs00 に関するアップグレード時の注意事項

Solaris 2.6 から、cs00 は「コアシステムサポート」ソフトウェアグループには含まれなくなりました。「コアシステムサポート」でインストールされた Solaris 2.5.1 システムをアップグレードすると、システム上から cs00 をサポートするシステムファイルが削除されてしまうため、注意が必要です。

「コアシステムサポート」で cs00 を利用する場合は、「エンドユーザーシステムサポート」以上のソフトウェアグループを選択するか、インストール後に pkgadd コマンドにより次のパッケージをインストールしてください。

- SUNWjc0r : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 Root File
- SUNWjc0u : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 User Files

なお、かな漢字入力機能を持たない漢字表示可能な端末や端末エミュレータ上で日本語を入力するためのフロントエンドプロセッサ mle を利用する際にも、cs00 が必要になります。

Solaris Easy Access Server (SEAS)

Solaris 8 オペレーティング環境では、SEAS のアプリケーションの動作は保証されていません。Solaris 8 オペレーティング環境で SEAS のアプリケーションが正しく動作するようにするためには、Solaris 8 Admin Pack をインストールする必要があります。

SEAS に含まれていた次のアプリケーションは、Solaris 8 オペレーティング環境に含まれるようになりました。

- Solaris WBEM (Web-Based Enterprise Management) Services
- Solaris Print Manager
- Netscape™ Communicator
- Java Development Kit (JDK™)
- Solstice DiskSuite

次の SEAS アプリケーションは、Solaris 8 オペレーティング環境で正しく動作することが保証されていません。

- Solstice Internet Mail Server
- Sun Directory Services
- Sun WebServer
- Solaris PC NetLink
- SunScreen™ SKIP
- Solstice NFS Client™
- Java IDL
- Solstice AutoClient™
- Solaris Data Backup Utility

Priority Paging 機能と Solaris 8 キャッシュアーキテクチャ

Solaris 8 オペレーティング環境には、Solaris 7 の Priority Paging 機能を包含する、新しいファイルシステムキャッシュアーキテクチャが導入されています。Solaris 8 オペレーティング環境では、システム変数 `priority_paging` を設定しないでください。Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードする時に、システム変数 `priority_paging` を `/etc/system` から削除する必要があります。

新しいキャッシュアーキテクチャでは、ファイルシステムの動作で発生する仮想メモリーシステムへの負荷の大部分が削減されます。これによって、メモリーページング統計のダイナミクスが変わり、システムメモリーの監視機能がより簡素化されます。ただし、従来とは大幅に異なる統計値が出される場合もあることを、メモリー動作を解析する時またはパフォーマンス監視のしきい値を設定する時には留意する必要があります。主な相違点は次のとおりです。

- ページ要求の量が多くなります。負荷が大きいファイルシステム動作中には、通常の処理とみなす必要があります。
- 空きメモリーの量が多くなります。これは、ファイルシステムキャッシュの大規模コンポーネントも空きメモリー量として計算されるようになったためです。
- システム全体で利用可能なメモリーが不足しない限り、走査率はほぼゼロになります。通常のファイルシステム入出力中に空きリストを置き換えることを目的として、走査を行うことはなくなりました。

アップグレードを行うと、システムのデフォルトロケールが正しく設定されない (バグ ID: 4233535)

Solaris 8 へのアップグレードを行うと、アップグレード時に設定したデフォルトロケールがシステムのデフォルトロケールに正しく設定されない場合があります。

CD を使用した対話式アップグレードの場合、Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD のインストールの終了後、自動ブートしたシステムが英語環境で起動し、SOFTWARE 2 of 2 CD および LANGUAGES CD のインストール画面が英語で表示されることがあります。

回避方法：アップグレード終了後、システムのデフォルトロケールを `/etc/default/init` ファイルの `LANG` 環境変数に設定してください。

[日本語環境のみ] アップグレード後のログファイル中に警告メッセージ **no longer a symbolic link** が出力されることがある (バグ ID: 4279768)

Solaris 8 へのアップグレードにおいて、Solaris 8 LANGUAGES CD の日本語ロケールのパッケージをインストールすると、ログファイル

`Solaris_8_Japanese_Localization_install.B*` 中に次のような警告メッセージが出力される場合があります。

```
WARNING: /usr/dt/appconfig/appmanager/ja/Desktop_Controls <no longer a symbolic link>
```

回避方法：警告が出力されているファイルは正しくインストールされており問題はありませので、警告メッセージは無視してください。

WBEM 1.0 がインストールされている Solaris 7 オペレーティング環境から Solaris 8 にアップグレードすると、WBEM 2.0 が動作しない (バグ ID: 4274920)

Solaris 7 オペレーティング環境を実行しているシステムに、Solaris Easy Access Server (SEAS) 3.0 CD-ROM から WBEM 1.0 をインストールしている場合は、Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードする前に WBEM 1.0 のパッケージを削除してください。WBEM 1.0 がインストールされたままアップグレードすると、

Solaris WBEM Services 2.0 が起動しません。また、CIM Object Manager の起動にも失敗します。この場合、次のエラーメッセージが表示されます。

```
File not found: /opt/sadm/lib/wbem/cimom.jar
```

回避方法 : Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードする前に、WBEM 1.0 パッケージを手作業で削除してください。削除には、pkgrm コマンドを使用してください。

1. pkginfo コマンドを実行して、WBEM 1.0 パッケージがインストールされているかどうかを確認します。

```
% pkginfo | grep WBEM
```

2. スーパーユーザーになります。
3. コマンドを実行して、WBEM 1.0 のパッケージをすべて削除します。

```
# pkgrm SUNWwbapi
# pkgrm SUNWwbcor
# pkgrm SUNWwbdev
# pkgrm SUNWwbdoc
# pkgrm SUNWwbn
```

各ロケールのメッセージおよびヘルプに関するパッケージが入っているときは、それらのパッケージも削除します。以下は日本語版の例です。

```
# pkgrm SUNWjewbi
# pkgrm SUNWjewbs
# pkgrm SUNWjwbd
```

アップグレードできるシステムが、ディスク容量不足のためにアップグレードできないとして間違っ て判断される (バグ ID: 4041733)

アップグレードプログラムは、Solaris ソフトウェアのシステムをアップグレードするために必要な容量よりも 30% 多くの容量を見積もります。このため、パッケージ

の選択を解除したり容量を増やしたりしないと、アップグレードできない場合があります。

回避方法：ファイルシステムのディスク容量を手作業で割り当ててください。または、「ソフトウェアのカスタマイズ」メニューを選択し、不要なソフトウェアパッケージを削除してください

アップグレード時に SUNWeeudt のインストールが部分的に失敗する (バグ ID: 4304305)

SUNWeeudt パッケージのインストールが部分的に失敗したことを示す次のようなメッセージが、アップグレードログに出力されます。

```
Doing pkgadd of SUNWeeudt to /.
ERROR: attribute verification of
</a/usr/dt/appconfig/types/ru_RU.KOI8-R/datatypes.dt>
failed pathname does not exist ...

Installation of <SUNWeeudt> partially failed.
pkgadd return code = 2
```

回避方法：アップグレード完了後に、次の手順を実行してください。

1. 次のように入力して、SUNWeeudt パッケージを削除します。

```
# pkgrm SUNWeeudt
```

2. 次のように入力して、SUNWeeudt パッケージを追加します。

```
# pkgadd SUNWeeudt
```

インストール全般に関する注意事項とバグ情報

Solaris 8 のインストール全般に関する注意事項とバグ情報を説明します。

スワップ不足によって Solaris Web Start 2.x インストールが失敗する (バグ ID: 4166394)

同梱されている CD を、その CD に含まれている Solaris Web Start 2.x (installer) を使用して日本語ロケール (日本語表示) でインストールしているときに、スワップ容量の不足のためインストールが失敗することがあります。この場合、コンソールにエラーメッセージが表示されますが、エラーメッセージは次のように文字化けしています。

```
RunCmd Error:java.io.IOException: ??????????????????????
```

回避方法: 同梱されている CD に含まれている Solaris Web Start 2.x は、実行時におよそ 50M バイトのメモリーを消費します。Solaris Web Start 2.x を使用してインストールする場合は、`swap -s` コマンドなどで空きスワップ容量を確認し、不足している場合は、メモリーの消費量が多いアプリケーションを終了するか、スワップファイルを作成してスワップ領域を追加してください。詳細は、`swap (1M)` のマニュアルページを参照してください。

[日本語環境のみ] デフォルトロケールに関係なくインストールログが EUC テキストファイルで生成される

選択したデフォルトロケールに関係なく、`install_log`、`upgrade_log` などの Solaris のインストールログファイルは、EUC (ja ロケール) テキストとして生成されます。

回避方法: コードコンバータで変換して参照するか、テキストエディタなどの GUI ツールを ja ロケールで起動して参照してください。

[日本語環境のみ] Solaris 8 でサポートされる日本語入力システム

Solaris 8 では、日本語入力システムとして、ATOK12、Wnn6、ATOK8、cs00 を利用できます。これらは LANGUAGES CD (cs00 の一部は SOFTWARE CD) に含まれており、「エンドユーザーシステムサポート」以上のソフトウェアグループでデフォルトでインストールされます。

ただし、複数言語入力環境で利用できる日本語入力システムは、ATOK12 または cs00 です。Wnn6 および ATOK8 は、複数言語入力環境では利用できません。

[日本語環境のみ] 日本語 106/109 キーボードに関する注意事項

デフォルトのキーボードは US-English タイプになっているため、構成用補助ブートフロッピーディスクの「Identified Devices」画面で以下のように表示されます。

```
ISA: System keyboard (US-English)
```

日本語 106/109 キーボードを使用している場合は、F4-Device Tasks を選択し、「Set Keyboard Configuration」で「Japanese (106)」を選んでください。このとき、次のような指示が表示されます。F2-Continue を押して「101 形式」を選んでください。

```
To select the Windows 104-key keyboard format, choose Continue.  
To select the default 101-key keyboard format, choose Cancel.
```

設定後は、「Identified Device」画面で次のように表示されます。

```
ISA: System keyboard (Japanese(106))
```

注 - 日本語 109 キーボードに追加された Windows キーは、Solaris では使用できません。日本語 109 キーボードでは、日本語 106 キーボードと同じ機能を利用できません。

[日本語環境のみ] ブート時に周辺デバイスの設定不備を告げるメッセージが表示される

日本語 106/109 キーボードを使用しているシステムの場合、Device Configuration Assistant で「Japanese (106)」を選択しないでインストールを行うと、Solaris のブート時に、周辺デバイスの設定不備の可能性を示す次のメッセージが表示されます。

```
The peripheral device configuration may be incomplete or incorrect...
```

この場合、Japanese (106) として設定し直してください。次回のブートから、このメッセージは表示されなくなります。

[日本語環境のみ] 日本語キーボード入力

Solaris をインストールする前に日本語 106 キーボードを利用すると、一部キーボード上の印字と実際の入力が異なります。次の表を参照してください。

表 3-1 日本語キーボード上の印字と実際の入力文字

OADG 規格の日本語キーボード上の印字	実際の入力文字
“	@
&	^
’	&
(*
)	(
Shift-0)
=	-
~	+
^	=
¥	割り当てなし
	割り当てなし
@	[
’	{
[]
{	}
+	:
:	’
*	“
]	\
}	
-	割り当てなし
\	割り当てなし
半角 / 全角	~
Shift-半角 / 全角	’

英語および日本語以外のロケールに関するバグ情報

英語および日本語以外のロケールをインストールする場合に発生するバグについて説明します。

一部のメッセージやダイアログが、各言語ではなく英語で表示される (バグ ID: 4283839)

フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、スウェーデン語のロケールでは、一部のダイアログのユーザーインターフェースや、オンラインヘルプ中のダイアログボックスが、英語で表示されます。また、インストール中に表示できるヘルプが、上記の各言語に翻訳されていません。

ヨーロッパ言語のロケールのソフトウェアのインストール (バグ ID: 4299758)

「コアシステムサポート」ソフトウェアグループをインストールすると、ヨーロッパ言語ロケールにおけるウィンドウ処理、インストール、64 ビットサポート、フォントに関連するソフトウェアもインストールされてしまいます。ただし、これらのソフトウェアに必要な容量はわずかなので、このバグによる実質的な問題はありません。

スウェーデン語ロケール: インストール中に英語のダイアログボックスが表示される (バグID: 4300655)

Solaris 対話式インストールのダイアログにおいて、タイトルはスウェーデン語で表示されますが、以下に示す部分以降がスウェーデン語に翻訳されていないため、英語で表示されます。

```
You'll be using the initial option .....
```


フランス語およびイタリア語のインストールウィザードで、**CD** タイトルが {0} と表示される (バグ ID: 4302549)

フランス語およびイタリア語のロケールで、本来は CD のタイトルが表示されるべき箇所に {0} と表示されることがあります。

de_AT.ISO8859-15 ロケールおよび fr_BE.ISO8859-15 ロケールで、対話式 GUI インストール (suninstall) が失敗する (バグ ID: 4305420)

上記のロケールを使用して Solaris 8 オペレーティング環境をインストールすると、一部のインストール画面が英語で表示されます。また、これらの言語に翻訳されたパッケージが一部インストールされません。次のような警告メッセージが表示されます。

```
XView warning: "de" kann nicht als Sprachumgebungs-Kategorie
Ausgabesprache (gesetzt über Umgebungsvariable(n)) verwendet
werden, wenn Standardspracheauf"de_AT.ISO8859-15" gesetzt ist
(Server Package)
XView warning: Requested input method style not supported.
(Server package)
```

回避方法：ドイツ語またはフランス語の ISO8859-1 ロケールを使用して、Solaris オペレーティング環境をインストールしてください。

ドイツ語ロケール: **Web Start Kiosk** でプロキシを設定するダイアログの「**OK**」ボタンおよび「**Cancel**」ボタンが「**Undefined**」と表示される (バグ ID: 4306260)

Web Start Kiosk のプロキシを設定するダイアログに「OK」ボタンと「Cancel」ボタンがありますが、ドイツ語の Web Start Kiosk ではこれらのボタンが「Undefined」と表示されます。左側のボタンが「OK」で、右側のボタンが「Cancel」ボタンです。

実行時の注意事項とバグ情報

この章では、Solaris 8 実行時に発生するバグの情報および注意事項について説明します。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれている『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の作成後に見つかった、以下のバグの情報が追記されています。また、既存のバグ情報・注意事項の一部についても、最新の内容に変更されています。

- バグ ID: 4179411
- バグ ID: 4285729
- バグ ID: 4297558
- バグ ID: 4301544
- バグ ID: 4301212, 4299487
- バグ ID: 4301870
- バグ ID: 4302983
- バグ ID: 4303879
- バグ ID: 4304493
- バグ ID: 4303549
- バグ ID: 4306619
- バグ ID: 4306958, 4305075
- バグ ID: 4307314
- バグ ID: 4308864

- バグ ID: 4305501
- バグ ID: 4308667
- バグ ID: 4320088

GUI 全般

Solaris のグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) 全般に関するバグ情報と注意事項について説明します。

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールとフォントに関する注意事項

UTF-8 ロケールでは、複数のフォントを組み合わせることで各コードポイントのグリフを表示させています。このため、1つのコードポイントに対して複数のフォントのグリフが対応する場合があります。ja_JP.UTF-8 では、以下の表に示す優先順位でフォントを使用するように実装されています。

キャラクタセット	フォント
ISO8859-1:GL(ASCII)	JISX0201.1976-0
ISO8859-1:GR	ISO8859-1
ISO8859-5:GR	ISO8859-5
ISO8859-7:GR	ISO8859-7
ISO8859-2:GR	ISO8859-2
ISO8859-4:GR	ISO8859-4
ISO8859-9:GR	ISO8859-9
ISO8859-15:GR	ISO8859-15
JISX0208.1983-0	JISX0208.1983-0
JISX0201.1976-0:GR	JISX0201.1976-0
JISX0212.1990-0:GR	JISX0212.1990-0

キャラクタセット	フォント
KSC5601.1992-3:GLGR	KSC5601.1992-3
GB2312.1980-0:GR	GB2312.1980-0
BIG5-1:GLGR	BIG5-1
TIS620.2533-0:GR	TIS620.2533-0
ISO8859-6:GR	ISO8859-6
ISO8859-8:GR	ISO8859-8

たとえば、U+0410 (Cyrillic Capital Letter A) は、ISO8859-5 と JISX0208.1983 など複数のフォントにグリフが存在しますが、上記のルールによって ISO8859-5 のフォントが実際に使用されます。また、CKJ Unified Ideographs エリアにある漢字で使用されるフォントは、JISX0208.1983 -> JISX0212.1990 -> KSC5601.1992-3 -> GB2312.1980 -> BIG5-1 の優先順位で使用されます。

なお現時点では、UTF-8 のコードポイントと使用するフォントの情報はシステム側でハードコードされており、ユーザーがカスタマイズすることはできません。



注意 - ASCII (Basic Latin) 領域 (U+21 - U+7E) では、ISO8859-1 フォントではなく、JISX0201.1976 フォントが使用されます。これは、ja_JP.UTF-8 ロケールでもっとも使用頻度が高いと思われる ASCII と漢字の組み合わせを表示した場合、フォントのバランスが悪くなるのを避けるためです。ただしこのために、逆斜線 (U+5C) に円記号のグリフが使われるという問題があります。この問題を避けるには、次の設定を行なってください。

/usr/openwin/lib/locale/ja_JP.UTF-8/XLC_LOCALE の以下の次の行

```
#      fs0 class (7 bit ASCII)
fs0    {
        charset      ISO8859-1:GL
        # font        ISO8859-1:GL; JISX0201.1976-0:GL
        font          JISX0201.1976-0:GL; ISO8859-1:GL
    }
```

を以下のように変えてください (5 行目をコメントアウトし、4 行目のコメントを外します)。

```
#      fs0 class (7 bit ASCII)
fs0    {
        charset      ISO8859-1:GL
        font          ISO8859-1:GL; JISX0201.1976-0:GL
        # font        JISX0201.1976-0:GL; ISO8859-1:GL
    }
```

設定が終わったら、Solaris CDE セッションから一度ログアウトし、再度ログインしてください。

[日本語環境のみ] Solaris CDE アプリケーションと ja_JP.UTF-8 ロケールのフォントに関する注意事項

Solaris CDE セッションでは、起動時にアプリケーションが使用するデフォルトフォントのリソースを、通常以下のように設定します。

```
*DtEditor*textFontList: -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*Font:                  -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*FontList:              -dt-interface system-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*FontSet:               -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*XmText*FontList:      -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*XmTextField*FontList: -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*buttonFontList:       -dt-interface system-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*labelFontList:        -dt-interface system-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*systemFont:           -dt-interface system-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*textFontList:         -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
*userFont:             -dt-interface user-medium-r-normal-m*-*-***-***-***-***:
```

ただし、ja_JP.UTF-8 ロケールを含む UTF-8 ロケールでは、端末エミュレータなど、特定の比率をもった固定幅フォントを要求するアプリケーションで表示が崩れるという問題を回避するために、CDE で使用するデフォルトフォントを次のように設定しています。

```
*DtEditor*textFontList: -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*Font:                  -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*FontList:              -dt-interface system-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*FontSet:                -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*XmText*FontList:       -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*XmTextField*FontList: -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*buttonFontList:        -dt-interface system-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*labelFontList:         -dt-interface system-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*systemFont:            -dt-interface system-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*textFontList:          -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
*userFont:               -dt-interface user-medium-r-normal-m*utf-***-***-***-***:
```

デフォルトの設定で Solaris CDE を使用している場合は問題ありませんが、スタイル・マネージャを使用してフォントのサイズを変更した後にロケールを変更した場合、意図しないフォントが使用され、端末エミュレータなどのアプリケーションで表示がおかしくなる場合があります。

このような場合には、スタイル・マネージャのフォントの設定ダイアログでサイズを選択し、「了解」ボタンを押した後に CDE セッションから一度ログアウトし、再度ログインしてください。このような問題は、ja ロケールまたは ja_JP.PCK ロケールから ja_JP.UTF-8 ロケールへ移行した場合、ja_JP.UTF-8 ロケールから ja ロケールまたは ja_JP.PCK ロケールへ移行した場合の双方で起こる可能性があります。

[日本語環境のみ] DPS 上でのユーザー定義文字のアウトラインフォント指定に関する注意事項

DPS 上でのユーザー定義文字のアウトラインフォントを指定するための /usr/openwin/lib/locale/<locale>/OWfontpath へのフォントパスの追加では、存在するディレクトリを指定してください。正しく指定されていない場合は、dtlogin で文字が表示できなくなります。

共通デスクトップ環境 (CDE)

Solaris 共通デスクトップ環境 (CDE) の実行時に発生するバグの情報および注意事項について説明します。

画面ブランク (モニタ省電力機能) のユーザー設定が無視される

dtstyle の「画面スタイル」マネージャでスクリーンセーバ機能を使用する際、画面をブランクにし、省電力モードに切り替わるように設定できましたが、今回のリリースでは、この省電力機能の設定が無視されます。今回のリリースでは、モニターがブランクになり、デフォルトでアイドル時間が 22 分を経過した時点で省電力モードに切り替わります。

回避方法：モニターの省電力機能を使用するには、「電源管理ツール」を使用してください。電源管理ツールは、dtstyle の「画面スタイル・マネージャ」の「電源管理システム...」ボタン、ワークスペースメニュー、アプリケーションマネージャから起動できます。

モニター省電力設定オプションについては、xset (1) のマニュアルページを参照してください。

dtmail はデフォルトで core ファイルを生成しない (バグ ID: 4249157)

デフォルトでは、dtmail は core ファイルを生成しません。

回避方法：dtmail に core ファイルを生成させるには、mailrc 変数 *allowcorefile* を設定してください。core ファイルの生成については、core (4) のマニュアルページを参照してください。

PDA Sync がデスクトップ上の最後のエントリを削除できない (バグ ID: 4260435)

デスクトップから最後のエントリ (たとえば、カレンダーの最後のアポイントメント、アドレス帳の最後のアドレスなど) を削除した後に、PDA デバイスに対して同期処理を実行すると、最後のエントリが PDA デバイスからデスクトップに復元されてしまいます。

PDA Sync アプリケーションから警告が出力され、最後のエントリがデスクトップに復元されます。

回避方法：PDA デバイスから最後のエントリを削除してください。

国際化 (複数バイト文字) 対応の PDA デバイスとのデータ交換を PDA Sync がサポートしていない (バグ ID: 4263814)

国際化 (複数バイト文字) 対応の PDA デバイスと Solaris CDE とで、日本語などの複数バイト文字のデータを交換すると、両方の環境において、交換した複数バイト文字データが壊れる場合があります。

回避方法：PDA Sync を実行する前に必ず、PDA デバイスに付属しているバックアップ機能やバックアップユーティリティを使用して、PC などにデータの完全なバックアップをとってください。間違えてデータ交換をしてしまった場合には、バックアップデータからデータを復旧させてください。

PDA Sync のオンラインヘルプ内での操作が無効になる (バグ ID: 4260411)

PDA Sync のメインウィンドウ以外のウィンドウから、ヘルプボタンを使用してヘルプを起動した場合、表示されたヘルプに対する操作ができないことがあります。

回避方法：PDA Sync のオンラインヘルプは、メインウィンドウから起動したものを使用してください。

Solaris 8 オペレーティング環境で Motif プログラムをコンパイルする時に問題が発生する (バグ ID: 4172061)

Solaris 8 オペレーティング環境で Motif プログラムをコンパイルする時に、Solaris 2.4、2.5、2.5.1、2.6 のいずれかのオペレーティング環境でコンパイルした Motif API を使用している共有ライブラリにリンクすると、コアダンプが発生します。

上記の旧バージョンの Solaris オペレーティング環境でコンパイルされた共有ライブラリは Motif 1.2 を使用しており、Solaris 8 オペレーティング環境でコンパイルされたプログラムは Motif 2.1 を使用しているためです。これはバイナリ互換の問題ではないので、Solaris 2.4、2.5、2.5.1、2.6 オペレーティング環境でコンパイルしたアプリケーションは、Solaris 8 オペレーティング環境において問題なく動作します。

回避方法：Motif ライブラリに直接リンクされている古いバージョンの共有ライブラリがある場合に、Motif ライブラリとその古いバージョンの共有ライブラリの両方にリンクされているプログラムを、Solaris 8 オペレーティング環境でコンパイルするには、次のようなコンパイル行を使用してください。

```
cc foo.c -o foo -DMOTIF12_HEADERS -I/usr/openwin/include -I/usr/dt/include
-lXm12 -lXt -lX11
```

`foo` には、コンパイルするプログラムの名前を指定してください。

フロッピーディスクのフォーマットウィンドウが終了しない (バグID: 4211612)

ファイル・マネージャを使用してフロッピーディスクのフォーマットをする場合、フォーマットウィンドウが繰り返し表示されて、フォーマットができないことがあります。

回避方法：以下のようにして、いったんコマンド行からフロッピーディスクを取り出し、フォーマットウィンドウを終了してください。

```
% eject
```

その後、『*Solaris* のシステム管理 (第 1 巻)』の「コマンド行でのフロッピーディスクのフォーマットと使用方法」を参考にして、コマンド行で `fdformat (1)` を利用してフロッピーディスクをフォーマットしてください。

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケール および ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項

- ボリュームマネージャのメッセージを表示するためのダイアログウィンドウは XView アプリケーションであるので、`ja_JP.PCK` ロケールおよび `ja_JP.UTF-8` ロケールでは英語表示で起動されます。
- `ja` ロケールで登録したカレンダーは、`ja_JP.PCK` ロケール および `ja_JP.UTF-8` ロケールで起動されたカレンダー・マネージャで見ることができません (`ja_JP.PCK` ロケールまたは `ja_JP.UTF-8` ロケールで作成した場合も同様です)。
- `ja_JP.PCK` ロケール または `ja_JP.UTF-8` ロケールでメールファイルを印刷する場合、`$HOME/.dt/types` に次のような内容のファイルを `dtmail.dt` というファイル名で作成してください。

次の例は、Sun が一般的にサポートしている EUC 対応のプリンタを想定して設定しています。

iconv(1) を利用する場合：

iconv でプリンタがサポートする文字集合に合わせて変更してください。指定方法については、iconv(1)、iconv(3) のマニュアルページを参照してください。

例 1：ja_JP.PCK ロケールで印刷する場合

```
ACTION Print
{
    LABEL          Print
    ARG_TYPE       DTMAIL_FILE
    TYPE           COMMAND
    WINDOW_TYPE    NO_STUDIO
    EXEC_STRING    sh -c ' \
                  dtmailpr -p -f %(File)Arg_1% | \
                  iconv -f PCK -t eucJP | \
                  dtlp -u %(File)Arg_1%;'
}
```

例 2：ja_JP.UTF-8 ロケールで印刷する場合

```
ACTION Print
{
    LABEL          Print
    ARG_TYPE       DTMAIL_FILE
    TYPE           COMMAND
    WINDOW_TYPE    NO_STUDIO
    EXEC_STRING    sh -c ' \
                  dtmailpr -p -f %(File)Arg_1% | iconv -f \
                  UTF-8-Java -t eucJP | dtlp -u %(File)Arg_1%;'
}
```

mp(1) を使用する場合：

ja、ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8 ロケール用の dtmail.dt を作成する必要はありませんが、ja_JP.UTF-8 の場合にフォントが Bitmap から作成され印刷の質が劣るといった問題と、バナー情報の日本語が正しく表示されないという問題があります。

```
ACTION Print
{
    LABEL          Print
    ARG_TYPE       DTMAIL_FILE
    TYPE           COMMAND
    WINDOW_TYPE    NO_STDIO
    EXEC_STRING    sh -c ' \
                  dtmailpr -p -f %(File)Arg_1% | mp \
                  | dtlp -u %(File)Arg_1%;'
}
```

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールでは、カレンダー (dtcm) から印刷できない (バグ ID: 4092495)

ja_JP.UTF-8 ロケールでは、カレンダー (dtcm) からの印刷はできません。

[日本語環境のみ] メールプログラムで、日本語をキーワードとして検索できない (バグ ID: 1263296)

メールプログラムで検索を行う際、検索フィールドに日本語が含まれていると、検索が正しく行われません。

メールファイルに該当する文字列が存在する場合でも、「一致するものではありません」と表示されます。

[日本語環境のみ] 移動メニューの設定で追加したメールボックス名が文字化けする (バグ ID: 4066565)

Solaris CDE 1.2 より前のメールプログラムで、オプションメニューの「移動メニューの設定」で登録したメールボックス名に日本語文字列が含まれている場合、Solaris CDE 1.2 以降のメールプログラムではそれらのメールボックス名が文字化けすることがあります。

回避方法： Solaris CDE 1.2 あるいは Solaris CDE 1.3 のメールプログラムで、再度登録してください。

[日本語環境のみ] メールプログラムのツールバーボタンに不要なニーモニックが表示される (バグ ID: 4064006)

メールプログラムのツールバーボタンをテキスト表示に設定している場合、ニーモニックが表示されていますが、キーボード上でこれらのツールバーを操作することはできません。

[日本語環境のみ] 日本語名のファイルが添付されたメールを転送する際、ファイル名がデコードされないで表示される (バグ ID: 4305194)

日本語ファイル名を持つファイルが添付されたメールを受け取った場合、このメールを転送しようとする、添付ファイルのファイル名がデコードされないで表示されることがあります。転送する前にデコードされずに表示されていても、転送先ではデコードされた状態で表示されるので、そのままそのメールを転送しても問題はありせん。

[日本語環境のみ] サブジェクトが日本語のメールに対して不在返信通知をする場合、不在返信メッセージ内のサブジェクトの部分が文字化けする (バグ ID: 4294887)

「不在返信」を設定した場合、日本語サブジェクトのついたメールなど、MIME エンコーディングされたメールに対して、不在返信メッセージのサブジェクトの部分が文字化けします。

回避方法：不在返信メッセージ内に「\$SUBJECT」を使わないでください。

[日本語環境のみ] ワークスペース・メニューに無効なエントリがある (バグ ID: 4302027)

Intel 版 Solaris のワークスペース・メニューに、以下の無効なエントリがあります。

- 「ツール」メニュー → 「スマートカード」
- 「システム保存停止」

この2つのエントリは Intel 版 Solaris ではサポートされていない機能なので、使用できません。

[日本語環境のみ] マウスの右クリックによって、フロントパネルがアイコン化されてしまう (バグ ID: 4305195)

マウスの右クリックをすると、フロントパネルがすぐにアイコン化してしまうことがあります。

回避方法：以下の操作を行なってください。

■ システムからこのバグを取り除く場合

1. スーパーユーザーになって以下のコマンドを実行します。

```
# mkdir -p /etc/dt/config/<locale>
# cp /usr/dt/config/<locale>/sys.dtwmrc /etc/dt/config/<locale>/
```

2. コピーしたファイルを編集します。以下の行の先頭に # を付けるか、または以下の行を削除して、このエントリを無効にします。

```
<Btn2Click> root f.toggle_frontpanel
```

■ 一般ユーザーがこのバグを取り除く場合

1. 以下のコマンドを実行します。

```
# mkdir $HOME/.dt/<locale>
# cp /usr/dt/config/<locale>/sys.dtwmrc $HOME/.dt/<locale>/dtwmrc
```

2. コピーしたファイルを編集します。以下の行の先頭に # を付けるか、または削除して、このエントリを無効にします。

```
<Btn2Click> root f.toggle_frontpanel
```

OpenWindows

OpenWindows 実行時に発生するバグの情報および注意事項について説明します。

OpenWindows のアプリケーション起動時の注意事項

OpenWindows のアプリケーションを起動すると、「将来のバージョンでは OpenWindows 環境はサポートされなくなります。」という内容のメッセージウィンドウが表示されます。このメッセージの表示を制限するには、メッセージウィンドウ中の説明に従ってください。

アイコン・エディタが強制的に終了することがある (バグ ID: 4298474)

アイコン・エディタでメニューの編集からカットおよびペーストを選択、実行すると、アイコン・エディタが強制的に終了することがあります。

回避方法：CDE のアイコン・エディタ、`/usr/dt/bin/dticon` を使用してください。

アーカイブライブラリ

XView および OLIT のアーカイブライブラリは、C ロケールでだけサポートされています。

[日本語環境のみ] 日本語 OpenWindows の起動とロケールの制限事項

日本語 OpenWindows 環境にログインするには、初めにログイン画面の言語選択項目から `ja/japanese` を選択してください。言語として `ja/japanese` 以外が選択された場合は、セッション項目に OpenWindows の項目は表示されません。一方、初めにセッション項目で OpenWindows を選択してから `ja/japanese` 以外の項目を選択した場合には、CDE 環境へのログイン画面が表示されます。

ワークスペースプロパティで英語環境を日本語環境に切り替える方法は、サポートされていません。また、コマンド行ログインから `ja` ロケールで起動する場合には、環境変数 `LANG` が `ja` に設定されている必要があります。

[日本語環境のみ]

ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8、ja_JP.eucJP ロケールに関する注意事項

XView、OLIT は CSI (Code Set Independent) 対応していないため、それらのツールキットを使って作成したアプリケーションの、ja_JP.PCK および ja_JP.UTF-8 ロケールでの動作は保証されません。また、リソースの設定に関する制限事項のために、ja_JP.eucJP ロケールでの動作も保証されません。したがって、日本語 OpenWindows 環境を ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8、ja_JP.eucJP ロケールで起動することもサポートされていません。また、将来においてもサポートの予定はありません。

動作は保証されませんが、ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8、または ja_JP.eucJP ロケールで起動した Solaris CDE 環境上で、XView、OLIT を使ったアプリケーションを ja ロケールとして起動することができます。

例として、コマンドツールの起動方法を説明します。端末エミュレータ上で、次のように入力してください。

起動方法：

```
% env LANG=ja /usr/openwin/bin/cmdtool -lc_basiclocale ja \  
-lc_displaylang ja -lc_inputlang ja -lc_timeformat ja -lc_numeric ja
```

また、-lc_* オプションを使えないアプリケーションでは、-xrm オプションを使って OpenWindows.basicLocale などのリソースを ja に指定する方法もあります。詳しくは xvview(7) のマニュアルページを参照してください。

注 - アプリケーションによっては正しく動作しない場合もあります。この方法は ja_JP.PCK または ja_JP.UTF-8 ロケール環境で、ja ロケールとしてアプリケーションを動作させるので、ja ロケールと ja_JP.PCK または ja_JP.UTF-8 ロケール間の日本語データには互換性がないことを十分に認識した上で処理してください。たとえば、ja_JP.PCK ロケール上で作成した日本語のデータファイルを ja ロケールで起動したアプリケーションで処理しないように注意してください。また、日本語のファイル名も、異なるロケール間では正しく処理できません。

[日本語環境のみ] 日本語 OpenWindows 初期画面のヘルプビューア

日本語 OpenWindows の初期画面ではヘルプビューアは起動されません。ヘルプビューアで『ヘルプハンドブック』を参照する場合には、ワークスペースメニューから「ヘルプ...」を選択してください。

[日本語環境のみ] pageview に関する注意事項

複雑なグラフィックを含むドキュメントや、サイズの大きなファイルを pageview で表示しようとする、通常のファイルを表示するよりも時間がかかるため、時間切れによって表示できない場合があります。この場合、引数 `-timeout` を 180 に設定して pageview を実行し直すか、イメージツールを使用してください。

[日本語環境のみ] mp コマンドで印刷する場合の制限事項

`mp(1)` ではユーザー定義文字、JIS X 0212、IBM 選定ユーザー定義文字、JIS13 区の NEC 特殊文字などの印刷はサポートされていません。これらの文字を印刷する場合は `jpostprint(1)` を使用してください。

[日本語環境のみ] EUC コードセット 3 の使用上の制限事項

EUC コードセット 3 (JIS X 0212) には、以下のような制限事項があります。

- 書体は平成明朝体 W3 のみです。
- 日本語 OpenWindows DeskSet™、あるいは `jtops(1)`、`mp(1)` を使用して、EUC コードセット 3 の文字を印刷できません。
- EUC コードセット 3 の文字をメールツールで送信できません。

[日本語環境のみ] minm12、minm14、k14 ではボールドフォントを正しく表示できない (バグ ID: 1173970, 1176300)

XView で書かれたアプリケーションに `-font` オプションで minm12 または minm14 フォントを指定した場合、パネル上のラベルなどで使用されるボールド

フォントが正しく表示されません。また、k14 フォントを指定した場合には、それらのラベルは表示されなくなります。

回避方法： minm12 の代わりに gotm12 を、k14 フォントと minm14 フォントの代わりに gotm14 フォントをそれぞれ使用してください。

[日本語環境のみ] 日本語ビットマップフォント

日本語 OpenWindows で提供される日本語ビットマップフォントのうち、通常使用する大きさ (14 ポイント、12 ポイント) 以外のフォントは、ディスク容量の節約のために圧縮されています。圧縮されたフォントを使用すると、パフォーマンスが 20 % から 30 % 低下します。ディスクに余裕がある場合は、uncompress (1) を使用してフォントを元の状態に復元してください。次の手順で、圧縮されているフォントを復元できます。

```
% su
Password:<パスワード>
# cd /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/75dpi
# /usr/bin/uncompress *.Z
# /usr/openwin/bin/mkfontdir
# exit
% /usr/openwin/bin/xset fp rehash
```

[日本語環境のみ] XView ツールキットの制限事項

プリエディットスタイルが overTheSpot に設定されている場合、XView ツールキットのパネルサブウィンドウと tty サブウィンドウから、プリエディットテキストの自動確定を使用できません。

[日本語環境のみ] XView ツールキットで Meta キー、左側ファンクションキーが動作しない (バグ ID: 1118887, 1148490)

XView ツールキットでは、かな入力が可能な状態で、Meta-C、Meta-V、Meta-X などの Meta キーを使用する操作や、Copy(L6)、Paste(L8)、Cut(L10) などの左側ファンクションキーを利用した操作はできません。

回避方法：「ローマ字/かな」キーを押して、「ローマ字入力モード」にしてください。

[日本語環境のみ] OLIT ツールキットの制限事項

- OLIT ツールキットは、フォントセット定義ファイル `OpenWindows.fs` (`/usr/openwin/lib/locale/ja/OW_FONT_SETS/OpenWindows.fs`) をサポートしません。
- プリエディットスタイルが `overTheSpot` または `rootWindow` に設定されている場合、プリエディットテキストの自動確定が使用できません。

[日本語環境のみ] OLIT ツールキットで Meta キーが動作しない (バグ ID: 1170802)

OLIT ツールキットでは、かな漢字変換機能が動作中で、かな入力が可能な状態では、Meta-C、Meta-V、Meta-X などの Meta キーを使用する操作はできません。

回避方法：「ローマ字/かな」キーを押して、「ローマ字入力モード」にしてください。

[日本語環境のみ] ワークスペースのプロパティウィンドウ

- 「フォント」カテゴリで「標準」を選択していると、フォントタイプとして「Gothic Medium Bbb-Sans (Morisawa)」だけが表示されます。複数のフォントタイプを表示するには「ユーザー選択」を使用してください。
- フォントタイプを変更した場合、日本語ロケールでは OLIT アプリケーションに適用されません。

[日本語環境のみ] ファイルマネージャの制限事項

ファイルマネージャのコメントウィンドウは、日本国内では使用できません。このウィンドウを使用してメールを発信した場合のネットワーク上の弊害については保証しません。

[日本語環境のみ] メールツールの制限事項

- メールツールは、ISO 2022 (7 単位) の変換だけを行います。`.mailrc` ファイル内に `encoding` 変数を設定しても、メールツールの動作には影響しません。ISO

2022 (7 単位) 以外のエンコーディングを使用してメールを送信する場合は、`/usr/SUNWale/bin/mailx` を使用してください。

- 添付ファイル付きの日本語を含むメールを送信する場合、メールツールはそのメールの日本語 EUC を ISO2022 に変換しません。

[日本語環境のみ] dtmail から送られた日本語テキストのAttachmentsを表示できない (バグ ID: 4071688)

dtmail から通常の形式 (Internet MIME 形式) で送られたメールに日本語文字列を含むAttachmentsが添付されている場合、そのAttachmentsをメールツール上で表示できません。

回避方法：次のいずれかの手順を行なってください。

- 送信者に Sun Mail Tool 形式で再度メールを送信してもらってください。
- Attachmentsをファイルに保存し、`jistoeuc(1)` または `iconv(1)` コマンドを使用してコード変換を行なってください。

`jistoeuc(1)` コマンドを使用する場合：

```
% /usr/bin/jistoeuc <保存したファイル名>
```

`iconv(1)` コマンドを使用する場合：

```
% /usr/bin/iconv -f ISO-2022-JP -t eucJP <保存したファイル名>
```

[日本語環境のみ] MIME 形式の日本語メールを印刷できない (バグ ID: 1193169)

メールツールは MIME 形式の日本語メールを受信し、表示できますが、表示する際に日本語 EUC に変換しているため、表示以外の操作ではこの EUC 変換は行われません。メールツールからの印刷、ヘッダーウィンドウからのコピー、ペーストなどを行うと、日本語が正しく処理されません。

回避方法：メールツールのヘッダーウィンドウから印刷ツールにドラッグ&ドロップを行うか、メールツールのプロパティで「メッセージウィンドウ」を選択し、印刷スクリプトの項目に次のように記述してください。

```
jistoeuc | lp -s
```

[日本語環境のみ] 「変更内容を保存」を行うと MIME 形式の日本語メールが文字化けする (バグ ID: 1216748)

MIME で送られたメッセージを表示ウィンドウ上で編集した後、「変更内容を保存」を行うと、メッセージが文字化けしてしまいます。

回避方法：メッセージウィンドウでは MIME 形式のメッセージを編集しないでください。編集してしまった場合には、確認ウィンドウで「変更内容を保存」を選択せずに「変更内容を破棄」を選択してください。

システム管理

Solaris システムのシステム管理作業を実行時に発生するバグの情報および注意事項について説明します。

wbemadmin、wbemlogviewer でのログインの際にエラーメッセージが出てログインできないことがある (バグ ID: 4298490)

wbemadmin および wbemlogviewer へログインする際に、以下のようなエラーメッセージが表示されてログインできないことがあります。

```
CIM Object Manager が見つかりません。
```

回避方法：スーパーユーザーになって以下の操作を行い、しばらくしてから再びログインを試みてください。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop  
# /etc/init.d/init.wbem start
```

WBEM でインスタンスを追加しようとするときエラー Exception: PS_UNAVAILABLE: 1 (out of memory) が発生する (バグ ID: 4284874)

次に示すエラーメッセージは、JavaSpaces™ 1.0 がキャッシュメモリーを使い尽くしたことを示しています。

```
Exception: PS_UNAVAILABLE: 1
```

このため、CIMOM (Common Information Model Object Manager) のリポジトリにエントリを追加できなくなります。

回避方法： CIM クラスおよび CIM インスタンスの追加を続けるには、次の手順を実行してください。

1. CIM Object Manager を停止します。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
```

2. safe モードで CIM Object Manager を再起動します。

```
# /usr/sadm/lib/wbem/wbemconfig safe
```

メモリーヒープが増やされて、CIM Object Manager が再起動します。

Solaris_FileSystem インスタンスが要求された時に **CIMOM (Common Information Model Object Manager)** がクラッシュする (バグ ID: 4301275)

CIM WorkShop または WBEM API を使用して Solaris_FileSystem クラスのインスタンスを列挙すると、CIMOM が動作しなくなり、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
Attempted to complete RMI action
enumInstances and received exception
java.rmi.UnmarshalException: Error
unmarshaling return header; nested
exception is:
java.io.EOFException
```

回避方法：スーパーユーザーになって次のコマンドを実行して、CIMOM を再起動してください。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
# /etc/init.d/init.wbem start
```

CD (ボリューム管理あり) を選択しても、ソフトウェア情報を認識できない (バグ ID: 4032417)

admintool のソフトウェア機能で、媒体に「CD (ボリューム管理あり)」を選択して「了解」ボタンを押しても、CD パスが正しくないためにソフトウェア情報を認識できません。

回避方法：「CD のパス」のテキストフィールドで /cdrom/cdrom0/s0 を /cdrom/cdrom0/s2 に変更して、再び「了解」ボタンを押してください。

[日本語環境のみ] admintool で日本語を含むホームディレクトリを持つユーザーを登録できない (バグ ID: 1223141)

admintool 上では、日本語のホームディレクトリ名を登録できません。

回避方法：useradd(1M) コマンドを使用してください。

ソフトウェアパッケージを追加するときに、ディレクトリパスの指定時に admintool がコアダンプすることがある

admintool を使って Solaris ソフトウェアパッケージを追加する場合、「ソース媒体の設定」の「ハードディスク」には、Solaris イメージのトップディレクトリ (Solaris_8/ があるディレクトリ) を指定してください。それ以外のディレクトリを指定すると admintool がコアダンプすることがあります。

[日本語環境のみ] admintool でソフトウェアの追加・削除を行う時に起動されるウィンドウで、日本語文字が表示されない (バグ ID: 1224697)

admintool を使ってソフトウェアパッケージの追加・削除を行う場合、入力を促すメッセージおよびログを表示するためのコマンドツールが起動されますが、ja_JP.PCK および ja_JP.UTF-8 ロケールでは日本語のメッセージが表示されません。

回避方法：この状態でもパッケージの追加・削除は可能ですが、表示されるメッセージを見るためには、ja ロケールまたは c ロケールで Solaris CDE 環境にログインし直して、admintool を起動してください。

admintool でソフトウェア情報が更新されない (バグ ID: 4024598)

admintool を使ってソフトウェアパッケージの削除を行なった場合、削除が成功したにもかかわらず、admintool 上のソフトウェアパッケージのリストが直ちに更新されません。

回避方法：admintool を起動し直してください。

ソフトウェアパッケージを追加する場合、CD の読み込み中に admintool がコアダンプすることがある (バグ ID: 4104895, 4304720)

admintool を使って Solaris ソフトウェアパッケージを追加する場合、「ソース媒体の設定」の「CD (ボリューム管理あり)」または「CD (ボリューム管理なし)」を使用すると CD の読み込み中に admintool がコアダンプすることがあります。

回避方法：pkdadd コマンドを使用してパッケージを追加してください。または、CD に Solaris Web Start 2.x が含まれている場合は、Solaris Web Start 2.x (installer) を使用してパッケージをインストールしてください。

オペレーティングシステム・ネットワーク

Solaris オペレーティングシステム、ネットワーク、ファイルシステムに関するバグの情報および注意事項について説明します。

ufsdump(1M) から **xtrmap: too many map entries** というエラーメッセージが表示される (バグ ID: 4297558)

ufsdump(1M) コマンドを使用してシステムのバックアップをとった場合、ufsrestore(1M) コマンドを使用してシステムを復元する時にファイルを読み取ることができない場合があります。

回避方法：パッチ 109092-01 を適用してください。

[日本語環境のみ] ja_JP.eucJP ロケールに関する注意事項

Solaris 以外のオペレーティングシステムとの互換性の向上を図るため、Solaris 8 より、ISO のロケール命名規則に準拠したコードセット名を含んだ ja_JP.eucJP が、日本語 EUC ロケールとして新しく追加されました。Solaris 8 では、ja_JP.eucJP ロケールは ja ロケールと同等のロケールとして定義されていますが、将来のリリースで定義内容が変更される可能性があります。日本語 EUC ロケールとしては、従来からサポートされている ja ロケールを使用することをお勧めします。

ja_JP.eucJP ロケールでは、次の機能のサポートが提供されません。

- libjapanese.a
- SunOS 4.x バイナリ互換パッケージ (BCP)

注 - libjapanese.a と BCP は将来のリリースでもサポートの予定はありません。

- SUNWale パッケージの mailx、talk などを使用するアジア各国対象のコマンド
- PCFS での PC 漢字コード (以降 PCK と記述します) ファイル名

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケールと ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項

ja_JP.PCK ロケールと ja_JP.UTF-8 ロケールでは、次の機能がサポートされていません。

- libjapanese.a
- SunOS 4.x バイナリ互換パッケージ (BCP)

注 - libjapanese.a と BCP は、将来のリリースでもサポートの予定はありません。

- SUNWale パッケージの mailx、talk などを使用するアジア各国対象のコマンド
- PCFS での PC 漢字コード (以降 PCK とする) ファイル名

注 - PCFS での PCK ファイル名は ja ロケールでもサポートされていません。

- C コンパイラ、cpp、UIL コンパイラなどで使用する文字、文字列、リテラル
- また、次の機能が ja_JP.UTF-8 ロケールでサポートされていません。

- kanji コマンド

/usr/xpg4/bin と /usr/bin の両方に存在するコマンドは、ja_JP.PCK ロケールおよび ja_JP.UTF-8 ロケールでは /usr/bin のコマンドがサポートされません。したがって、/usr/bin よりも前に /usr/xpg4/bin のパスを加えてください。

ja_JP.PCK ロケールでは PCK を直接扱うことができますが、DOS のテキストファイルと UNIX のテキストファイルの違いは残ります。たとえば、DOS からテキストファイルを PCFS でマウントして持ってくる場合は dos2unix -ascii、DOS へ持っていく場合は unix2dos -ascii がそれぞれ必要になります。詳細は、pcfs(7)、dos2unix(1)、unix2dos(1) の各マニュアルページを参照してください。

[日本語環境のみ] 日本語環境の設定

日本語環境を正しく動作させるためには、環境変数 LANG が ja (日本語 EUC)、ja_JP.PCK (PC 漢字コード、シフト JIS コード)、または ja_JP.UTF-8 (UTF-8) に設定されている必要があります。また、端末ドライバに日本語文字を正しく透過さ

せ、日本語文字幅に応じた処理が正しく行われるようにするためには、端末が認識する文字コードに従って `setterm` で設定する必要があります。

これらの設定を C シェルのコマンド行で行う場合は、次のように入力してください。

■ ja ロケールで使用する場合

```
% setenv LANG ja
% setterm -x JapanEUC
```

■ ja_JP.PCK ロケールで使用する場合

```
% setenv LANG ja_JP.PCK
% setterm -x PCK
```

■ ja_JP.UTF-8 ロケールで使用する場合

```
% setenv LANG ja_JP.UTF-8
% setterm -x UTF-8
```

システムインストール時にシステムのデフォルトロケールを日本語に指定したシステムでは、デフォルトで `LANG` が `ja`、`ja_JP.PCK`、または `ja_JP.UTF-8` に設定されています。このため、環境変数 `LANG` の設定は不要になります。

デフォルトロケールを変更したい場合は、`/usr/default/init` ファイル中の `LANG` 環境変数を変更して、システムを再起動してください。詳細は『*JFP ユーザーズガイド*』を参照してください。

[日本語環境のみ] 日本語 Solaris 1.x の 4.x バイナリ互換パッケージ (BCP) に関する注意事項

日本語 Solaris 1.x をサポートするために提供された BCP 用のライブラリは、`/usr/4lib/locale/ja` の下に移動されました。このため、BCP アプリケーションを実行するには、以下のように設定してから実行する必要があります。

```
% cd /usr/4lib
% ln -s locale/ja/* .
```

なお、システムロケールとして日本語ロケールを選択した場合は、この設定が自動的に実行されます。

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールデータベースに関する注意事項

日本語 UTF-8 ロケールは、日本語の文字情報は「UI-OSF 日本語環境実装規約 Version 1.1」を、日本語以外の文字情報は Unicode Consortium の UNICODE 3.0 CHARACTER DATABASE をもとに作成されています。日本語の文字情報は、UI-OSF の実装規約をもとにしているため、他の UNIX ベンダーとの互換性は向上しますが、その反面 ja ロケールおよび ja_JP.PCK ロケールとの相違点も生じます。以下に、日本語文字処理に影響する相違点を説明します。

■ LC_CTYPE

次の日本語ロケール専用文字クラスが追加されています。

ascii	paren	jisx0201
gaiji	jhankana	jspace

次の日本語ロケール専用文字クラスはありません。

jalpha	jspecial	jkreek
jruussian	junit	jsci
jgen	jpunct	

ja ロケールおよび ja_JP.PCK ロケールでも使用するアプリケーションでは、これらの文字クラスは使用しないようにしてください。

■ LC_COLLATE

JIS X 0208 の方が JIS X 0212 より先になります。日本語以外の文字は日本語の後にコード順で並びます。

■ LC_TIME

以下の日付および時刻の表示形式が変わります。()内は `strftime(3C)` および `date(1)` で有効な書式です。

- `abday (%a)`
日 と ()が入らない。
- `mon (%B)`
1月 と 1 の前に `<space>` が入らない。
- `d_t_fmt (%c)`
`%Y年%m月%d日 %H時%M分%S秒` と `abday (%a)` が入らない。
- `era_d_t_fmt (%Ec)`
`%EY年%m月%d日 %H時%M分%S秒` と `abday (%a)` が入らない。
- `alt_digit (%Od` などのロケール固有の代替数値記号を使うもの)
代替数値記号は使用しない。

[日本語環境のみ] libjapanese に関する注意事項

`libjapanese` とそれに関連したヘッダーファイルは、Solaris 7 から、「全体ディストリビューション」ソフトウェアグループでのみインストールされる `SUNWjlibj` というパッケージに移動しました。この中には、`libjapanese` ソース互換パッケージも含まれていますので、既存の `libjapanese` ユーザーはこれを用いて移行を進めてください。将来のリリースでは `libjapanese.a` およびこれに関連したヘッダーファイルは削除される予定です。`libjapanese` ソース互換パッケージの使用法については、`/usr/share/src/libjapanese/README` を参照してください。

[日本語環境のみ] `jisconv(3x)` インタフェースの制限事項

`jisconv` インタフェースには、次の制限事項があります。

- `jisconv(3X)` で提供される 1 文字変換用のプログラミングインタフェース (関数名が `c` で始まるもの) は範囲チェックを行いません。
- 日本語 EUC との変換を行うプログラミングインタフェースでは、JIS X 0212-1990 (補助漢字) をサポートしていません。

- PCK との変換を行うプログラミングインタフェースでは、『TOG 日本ベンダ協議会推奨 日本語 EUC・シフト JIS 間コード変換仕様』に基づく変換をサポートしていません。
- 7ビット JIS との変換を行うプログラミングインタフェースは、更新番号を含むエスケープシーケンスに対応していません。

これらの機能を利用する場合は、`iconv(3)` プログラミングインタフェースを使用してください。

[日本語環境のみ] ワイド文字 (`wchar_t`) の制限

ワイド文字の内部表現に依存した処理を行うことは避けてください。ja ロケールでは、従来の内部表現が維持されています。

[日本語環境のみ] ネットワーク上の混在環境における日本語テキストの注意事項

ネットワークを通して日本語 EUC、PCK または UTF-8 間の文字変換を行う機能はありません (メールを除く)。そのため、明示的にユーザー側で変換できない限り、日本語 EUC、PCK、UTF-8 テキストの混在環境では、サーバー・クライアント型のアプリケーションなどは正しく動作しません。

[日本語環境のみ] 日本語ファイル名の印刷に関する注意事項

ファイル名が日本語の場合、`lp` の引数のファイル名としては、プリンタサーバーのシステムロケールのコードセットのみ使用可能です。たとえば、プリンタサーバーの `/etc/default/init` の `LANG` の設定値が、`LANG=ja` となっている場合は、日本語 EUC のファイル名は正しく印刷できますが、それ以外は印刷できません。この場合は、

```
% cat <日本語.txt> | lp -y PCK
```

などを実行し (ファイルの中身も PCK の場合)、`lp` に直接日本語ファイル名を渡さないようにすることによって回避してください。なお、ファイルの中身のコードセットに関しては、`-y` オプションを指定してプリンタサーバーのサポートするコードセットに変換することが可能です。

[日本語環境のみ] jpostprint におけるコードポイント 0x21 - 0x7e 部分のフォントに関する注意事項

デフォルトでは、ASCII フォントである Courier が使用されます。JIS X 0201 ローマ文字用図形キャラクタ集合に切り替えたいときは、以下のように `-f` オプションで指定してください。

Ryumin-Light:

```
% jpostprint -f Ryumin-Light.Hankaku
```

GothicBBB-Medium:

```
% jpostprint -f GothicBBB-Medium.Hankaku+GothicBBB-Medium
```

[日本語環境のみ] マニュアルページ、および **nroff**、**troff** 形式の出力を `/usr/xpg4/bin/more` でうまく表示できない (バグ ID: 1225024)

マニュアルページや、**nroff**、**troff** などで清書された日本語ファイルを `/usr/xpg4/bin/more` で表示させると、一部の文字が欠けるなど、きれいに表示されないことがあります。

回避方法： `ja` (japanese) ロケールの場合は `/usr/bin/more` を、`ja_JP.PCK` ロケールおよび `ja_JP.UTF-8` ロケールの場合は `/usr/bin/pg` を環境変数 `PAGER` として明示的に指定して、表示させてください。

Solaris 外字ツール (sdtudctool)

Solaris 外字ツール (sdtudctool) の実行時に発生するバグの情報および注意事項について説明します。

[日本語環境のみ] sdtudctool の制限事項と注意事項

- ユーザー定義文字を利用した文章などを電子メールで送信する場合、受信側にも同様なユーザー定義文字環境がないと、表示されなかったり、文字化けを起こしたり、別の文字として表示されたりする問題が発生します。

送信の際には、このことを考慮して送信する必要があります。外部の宛先に電子メールを送信する場合は、ユーザー定義文字の使用を避けてください。

- ユーザー定義文字の編集では、複数のフォントファイルが変更されます。このため、作成したユーザー定義文字フォントファイルを直接読み込んで編集すると、各フォント間の整合性が取れなくなります。
- 四角形・多角形・円は、内部を塗りつぶして作成されます。白抜きの文字を作成する場合は、以下の例を参考にしてください。

例: 白丸を作成する

アウトラインモードの場合

1. 大きな円を描画します。
2. 内部に少し小さな円を描画します。
3. 範囲指定モードになり、内部の円を指定します。
4. 編集メニューから反転を選択します。

ビットマップモードの場合

1. 大きな円を描画します。
2. 消しゴムを使用して白抜きにしたい部分を消します。あるいは、範囲指定モードで白抜きにしたい部分を指定し、編集メニューから削除を選択します。

- ユーザー定義文字を Type1 形式で保存するフォントファイルにはヒント情報が登録されません。このため解像度の低いデバイス (ディスプレイなど) 上での表示や、印刷時のサイズによって、以下の問題が発生します。これは、アウトラインをビットマップにマップする時に発生する丸めの影響です。
 - 離れている点が同じ点として表示・印刷されることがあります。
 - 一部が表示・印刷されないことがあります。

回避方法：アウトラインモードで描画位置を離して描画するか、ビットマップモードで編集してください。

注・ビットマップモードで編集すると、アウトラインはビットマップから取り出されます。このためアウトラインの幅が太くなります。

- ビットマップモードで編集する場合のサイズ変更は、一覧表の表示メニューから指定できます。また、生成するアウトラインは、編集したビットマップを元にアウトラインを生成します。
- ビットマップモードで移動またはコピーを行うと、指定した領域の前景(黒い部分)だけでなく、背景(白い部分)も移動またはコピーします。
- リソース `utUDCBDFSize` でビットマップフォントのサイズを指定する場合は、12、14、16、20、24 の中から指定してください。また、サイズ 14 はデフォルト値なので、必ずこれを含めるようにしてください。

例:

```
*utUDCBDFSize: 12,14,20
```

- リソース `utUDCBDFSize` の設定内容は、オプションダイアログ上の「アウトラインから生成されるビットマップサイズ」の設定内容より優先されます。オプションダイアログ上で、オンになっているサイズのチェックボックスをオフにすることによって、生成されるビットマップサイズの種類を減らすことはできますが、オフになっているサイズのチェックボックスをオンにしても、そのサイズのビットマップファイルは生成されません。
- 一般の `Type1` フォントの編集はサポートしていません。
- BDF/PCF フォントを読み込んだ場合、一覧表の印刷はサポートしていません。
- キャンバス上の次ボタンや前ボタンでは、ページを越えることはできません。
回避方法：一覧表上でページをめくり、登録したいコードポイントをカーソルで指定してください。
- ユーザー定義文字を登録する場合のアウトラインモードでの編集で、キャンバスの有効範囲を越えて文字を描画できてしまいますが、キャンバスの有効範囲内に描画するようにしてください。
- フォントファイルを読み込んだ場合、UTF-8 でのコードポイントの表示はサポートしていません。

[日本語環境のみ] ビットマップからアウトラインが正しく生成できない場合がある (バグ ID: 4007396)

回避方法：一覧表の表示サイズを変更可能な場合は、最大のサイズを利用してください。

[日本語環境のみ] アウトラインモードの編集で参照画面からコピーなどを行うと、ビットマップイメージが太くなる (バグ ID: 4176763)

回避方法：参照表上で、コピーしたいグリフを選択し、マウス・ボタン 3 (2 ボタンマウスの場合は、マウス・ボタン 2) を使って、グリフを編集キャンバス上にドラッグ&ドロップしてください。

[日本語環境のみ] sdtudctool の起動時にエラーメッセージが表示される (バグ ID: 4217154)

端末エミュレータなどから sdtudctool を起動すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
%%[ Error: typecheck; OffendingCommand: setXgcdrawablecolor ]%%
```

回避方法：エラーメッセージは表示されますが、アプリケーションを使用する上で問題はありませぬので、そのままお使いください。

[日本語環境のみ] ボタンを初期化できない場合、起動に失敗する (バグ ID: 4273154)

先に Netscape Communicator を起動している状態で、sdtudctool を起動しようとすると、次のようなエラーメッセージが表示されて、起動に失敗することがあります。

```
ボタンを初期化できません。
X Error of failed request: BadDrawable (invalid Pixmap or Window parameter)
Major opcode of failed request: 14 (X_GetGeometry)
Resource id in failed request: 0x0
Serial number of failed request: 510
Current serial number in output stream: 510
```

回避方法：いったん Netscape Communicator を終了した後に、sdtudctool を起動してください。

「ファイル」メニューの「保存」がグレー表示されているために、ユーザー定義文字をファイルに保存できない場合がある (バグ ID: 4307286)

次に示す手順を実行すると、「ファイル」メニューの「保存」がグレー表示 (選択不可の状態) になっているため、描画したグリフをファイルに保存できません。

1. 任意のコードポイントで描画する。
2. 「保存」をクリックせずに、一覧表で他のコードポイントを選択する。
「このコードポイントは編集中です。変更する前に保存しますか?」というダイアログが表示されます。
3. 「はい」を選択する。

回避方法：手順3では「いいえ」を選択し、次に、キャンパスの下の「保存」をクリックしてから、一覧表上で他のコードポイントを選択してください。

【日本語環境のみ】ja_JP.UTF-8 ロケールで solregis を起動している時に sdtudctool を使用してユーザー定義文字を保存しようとする、sdtudctool がコアダンプする (バグ ID: 4107762)

ja_JP.UTF-8 ロケールで solregis を起動すると、solregis 用のフォントディレクトリがフォントパスに追加されるため、フォントパスの長さが 2048 バイトを超えることがあります。その場合、sdtudctool を使用してユーザー定義文字を保存しようとする、xset のバグによって sdtudctool がコアダンプします。

回避方法：環境変数 XSUNBUFFERSIZE の値を 3 に設定して、sdtudctool を使用してください。

例：csh を使用している場合

```
% setenv XSUNBUFFERSIZE 3
```

【日本語環境のみ】ja_JP.eucJP ロケールで、ユーザー定義文字を辞書に登録できない (バグID: 4309914)

ja_JP.eucJP ロケールで、ユーザー定義文字を辞書に登録できません。

回避方法：リソースファイル `sdtudc_register` を、次のように変更してください。

[変更前]

```
*utRegistTextsLocale: ja,japanese,ja_JP.PCK,ja_JP.UTF-8
*utRegistTextsEncode: eucJP,eucJP,PCK,UTF-8
```

[変更後]

```
*utRegistTextsLocale: ja,japanese,ja_JP.PCK,ja_JP.UTF-8,ja_JP.eucJP
*utRegistTextsEncode: eucJP,eucJP,PCK,UTF-8,eucJP
```

`sdtudc_extract` にて **Windows** 外字フォントファイルからユーザー定義文字を取り出す場合、空き領域部分にもユーザー定義文字を取り出してしまう (**バグ ID: 4320088**)

この現象は、ユーザー定義文字を登録している領域に空き領域 (未登録領域) がある場合に発生します。この場合、空き領域が空き領域に続くユーザー定義文字で埋められてしまいます。

回避方法：Windows の外字ツールで、空き領域の最後に空白を登録してください。

[日本語環境のみ] フォント管理を使用して CID/Type1 フォントをインストールする際の注意事項

フォント管理 (`sdtfontadm`) を使用して CID/Type1 フォントをインストールする際には、次の点に注意してください。

- システムに `SUNWxwcs1` パッケージがインストールされていることを確認してください。次のようにして確認できます。

```
% pkginfo SUNWxwcs1
```

インストールされていない場合は `pkgadd` コマンドまたは `admintool` を使用して、Solaris SOFTWARE CD からインストールしてください。

- フォント管理 (`sdtfontadm`) のオプションメニューから「フォントパスの変更...」を選択して `/usr/openwin/lib/X11/fonts/CSL` を追加してください。変更した後、ウィンドウシステムを再起動してください。

[日本語環境のみ] フォント管理で CID フォントをインストールした場合の制限事項 (バグ ID: 4009292)

- フォント管理 (sdtfontadm) で CID フォントをインストールした場合、XLFD フォント名のレジストリフィールドが正しく登録されません。日本語フォントをインストールした場合には、インストールディレクトリの fonts.dir ファイルを編集して、jisx0201.1976-0、jisx0208.1983-0、jisx0212.1990-0 (補助漢字を含む場合) のそれぞれのレジストリを含むようにしてください。

編集例：

```
HeiseiKakuGo-W5.cid -unknown-HeiseiKakuGo W5---normal--0-0- \
0-0-p-0-jisx0201.1976-0
HeiseiKakuGo-W5.cid -unknown-HeiseiKakuGo W5---normal--0-0-0-0- \
p-0-jisx0209.1983-0
HeiseiKakuGo-W5.cid -unknown-HeiseiKakuGo W5---normal--0-0-0-0-p \
-0-jisx0212.1990-0
```

[日本語環境のみ] フォント管理でインストールした TrueType フォントを DPS で使用できない (バグ ID: 4030803)

フォント管理 (sdtfontadm) を使用して TrueType フォントをインストールした場合、UPR ファイルが作成されないため DPS でフォントを表示できません。DPS でフォントをインストールする場合には

/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.upr を参照して、以下のリストのように UPR ファイルを作成してください。なお、<FONTNAME> には TrueType フォント名を入力してください。

```
PS-Resources-1.0
  FontOutline
  .
  //<font install directory>
  FontOutline
  <FONTNAME>-78-EUC-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78-EUC-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78ms-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-78ms-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-83pv-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-90ms-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-90ms-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-90pv-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-90pv-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-Add-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-Add-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-Add-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
  <FONTNAME>-Add-V=<FONTNAME>.ttf
```

```
<FONTNAME>-Adobe-Japan1-0=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-Adobe-Japan1-1=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-Adobe-Japan1-2=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-EUC-H=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-EUC-V=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-Ext-H=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-Ext-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-Ext-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-Ext-V=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-H=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-NWP-H=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-NWP-V=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-RKSJ-H=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-RKSJ-V=<FONTNAME>.ttf
<FONTNAME>-V=<FONTNAME>.ttf
```

[日本語環境のみ] CID フォントを X から利用した場合に サイズが正しくない (バグ ID: 4067265)

CID フォントを Solaris にインストールして X のフォントとして利用した場合、グリフの大きさが正しくない場合があります。期待した大きさよりも小さく表示されます。

[日本語環境のみ] PCK でエンコードされた TrueType フォントに関する注意事項 (バグ ID: 4066981, 4066982)

MS-Windows 3.1 用などの TrueType フォントのうち PCK で内部エンコードされたフォント (SpecificID が 2) を Solaris にインストールした場合に、以下の問題が発生します。

- X のアウトラインフォントで JIS X 212 を表示しようとした場合、X サーバーがコアダンプすることがある。
- Solaris のリコー HG ゴシック体 B、HG 明朝体 L などの UNICODE でエンコーディングされた (SpecificID が 1) TrueType フォントと同時に使用すると、コードポイントが正しく表示されない場合がある。

日本語入力全般 (XIM を含む)

日本語入力システム全般に関する、注意事項とバグ情報について説明します。

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項

ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールで日本語入力システムを使用する場合、次の点に注意してください。なお、japanese ロケールで日本語入力システムを使用する場合については、ja ロケールの扱いと同じです。

- 日本語入力システムは、ユーザーがどの日本語のロケールでログインした場合でも、ja ロケールで起動する必要があるため、ja ロケール以外でログインした場合には注意が必要です。次の関連コマンドもこれに含まれます。
 - 日本語入力システム ATOK12
atok12migd(1)、atok12migs(1)、atok12mngtool(1M)
 - 日本語入力システム ATOK8
atok8dicm(1)、atok8migd(1)
 - 日本語入力システム cs00
cs00(1M)、mdicm(1)、udicm(1)、cs00toatok8(1)、kkcvtocs00(1)
 - その他
mle(1)、xci(7)、cm(3X)

起動方法についての詳細は、後述の説明を参照してください。

なお、Solaris CDE 版 cs00 ユーザー辞書ツール(sdtudicm(1))は、どの日本語ロケールで起動しても、自動的に ja ロケールで動作します。htt(1)は、リソース *language: に値 ja が設定されていれば、どの日本語ロケールで起動しても、ja ロケールで動作します。また、wnn6setup(1)、atok8setup(1)、cs00setup(1)は、どの日本語のロケールでも利用できます。

- ja_JP.UTF-8 ロケールにおいて、日本語入力システムを介して入力できる文字は、日本語 EUC の文字集合のみです。このため、日本語以外の文字や記号などは、日本語入力システムを使用して入力することはできません。また辞書登録することもできません。日本語文字コードに関する詳細は、『JFP ユーザーズガイド』を参照してください。
- テキスト設定ファイルとデータは、日本語 EUC を使用してください。

ATOK12 スタイルファイル、ATOK12 辞書ユーティリティ用テキスト形式の単語ファイル(atok12wordlist(4))、Wnn6 テキスト形式辞書、ATOK8 環境設定ファイル(atok8.ucf(4))、ATOK8 辞書メンテナンス用テキスト形式の単語ファイル(atok8wordlist(4))、cs00 ローマ字変換テーブル、cs00 辞書登録用

テキストファイルなど、日本語を含むファイルには日本語 EUC を使用してください。

- ATOK12、Wnn6、cs00 で補助漢字を入力した場合、ja_JP.PCK ロケールでは、確定後の文字は不定です。

ATOK12、Wnn6、cs00 には補助漢字の入力機能があり、ATOK12、Wnn6 および cs00 自体が ja ロケールで動作しているため、ja_JP.PCK ロケールにおいても補助漢字の表示と選択ができます。ただし、選択した候補の文字列が ja_JP.PCK ロケールで動作しているアプリケーションに渡った場合は、ja_JP.PCK ロケールには対応する漢字がないため、文字が不定になります。これは、ja ロケールで動作しているテキストエディタの補助漢字をコピーし、ja_JP.PCK ロケールで動作しているテキストエディタにペーストした場合も同様です。

- ja_JP.PCK ロケールまたは、ja_JP.UTF-8 ロケールでの起動方法
 - atok12migd(1)、atok12migs(1)、atok12mngtool(1M)、mdicm(1)、udicm(1)、cs00toatok8(1)、kkcvtoacs00(1)、atok8dicm(1)、atok8migd(1)

ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールで上記のコマンドを起動する場合、次の udicm コマンドの例を参考にしてください。

udicm コマンドの起動例：

手順 1. ja ロケールで端末エミュレータを起動します。

```
% env LANG=ja dtterm &
```

手順 2. 起動された端末エミュレータ上で udicm コマンドを起動します。

```
% udicm mshow cs00_m.dic -s あい -e あう
```

[日本語環境のみ] XIM のステータス文字列

ステータス文字列が、8 カラムで切られる場合があります。アプリケーションのステータス形式が XIMStatusNothing (ルートウィンドウ形式) か XIMStatusArea (通常、フッター形式) のどちらかの場合、htt はステータス文字列の幅として、status.root.maxWidth リソースの値を使用するため、XIMStatusArea の場合でも十分な大きさの値を、status.root.maxWidth に設定してください。

[日本語環境のみ] imDisplayInClient 使用時の XView アプリケーションの問題 (バグ ID: 1124457, 1124459)

XView の X リソース `imStatusStyle` に `imDisplaysInClient` を使用する場合、XView で書かれたアプリケーションでは、ステータスの色が正しく表示されなかったり、ステータス文字列が 2 つ表示されたりすることがあります。

`imStatusStyle` のデフォルト値は `clientDisplays` なので、ユーザー設定を変えなければ問題は発生しません。

[日本語環境のみ] XIMP_FE_TYPE1 で入力した文字がわずかに失われることがある (バグ ID: 1172824)

`XIMP_FE_TYPE1` が設定されている場合、Sun のキーボードで「Ctrl+Space」キーまたは「日本語 On-Off」キーを押して、かな漢字変換モードをオンに設定した直後に文字列を入力すると、キーボードから変換サーバーに文字が到達しないため、入力した文字が失われることがあります。

回避方法：ステータス文字列が使用したい言語モードに変わるまで待つか、イベントタイプに `XIMP_SYNC_BE_TYPE2` を設定してください。イベントタイプは、次のようにして、シェルの環境変数 `XIMP_TYPE` を `XIMP_SYNC_BE_TYPE2` に設定することによって設定できます。

```
% setenv XIMP_TYPE XIMP_SYNC_BE_TYPE2
```

また、X リソースデータベースに次のエントリを追加することによっても、イベントタイプを設定できます。

```
*immode: XIMP_SYNC_BE_TYPE2
```

注 - Solaris の XIM (X Input Method) は、Ximp 4.0 プロトコルに基づいており、2 つの異なるイベントタイプをサポートしています。デフォルトは、`XIMP_FE_TYPE1` (フロントエンドタイプ 1) です。デフォルトの設定では入力サーバー (`htt`) は、変換モードがオンに設定されている場合、キー入力イベントを先取りします。

`XIMP_SYNC_BE_TYPE2` (バックエンド同期タイプ 2) は、`XIMP_FE_TYPE1` の代替となるものです。この設定ではキー入力イベントは、常にクライアントに先に送られてから `htt` に転送され、クライアントに返送されます。

[日本語環境のみ] ステータス表示が正確でない (バグ ID: 1180785)

デフォルトの OpenWindows のセッションの場合に、ステータス表示が正確に行われません (デフォルトのセッションでは、`.openwin-init` が存在せず、`openwin` を起動した後、コンソールとファイルマネージャだけが起動されます)。

ファイルマネージャに入力フォーカスがない場合、ステータスが表示されません。コマンドツールに入力フォーカスがない場合は、ステータスがはっきりと表示されます。つまり入力フォーカスを失っても、失っていないように見えます。

[日本語環境のみ] 入力サーバー (htt) の属性変更

入力サーバー (htt) の属性を、htt プロパティマネージャを用いて変更した場合、その変更内容が、X のリソースフォーマットで `$HOME/.Xlocale/$LANG/app-defaults/Htt` ファイルに保存されます。これ以降 `htt` を起動すると、`Htt` ファイルの設定が最優先されます。

[日本語環境のみ] htt の起動

cm インタフェースを使って `htt` を起動することはできません。デフォルトの `xci` を使用してください。

[日本語環境のみ] 日本語入力システム設定後に再びログインしても、希望する日本語入力システムが利用できない

`$HOME/.dtprofile` に、日本語入力サーバーを起動する独自の行 (`atok12setup`、`wmn6setup`、`atok8setup`、`cs00setup` を使用しないで設定した行) がある場合、ワークスペースメニューの「日本語入力システム切替」から希望する日本語入力システムを選択して再びログインしても、選択した日本語入力システムが利用できない場合があります。

回避方法：独自に記述した `$HOME/.dtprofile` の日本語入力サーバーの起動に関する行を削除して、再びログインしてください。

[日本語環境のみ] Wnn6 の同時接続クライアント数

今回のリリースで提供される Wnn6 は、最大 3 つまでのクライアント (htt や uum など、Wnn6 のかな漢字変換サーバーである jserver に直接接続するプログラム) の同時接続をサポートします。

追加のクライアントライセンスは、別途購入することができます。詳細は、本製品のご購入先にお問い合わせください。

[日本語環境のみ] Wnn6 で、同じカタカナが変換候補として 2 回表示されることがある (バグ ID: 4040987)

Wnn6 で、同じカタカナが変換候補として 2 回表示されることがあります。

回避方法：どちらか一方の候補で確定してください。

[日本語環境のみ] Wnn6 設定ユーティリティで「変換 ON」のキーの割り当てを設定できない (バグ ID: 4043377)

Wnn6 設定ユーティリティの「入力スタイル」で「変換 ON/OFF」のキーの割り当てを変更しても、変換 ON に関してはその変更が有効になりません。

回避方法 1：次の手順で、htt のプロパティマネージャを使用して設定してください。

1. Wnn6/Htt を終了します。
2. htt を端末エミュレータなどから起動します。

```
% htt -nosm &
```

注 - 他のオプションは指定しないでください。

3. htt のアイコンを開き、「一般」を選択します。
4. 「入力マネージャ: 一般」ウィンドウで設定を行います。
5. 設定が終了したら、ログインし直します。

回避方法 2：htt のリソース conversionOnKeys にキーシーケンスを指定してください。

wnn6setup(1) を実行した場合は、ホームディレクトリに .Xlocale/ja/app-defaults/Htt という設定ファイルが作成されるので、ここで指定することができます。

[日本語環境のみ] Wnn6 設定ユーティリティの「学習/変換/表示モード」の設定画面で「次候補一覧の位置」に「カーソル」または「中央」を設定した場合、候補一覧ウィンドウはマウスポインタの位置に表示される

Wnn6 設定ユーティリティの「学習/変換/表示モード」の設定画面で「次候補一覧の位置」に「カーソル」または「中央」を設定した場合、候補一覧ウィンドウはマウスポインタの位置に表示されます。

[日本語環境のみ] ATOK8 風入カスタイルでは、通常の候補一覧ウィンドウは縦または横一列で表示される

Wnn6 設定ユーティリティの「学習/変換/表示モード」の設定画面で、「次候補一覧のレイアウト」に複数行を設定した場合、候補一覧ウィンドウは横一列で表示されます。

[日本語環境のみ] 壊れた辞書を指定すると jserver がコアダンプする (バグ ID: 4038938)

壊れた辞書または頻度ファイルなどをクライアントが使用しようとする、jserver がコアダンプすることがあります。

回避方法：壊れた辞書または頻度ファイルは、使用しないでください。

[日本語環境のみ] Solaris CDE 上の ATOK8 で、カラーマップを使い果たすとプリエディット・ステータスが見えなくなる (バグ ID: 1239350)

Solaris CDE 上で ATOK8 を使用中に、アプリケーションがカラーマップを使い果たすと、プリエディット/ステータスの色が変わり、プリエディット/ステータスが読めなくなることがあります。

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールでの **ATOK8** の利用

Solaris 2.6 よりも前のリリース (Solaris 2.5.1 以前のリリース) において `atok8setup` コマンドで ATOK8 を設定した場合、`ja_JP.PCK` ロケールまたは `ja_JP.UTF-8` ロケールでログインすると、ATOK8 が利用できません。

回避方法：最新の日本語版の Solaris で `atok8setup` コマンドを直接実行するか、ワークスペースメニューから「ATOK8 に設定」を選択して、ウィンドウシステムを再起動してください。

[日本語環境のみ] Solaris CDE 環境において、**ATOK8** で **<Shift> + <Esc>**、**<Alt> + <Space>** が機能しない

Solaris CDE 環境では、`<Shift> + <Esc>`、`<Alt> + <Space>` は共にウィンドウメニューのアクセラレータキーに割り当てられているため、ATOK8 の部首入力およびモード一覧表示状態で、前メニュー移動の機能をこれらのキーで利用できません。部首入力を利用する場合は、`<Shift> + <F6>` を使用してください。また、モード一覧表示状態で前のメニューに戻るには、`<Esc>` キーでいったんメニューを閉じて、再度 `<Shift> + <F10>` キーを押すか、環境設定ツールを使用してキーの割り当てを変更してください。キーの割り当ての変更については、『ATOK8 ユーザーズガイド』を参照してください。

[日本語環境のみ] **ATOK8** を Solaris CDE 環境で使う際、カーソルキーを使用すると入力が反映されないことがある (バグ ID: 4113801)

ATOK8 を Solaris CDE 環境で使用する際に、独立したカーソルキー (`→/←/↑/↓`) を使用するとカーソルキー入力の一部が脱落し、ATOK8 の変換操作に反映されないことがあります。

回避方法 1：数値入力キー上のカーソルキーを使用してください。

回避方法 2：`dtwmrc` ファイルを編集してキーバインディングを変更します。`$HOME/.dt/<locale>` ディレクトリの下に `dtwmrc` ファイルが存在しない場合は、`/usr/dt/config/<locale>` ディレクトリの下にある `sys.dtwmrc` ファイルを、`$HOME/.dt/<locale>` ディレクトリの下に `dtwmrc` というファイル名でコピーしてください。その後、テキストエディタなどで、`dtwmrc` ファイルの 213 行目以

下に記述されている **Key Bindings Description** の **Root** のカーソルキーに関するエントリを次のように " #" でコメントアウトして、ワークスペースマネージャ (dtwm) を再起動するかまたはログインし直してください。

```
# <Key>Down root f.circle_down
# <Key>Up root f.circle_up
# <Key>Right root f.next_workspace
# <Key>Left root f.prev_workspace
```

この設定をした場合、独立したカーソルキーで、上記の dtwm の機能は利用できなくなります。

[日本語環境のみ] cs00 で、Ctrl-N によって次候補を連続表示すると、同じ候補が表示されることがある (バグ ID: 1101391)

この現象が発生する例を示します。

1. 日本語をオンの状態で 'aba' と入力します。

「あば」と表示されます。

2. Ctrl-N を押します。

「あば」の表示は変わりません。

3. Ctrl-N を押します。

「暴」と表示されます。

4. Ctrl-N を押します。

「あば」と表示されます。

5. Ctrl-N を押します。

「アバ」と表示されます。

つまり、変換候補は次のように変化します。「あば」->「暴」->「あば」->「アバ」->「暴」->「あば」->「アバ」->「暴」

回避方法：Ctrl-W によって候補一覧表示をした場合は、このような現象は発生しません。

[日本語環境のみ] cs00 ユーザー辞書ツールに対して、Solaris CDE のセッション保存機能が働かない

Solaris CDE のログアウト時に起動されているアプリケーションは、通常、次のログイン時に自動的に起動されますが、cs00 ユーザー辞書ツールに関してはこの機能が働きません。

[日本語環境のみ] cs00 使用時に、Meta-A (Again キー)、Meta-Z (Undo キー) が動作しない

XView ウィンドウ上で Meta-A (Again キー)、Meta-Z (Undo キー) が動作しません。

[日本語環境のみ] cs00 でコードを区切って区点入力をすると、アプリケーションへの入力が停止する

変換インタフェースモジュールとして CM を選択して、区点入力モードを選択した場合、空白でコードを区切って区点入力を行うと、アプリケーションへの入力が停止することがあります。

回避方法：区点入力を使用する際に、空白で区切って複数選択することは避け、1文字単位で入力してください。

[日本語環境のみ] udicm コマンドは、mshow コマンドで -e または -s オプションに何も指定しないとコアダンプする (バグ ID: 1232152)

udicm コマンドを、次のように -s または -e オプションの後に単語の読みを指定しないで使用すると、コアダンプします。

```
% udicm mshow cs00_m.dic -s
```

または

```
% udicm mshow cs00_m.dic -e
```

回避方法：udicm コマンドで mshow コマンドを利用する場合は、-s または -e オプションパラメータの後に、単語の読みを必ず指定してください。

[日本語環境のみ] mdicm コマンドでメイン辞書を空にするとコアダンプする (バグ ID: 1209956)

mdicm コマンドを次のように使用して、空のメイン辞書を生成しようとする、コアダンプします。

```
% mdicm mshow cs00_m.dic cs00_u.dic > cs00_m.list
% mdicm ldel cs00_m.dic cs00_u.dic cs00_m.list -m mdic.dic -u udic.dic
```

[日本語環境のみ] cs00 の部首入力を取り消し、次に漢字候補一覧を表示させると、部首の一覧が表示されてしまう (バグ ID: 1257579)

cs00 で次のような操作をすると、漢字候補一覧ではなく部首の一覧が表示されてしまいます。

1. "^V" 部首の一覧が表示されます。
2. "ESC" 部首の一覧は消えます。
3. "ki" "き" が反転表示されます。
4. "^W" "き" に対する漢字の候補一覧ではなく、部首の一覧が表示されます。

回避方法： 部首入力を取り消した後、いったん日本語入力をオフにしてください。

[日本語環境のみ] OpenWindows 上で候補一覧ウィンドウ表示中にキーが効かなくなる (バグ ID: 4039587)

日本語入力システム Wnn6 を OpenWindows で使用し、「次候補一覧の位置」に「カーソル」または「中央」を指定している場合、候補一覧ウィンドウの表示中にマウスポインタが動くと、キー入力が効かなくなる (次ページ表示操作や選択ができなくなる) ことがあります。

日本語入力システム cs00 を OpenWindows で使用する場合、htt の設定「プリエディット/ステータス」ウィンドウに「カーソルの位置」を指定すると、候補一覧ウィンドウ (LUC) を表示している時にキー入力が効かなくなる (次ページ表示操作や選択ができなくなる) ことがあります。

回避方法：OpenWindows を利用する場合にはこの設定を使用しないか、キー入力
が効かなくなった時にはマウスポインタを少しずらしてみてください。

[日本語環境のみ] ja_JP.UTF-8 ロケールで ATOK12 を 使用するように設定しても、複数の言語入力の設定になる (バグ ID: 4304743)

CDE ワークスペースメニューから「日本語入力システム切り替え」->「日本語入力
のみに設定」->「ATOK12(htt) に設定...」を選択し、ログインし直しても、デフォル
トの複数言語入力になります。コマンド行から atok12setup(1) コマンドを使用
した場合も同じです。

回避方法：

ユーザー単位で対処する場合は、設定後に、ホームディレクトリにあるファイル
.dtprofile の内容の一部を以下のように変更してください。

変更前：

```
_file=/usr/openwin/lib/locale/$LANG/imsscript/S548atok12
```

変更後：

```
_file=/usr/openwin/lib/locale/$LANG/imsscript/S507atok12
```

システム単位で対処する場合は、スーパーユーザーとしてシェルスクリプト
/usr/openwin/bin/atok12setup を以下のように変更してください。

変更前：

```
cde_launch="S548atok12"
```

変更後：

```
cde_launch="S507atok12"
```

この修正前に日本語入力システムの切り替えを行なっている場合は、修正後に再度
切り替えを行なってください。

[日本語環境のみ] 複数言語入力環境または ATOK12 使用時に、Java2 アプリケーションのウィンドウをアイコン化してもステータス表示が残る (バグ ID: 4305501)

Java2 アプリケーションをアイコン化した場合に、「ATOK」、「あ連R漢」、「英語/ヨーロッパ言語」など入力システムの状態表示 (ステータス表示) が画面上に残ってしまいます。

回避方法：アプリケーションの終了時にはステータス表示が消えますが、ステータス表示だけを消す方法はありません。

[日本語環境のみ] 複数言語入力環境で cs00 (日本語入力) を使用する場合のバグおよび制限事項

標準の設定では、UTF-8 ロケールで起動されたアプリケーションで複数言語入力が可能です。ユーザーは、複数言語入力を無効にして、特定の日本語入力システムの使用を指定することができます。また、一度指定した日本語入力システムを解除し、複数言語入力を有効にすることもできます。

複数言語入力が有効な場合、cs00 がインストールされていて ATOK12 がインストールされていない場合は、日本語の入力には cs00 が使用されます。ATOK12 がインストールされている場合は、ATOK12 が優先して使用されます。

通常、cs00 および ATOK12 は両方ともインストールされますが、明示的に片方、または両方をインストールしないことも可能です。また、LANGUAGES CD を使用しないでインストールすると、日本語ロケールは部分ロケールとしてインストールされ、cs00 だけがインストールされます。

複数言語入力が有効な場合、cs00 は cm インタフェースと共に使用されます。この cm インタフェースは、複数言語入力が可能でない環境で cs00 と共に使用される xci インタフェースとは異なる機能を持っています。cm インタフェースと xci インタフェースに関しては、『日本語入力システムの概要とセットアップ』の「かな漢字変換サーバー・インタフェースモジュール」を参照してください。

複数言語入力環境で cs00 を使用する場合、以下のバグおよび制限事項があります。

- 日本語キーボード固有キーが正しく動作しない (バグ ID: 4307908)

【日本語 On-Off】 【変換】 【確定】 【かな】 キーが正しく動作しません。

回避方法：【Ctrl+スペース】【Ctrl+N】【Ctrl+K】を使用してください。【かな】キーについては回避方法がないので、かな入力を行うには他の日本語ロケールを使用してください。

- ja_JP.UTF-8 部分ロケールで CDE にログインした後、env LANG=ja を指定してアプリケーションを起動すると、そのアプリケーションでは日本語入力を使用できない (バグ ID: 4305876)

ja の代わりに他の日本語ロケールを指定した場合も同様に、日本語入力を使用できません。

回避方法：そのアプリケーションを動作させたいロケールでログインし直してください。

ATOK12

Solaris 8 で新しく提供される日本語入力システム ATOK12 に関する、注意事項とバグ情報について説明します。

[日本語環境のみ] ATOK12 がサポートするウインドウ環境

ATOK12 は、CDE (共通デスクトップ環境) での使用のみがサポートされています。OpenWindows 環境での使用はサポートされていません。OpenWindows 環境では、Wnn6、ATOK8、または cs00 を使用してください。

[日本語環境のみ] 修飾キーをロックしていると、ATOK パレットのメニューが表示されない (バグ ID: 4270090)

「Caps Lock」、「Num Lock」、「かな」のような修飾キーをロックしている場合、ATOK パレット上でメニューを表示することができません。

回避方法：修飾キーのロックを解除してからメニューを表示してください。環境設定など ATOK パレット上にボタンのある機能については、ボタンを使用することによって、修飾キーをロックしたままでも起動できます。

[日本語環境のみ] ATOK12 の一部のコマンド行ユーティリティに関するマニュアルページが提供されていない

ATOK12 の一部として提供される以下の 2 つのコマンド行ユーティリティのマニュアルページが提供されていません。

- atok12migs (1)
- atok12mngtool (1M)

回避方法：

- atok12migs (1) について

『日本語入力システムの概要とセットアップ』の「ユーザー登録単語および環境ファイルの移行」の中の「ATOK12 への移行」を参照してください。ただし、補足として以下の点に注意してください。

- 出力先の ATOK12 スタイルファイルがすでに存在する場合でも、その内容は参照されず、変換結果により上書きされます。
- オプション `-k` または `-r` を指定した場合、変換対象とならない方の環境 (`-k` の場合はローマ字、`-r` の場合は機能のキー割り当て) については ATOK12 のデフォルトの内容になります。

- atok12mngtool (1M) について

以下の記述を参照してください。

atok12mngtool (1M) は、ATOK12 のユーザー情報を参照・変更する場合に使用します。このユーティリティは同時に 1 つしか起動できません。

起動方法：

スーパーユーザーになり、以下のコマンド行を使って起動します。

```
# /usr/sbin/atok12mngtool
```

機能：

atok12mngtool (1M) が起動されると、プロンプト文字列が出力されます。ここで内部コマンドを指定することができます。内部コマンドには 4 種類あります。

追加 (a)

ユーザー名を指定して登録します。ATOK12 のデフォルトの設定 (今回のリリースでは、この設定だけがサポートされます) では、登録されていないユーザーが ATOK12 を使おうとした時点で自動的に登録が行われる

ので、この機能を使用して事前にユーザーを追加する必要はありません。

削除 (d) ユーザーを登録から削除します。

一覧 (l) ATOK12 を使用するために登録されているユーザーの名前を出力します。全ユーザーの情報を処理してからユーザー名の出力を開始しますが、ユーザー名の出力が始まるまでの間、処理した数 100 ユーザーごとに文字「+」を出力します。

終了 (q) この管理ツールを終了します。

[日本語環境のみ] Java 2 クライアントから ATOK12 使用する場合の制限事項とバグ情報

Java2 アプリケーションのデフォルト入力方式 (「システム入力方式」)

Java2 アプリケーションを起動した場合、デフォルトでは「システム入力方式」(プラットフォームの入力システム)を使用します。

今回の Solaris 8 リリース上で実行している場合は、実行環境によって、CDE または OpenWindows 上の X アプリケーションが使用するのと同様の方法で、日本語入力システムと接続します。したがって、ATOK12 (CDE の場合のみ)、Wnn6、ATOK8、cs00 のいずれかの、設定されている入力システムと接続します。

「ネットワーク入力方式」としての ATOK12 の使用

プラットフォームに依存せずに、直接 Java 2 実行環境が入力システムと接続する方式を「ネットワーク入力方式」といいます。今回の Solaris 8 リリースに付属する Java2 実行環境を使用する場合に限り、今回の Solaris 8 リリースでは ATOK12 はネットワーク方式としても利用できます。この方式で使用するには、必要な設定や制限事項があります。以降の記述を参照してください。

Java2 アプリケーションから「ネットワーク入力方式」として ATOK12 を使用する場合、設定ファイルの作成が必要

この設定ファイルを用意してから Java2 アプリケーションを起動すると、ウィンドウのフレームから起動できるメニューで入力方式を選択できます。「ネットワーク入力方式」から「日本語」を選択すると、ATOK12 に接続します。

ファイル名	.iiimp
ファイルを置くディレクトリ	アプリケーションを使用するユーザーのホームディレクトリ
内容	次の 2 行： <code>iiimp.server=iiimp://localhost</code> <code>iiimf.object.download=true</code>

Java2 アプリケーションから「ネットワーク入力方式」として ATOK12 を使用する場合の制限事項

Java2 アプリケーションから「ネットワーク入力方式」として ATOK12 を使用する場合、X アプリケーションから使用する場合のバグ・制限に加えて、以下の表示に関するバグ・制限があります。

- 候補一覧
 - ATOK パレット
 - 記号入力、コード入力、エラーメッセージ
 - 辞書ユーティリティなど ATOK パレットから起動できるユーティリティ
- バグ・制限の内容は次のとおりです。
- CDE の入力システムとして ATOK12 を使用している場合は表示されない
 - デスクトップ (X サーバー) 上で最初に起動した Java2 アプリケーションだけに対して表示される
 - 辞書ユーティリティを起動できない
 - ATOK12 文字パレットの和文コード表で体系として JIS を選択すると文字化けする

Java

Java に関する注意事項とバグ情報について説明します。

Java Plug-in のサポート

Java Plug-in 1.2 は、Java 2 アプレットを実行するデフォルトのプラグインです。Java Plug-in 1.2 では、Java 1.1 アプレットを実行できないことがあります。Java Plug-in 1.1 は、<http://www.sun.com/solaris/netscape> からダウンロードすることができます。

同じシステム上に Java Plug-in 1.1 と Java Plug-in 1.2 の両方を置く場合は、以下のマニュアルに記述されている手順で、Java Plug-in 1.1 をインストールし、環境設定を行なってください。

http://www.sun.com/solaris/netscape/jpis/usersguide_java_plugin.html で「Java Plug-in for Solaris > Users Guide」の「Installing Java Plug-in」を参照してください。

UTF-8 ロケールで Java2 アプリケーションを実行する時に警告メッセージが表示される (バグ ID: 4254198)

UTF-8 ロケールで Java2 アプリケーションを起動する時、フォントに関する次のような警告メッセージが表示されます。

```
Font specified in font.properties not found
[-b&h-LucidaBrightLat4-Normal-r-normal--*-%d-*-*p-*--iso8859-4]
```

回避方法：問題は発生しないので、警告メッセージは無視してください。

[日本語環境のみ] アプレット上での日本語入力が正しく動作しないことがある (バグ ID: 4052171)

Solaris ユーザー登録などのテキストフィールドを使ったアプレット上で、Tab キーを使ってテキストフィールドの入力項目を移動した場合、日本語入力の第 1 文字目に変換されない場合があります。

回避方法：変換に失敗した箇所は、もう一度入力し直してください。

パフォーマンス

パフォーマンス全般に関する注意事項について説明します。

PCI-IDE システム上で DMA が無効になる

デフォルトでは、Solaris ata デバイスドライバは、ATA/ATAPI デバイスに対して Direct Memory Access (DMA) 機能を無効にします。

ATA/ATAPI ドライブに対する DMA が適切にサポートされていないシステム上で問題が発生するのを避けるために、この機能は無効にされています。発生するほとんどの問題は、旧式のシステム BIOS に関連しています。

回避方法：Solaris 8 オペレーティング環境のインストール後に、以下の手順で、ataドライバの DMA 機能を有効または無効にしてください。

1. Intel 版 Solaris の Device Configuration Assistant (デバイス構成補助) を実行します。自動ブートを中断するには、以下のプロンプトで ESC キーを押してください。

Press ESCape to interrupt autoboot in 5 seconds

2. F2_Continue を押して、デバイスを走査します。
3. F2_Continue を押して、ブートデバイスのリストを表示します。
4. F4_Boot Tasks を押して、View/Edit Property Settings を選択し、F2_Continue を押します。
5. ata-dma-enabled 属性の値を 1 に変更して、DMA を有効にします (値を 0 にすると DMA を無効にします)。
 - a. ata-dma-enabled 属性をリストから選択し、F3_Change を押します。
 - b. 1 を入力し、F2_Continue を押して、有効にします (0 を入力して F2_Continue を押すと無効になります)。
 - c. F2_Back を押し、次に F3_Back を押して、Boot Solaris メニューに戻ります。
 - d. デフォルトのブートデバイスを選択し、F2_Continue を押して Solaris をブートします。

注 - DMA を有効にした後に問題が発生した場合は、DMA を無効にし (上記の手順で `ata-dma-enabled` 属性を 0 にし)、最新の BIOS でシステムを更新し、再度 DMA を有効にしてください。最新の BIOS については、ハードウェアのご購入先にお問い合わせください。

AnswerBook2

AnswerBook2 に関する注意事項およびバグ情報について説明します。

ab2admin コマンドの実行に成功しても、断続的に `command failed` と表示される (バグ ID: 4242577)

ab2admin が失敗すると、エラーメッセージには “Command failed” に加えて情報が示されます。たとえば、“path not found” または “invalid ID” などと示されます。

回避方法： `command failed` というメッセージが表示された場合は、処理が失敗しているかどうかを確認してください。たとえば、AnswerBook2 のデータベースからコレクションを削除するためのコマンドを実行した場合は、次のコマンドを実行してデータベース中のコレクションを表示して確認してください。

```
# ab2admin -o list
```

“command failed” のほかに何も情報が表示されないときは、エラーメッセージを無視してもよい場合があります。

ab2cd スクリプトから誤ったエラーメッセージが表示される (バグ ID: 4256516)

AnswerBook2 サーバーの起動中に、ab2cd スクリプトが次のようなエラーメッセージを出力します。

```
sort: can't read /tmp/ab1_sort.XXX: No such file or directory
```

これは、ab2cd スクリプトが DOCUMENTATION CD 上に AnswerBook1 Collections を見つけることができないことを示すエラーメッセージです。

回避方法：エラーメッセージは無視してください。

UTF-8 ロケールで ab2cd を起動すると、エラーメッセージが表示され、ヘルプライブラリしか表示されない (バグ ID: 4308667)

UTF-8 ロケールで ab2cd を起動すると、次のようなエラーメッセージが表示され、ヘルプライブラリしか表示されません。

```
sort: insufficient memory: use -S option to increase allocation
```

回避方法：UTF-8 以外のロケールで ab2cd を起動してください。

Netscape Communicator 4.7 (日本語版)

Netscape Communicator 4.7 (日本語版) に関する注意事項とバグ情報について説明します。

[日本語環境のみ] ページ情報ダイアログ内の日本語が正しく表示されない場合がある (バグ ID: 4269123)

Netscape Communicator 4.7 を ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールで使用する場合、ページ情報ダイアログ内の日本語の一部が文字化けしたり、ダイアログのタイトルが表示されないことがあります。ja ロケールで使用している場合は、この問題は起こりません。

[日本語環境のみ] CDE アプリケーションから日本語文字列をコピー&ペーストできない (バグ ID: 4197428)

キーボードの Copy キー、Paste キー、編集メニューの「コピー」、「ペースト」を使用して、端末エミュレータやテキストエディタなどの CDE アプリケーションから Netscape Communicator に日本語文字列をコピー&ペーストできません。

回避方法：マウスの左ボタンでコピーしたい文字をハイライト表示し、マウスの中ボタン (2 ボタンマウスの場合は右ボタン) を使って、Netscape Communicator 上にペーストしてください。

注・マウスボタンのマッピングを左利き用に設定している場合は、左ボタンと右ボタンの機能が逆になります。

英語以外のロケールに関するバグ情報

英語以外のロケールに関する注意事項およびバグ情報について説明します。

共通デスクトップ環境 (CDE) で一部のギリシア文字が利用できない (バグ ID: 4179411)

CDE 上で正しく動作しないデッドキー (現在位置の前進動作を伴わない文字) 組み合わせがあります。また、ギリシア語ロケールにおいて、カレンダー・マネージャで月の名前が正しく表示されません。

すべての部分ロケールで、カレンダー・マネージャ中の拡張文字を印刷できない (バグ ID: 4285729)

部分ロケールでカレンダー・マネージャを使用している時、拡張文字が正しく印刷されません。

アラビア語と UTF-8 ロケールの英語との間で、テキストをカット & ペーストできない (バグ ID: 4287746)

en_US.UTF-8 のアラビア語入力モードで実行しているアプリケーションまたはウィンドウと、ar_EY.ISO8859-1 のアラビア語入力モードで実行しているアプリケーションまたはウィンドウとの間で、アラビア語テキストをカット & ペーストできません。

ヨーロッパ言語のロケールで Extras ドロップダウンメニューを使用できない (バグ ID: 4298547)

ヨーロッパ言語ロケールの CDE アプリケーションでマウスの右ボタンをクリックしても、Extras ドロップダウンメニューのメニューオプションが表示されません。

日本語およびアジア各国語の UTF-8 ロケールで CTL がサポートされていない (バグ ID: 4300239)

タイ語、アラビア語、ヘブライ語を入力するための CTL (Complex Text Language) サポートが、en_US.UTF-8 およびヨーロッパ言語の UTF-8 ロケールに実装されました。ただし、ja_JP.UTF-8、ko.UTF-8 (ko_KR.UTF-8)、zh.UTF-8 (zh_CH.UTF-8)、zh_TW.UTF-8 ロケールでは実装されていません。

回避方法：CTL を使用するタイ語、アラビア語、ヘブライ語を入力する必要がある場合は、en_US.UTF-8 ロケールを使用してください。

ワークスペース・メニュー中のスマートカード・メニューオプションがサポートされていない (バグ ID: 4301544)

ワークスペース・メニュー中にスマートカード・アプリケーションのメニューオプションがありますが、これを選択してもスマートカード・アプリケーションが起動されません。

アプリケーションの画面の一部が英語で表示される (バグ ID: 4301212, 4299487)

スマートカード、AnswerBook2、Solaris PDA Sync、Printer Administrator、ホットキーエディタの各アプリケーションは、一部のユーザーインターフェースやメッセージが英語で表示されます。

Solaris オペレーティング環境と Microsoft Windows の間で dtmail を使用している場合、アラビア語の文字列が正しく表示されない (バグ ID: 4301870)

Solaris オペレーティング環境でのアラビア語サポートは、アラビア語コード ページ ISO8859-6 にもとづいています。一方 Microsoft Windows では、Microsoft コード ページ 1256 をサポートしています。dtmail を使用するとき Solaris オペレーティング環境と Microsoft Windows の間で文字列を交換できるようにするためには、コードページ変換を行う必要があります。

ギリシア語ロケールの Solstice AdminTool で、ユーザーを追加、削除、変更できない (バグ ID: 4302983)

ギリシア語ロケールでは、AdminTool™ のユーザーの追加、削除、変更を行う画面が空白で表示されます。

回避方法：スーパーユーザーになって、以下のようにファイルをコピーしてください。

```
% cp /usr/openwin/lib/locale/C/app-defaults/Admin  
/usr/openwin/lib/locale/el_GR.ISO8859-7/app-defaults/Admin
```

上記のファイルをコピーした後、ギリシア語ロケールの AdminTool で、ユーザーを追加、削除、変更できるようになります。

イタリア語ロケールで、フォントダウンローダの「Add」ボタンと「Cancel」ボタンが正しく表示されない (バグ ID: 4303549)

フォントダウンローダをイタリア語ロケールで使用している場合、「Add Printer」ダイアログ中の「Add」ボタンと「Cancel」ボタンに相当するボタンが「A ...」と表示されます。

正しくは、左側のボタンが「Aggiungi」(Add) ボタンで、右側のボタンが「Annulla」(Cancel) ボタンです。

Sun アラビア語キーボードの文字と Microsoft アラビア語キーボードの文字が互換でない (バグ ID: 4303879)

次の表に、Sun の Solaris アラビア語キーボードと、Microsoft のアラビア語キーボードの相違を示します。

キー	Sun キーボードの配列	Microsoft キーボードの配列
T	T	下にハムザ記号が付いているアラビア文字 Lam_alef
U	U	' (右単一引用符)
I	I	アラビア文字の乗算記号
O	O	アラビア文字の除算記号
A	;	アラビア文字 Kasra
S	S	アラビア文字 Kasratan
Z	Z	~ (チルド記号)
X	X	アラビア文字 Sukun
C	アラビア文字 Kasratan	{ (左大括弧)
V	アラビア文字 Kasra	} (右大括弧)

キー	Sun キーボードの配列	Microsoft キーボードの配列
M	Sukun	単一下方引用符
<	<	アラビア文字のカンマ

ISO8859-1 以外のロケールにおけるフォントダウンローダでの印刷 (バグ ID: 4304493)

ISO8859-1 ロケール以外のロケールで、フォントダウンローダを使用して印刷するには、次の手順を実行してください。

1. 共通デスクトップ環境 (CDE) にログインします。
2. コマンド行で `fdl` と入力して、フォントダウンローダを起動します。
3. [プリンタ] メニューから [追加] を選択して、プリンタを指定します。
4. [ダウンロード] メニューから [Font Bundle] を選択します。

印刷に必要なコードセットに応じて、指定したプリンタにフォントバンドルがダウンロードされます。

SEAM アプリケーションにおいて、英語のメッセージが表示される (バグ ID: 4306619)

インストール時に Kerberos 設定が選択された場合のみ、SEAM は Solaris 8 オペレーティング環境のいくつかのリソースファイルを使用します。

ギリシア語ロケールおよび UTF-8 ロケールで、ユーロ通貨記号が正しくサポートされていない (バグ ID: 4306958, 4305075)

UTF-8 ロケールで AltGr+E キーを押しても、ユーロ通貨記号が生成されません。

回避方法：UTF-8 ロケールでユーロ通貨記号を入力するには、次の手順を実行してください。

1. [UTF-8 Input Mode Selection] ウィンドウで [Lookup] を選択します。
2. [Currency Symbols] を選択します。

3. ユーロ通貨記号を選択します。

注 - ギリシア語ロケールでは、コンソールのプロンプトで **dumpcs** と入力し、次にユーロ通貨記号をコピー&ペーストしてください。

ヨーロッパ言語の UTF-8 ロケールで、ソートが正しく機能しない (バグ ID: 4307314)

ヨーロッパ言語の UTF-8 ロケールで、ソートが正しく機能しません。

回避方法：フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、スウェーデン語の UTF-8 ロケールでソートを行う前に、LC_COLLATE 変数をその言語の IS08859-1 ロケールに設定してください。

```
# echo $LC_COLLATE
> es_ES.UTF-8
# setenv LC_COLLATE es_ES.IS08859-1
```

上記のように LC_COLLATE 変数を設定後、ソートを行なってください。

スウェーデン語の dtcalc で 16 進数が正しくサポートされない (バグ ID: 4308864)

16 進数モードで f キーを押すと、Functions が有効になり数値 F として機能しません。

回避方法：dtcalc 上で f キーをクリックしてください。

その他

バンドルされたフリーウェアのソフトウェアが国際化対応でない

以下のフリーウェアのソフトウェアが Solaris Software CD にバンドルされていますが、これらは国際化および各国語対応されていません。

Apache Perl	bash-2.03	bzip2-0.9.0c	gzip-1.2.4
less-340	mkisofs-1.12b5	patch-2.4.5	rpm2cpio.pl
tcsh-6.09	zlib-1.1.3	zip-2.2	zsh-3.0.6

機能に関する情報

この章では、Solaris 8 の機能に関する情報を説明します。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれている『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の内容に加えて、以下の情報が追記されています。

- 実行時検索パスの構成

PIM カーネルのサポート

Solaris 8 オペレーティング環境には、RFC 2362 に記述されている PIM プロトコルに対するカーネルサポートが含まれています。Solaris 8 オペレーティング環境には、ルーティングデーモンが含まれていませんが、Solaris 8 を使用してマルチキャストネットワークのトラフィックをルーティングしたい場合は、<http://netweb.usc.edu/pim> から PIM プロトコルの実装 (sparse モードと dense モードの両方) を入手してください。

実行時検索パスの構成

ld コマンドの `-z nodefaultlib` オプションと、新しい `crle(1)` ユーティリティによって作成される実行時構成ファイルを使用することによって、実行時リンカーの検索パスを変更することができるようになりました。

[日本語環境のみ] コード変換 (iconv)

iconv(3) および iconv(1) を通して利用できるコード変換に、以下のものが追加されました。

(入力側コードセット)	(出力側コードセット)
PCK	ibm5026
PCK	ibm5035
PCK	ibm930
PCK	ibm931
PCK	ibm939
UTF-8	ibm5026
UTF-8	ibm5035
UTF-8	ibm930
UTF-8	ibm931
UTF-8	ibm939
euCJP	ibm5026
euCJP	ibm5035
euCJP	ibm930
euCJP	ibm931
euCJP	ibm939
ibm5026	PCK
ibm5026	UTF-8
ibm5026	euCJP
ibm5035	PCK
ibm5035	UTF-8
ibm5035	euCJP
ibm930	PCK
ibm930	UTF-8
ibm930	euCJP
ibm931	PCK
ibm931	UTF-8

(入力側コードセット)	(出力側コードセット)
ibm931	eucJP
ibm939	PCK
ibm939	UTF-8
ibm939	eucJP
UTF-8	ms932
ms932	UTF-8
UTF-8	UTF-8-ms932
UTF-8-ms932	UTF-8

上記のコードセット名のうち Solaris 8 で初めてサポートされるものは、以下のとおりです。

(コードセット名)	(概要)
ibm930	IBM CCSID 930 SBCS はカタカナと英小文字両方をサポート。SBCS の英小文字に割り当てるコードはコードページ 37 (米国/カナダ) とは異なる。MBCS 中のユーザー定義文字領域は 4370 文字分。
ibm931	IBM CCSID 931 SBCS はカタカナはサポートしない。MBCS は ibm930 と同じ。
ibm939	IBM CCSID 939 SBCS はカタカナと英小文字両方をサポート。SBCS の英小文字に割り当てるコードはコードページ 37 (米国/カナダ) と同じ。MBCS は ibm930 と同じ。
ibm5026	IBM CCSID 5026 MBCS 中のユーザー定義文字領域が 1880 文字分であることを除き ibm930 と同じ。iconv の動作は ibm930 の場合と同じ。
ibm5035	IBM CCSID 5035 MBCS 中のユーザー定義文字領域が 1880 文字分であることを除き ibm939 と同じ。iconv の動作は ibm939 の場合と同じ。

(コードセット名)	(概要)
ms932	このコードセットと他のコードセットの間の変換では WindowsNT 3.51 がマイクロソフトコードページ 932 と Unicode の間で行う変換に基づいた変換を行う。
UTF-8-ms932	ms932 からの変換の結果得られる UTF-8。eucJP、PCK など ms932 以外のコードセットからの変換の結果得られる UTF-8 との間で相互に変換が可能。

[日本語環境のみ] 日本語入力システム ATOK12

日本語入力システムとして ATOK12 が追加されました。ja_JP.UTF-8 ロケールなどの UTF-8 ロケールにおいては、複数言語入力環境での使用にも対応しています。ATOK12 の特長や使い方については、『ATOK12 ユーザーズガイド』、『日本語入力システムの概要とセットアップ』、ATOK12 のオンラインヘルプを参照してください。

サポート中止に関する情報

この章では、製品のサポート中止情報について説明します。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれている『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の内容に加えて、以下の情報が追記されています。

- japanese ロケール
- 日本語入力システム cs00

Solaris 8 でサポートを中止した製品

HotJava ブラウザ

HotJava™ ブラウザのサポートは中止されました。

Solaris Java Development Kit: JNI 1.0 インタフェース

Java Native Interface バージョン 1.0 (JNI 1.0) のサポートは、Solaris Java Development Kit バージョン 1.2 (JDK 1.2) で中止されました。

Solaris Java Development Kit (JDK) では、Java Native Interface バージョン 1.0 (JNI 1.0) のサポートは中止されました。JNI 1.0 は、Native Method Interface (NMI) としても知られています。

Solstice AdminSuite 2.3/AutoClient 2.1

Solstice AdminSuite™ 2.3 ソフトウェアは、Solaris 8 でサポートが中止されました。Solstice AutoClient™ またはディスクレスクライアントを構成するために Solstice AdminSuite 2.3 を実行しようとしても失敗します。これに対処するためのパッチは提供されていません。また、今後リリースされる予定もありません。手動で構成ファイルを編集してディスクレスクライアントを有効にすることは可能ですが、お勧めできません。また、この方法は Sun ではサポートしていません。

LDAP クライアントライブラリ

LDAP (軽量ディレクトリアクセスプロトコル, Lightweight Directory Access Protocol) クライアントライブラリ `libldap.so.3` は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。このライブラリの新しいバージョンである `libldap.so.4` は、IETF (Internet Engineering Task Force) の `ldap-c-api` ドラフトの `draft-ietf-ldapext-ldap-c-api-04.txt` 版に準拠しています。

F3 フォントテクノロジー

Sun のスケーラブルフォント技術である、F3 フォントおよび TypeScaler ラスタライザのサポートは中止されました。Sun は、業界標準のフォント形式である Type1 および TrueType を今後もサポートします。

XGL

XGL のサポートは中止されました。

派生型 `paddr_t`

`sys/types.h` に含まれるデータ型 `paddr_t` は、64 ビットのコンパイル環境ではサポートされません。このデータ型は、現在 32 ビットのコンパイル環境だけで使用できます。

ユーザーアカウントデータのアプリケーションプログラミングインタフェース (API) に対する変更

ユーザーアカウントデータにアプリケーションがアクセスするための API には 2 通りあります。ユーザーアカウント情報にアクセスして処理を行うための API については、`getutxent(3C)` のマニュアルページに記載されています。これらの API は、以前の `getutent(3C)` ルーチンよりも機能が充実し、移植性に優れています。

古いアプリケーションの中には、アカウントファイルに直接アクセスしているものがあります。`/var/adm/utmp` ファイルおよび `/var/adm/wtmp` ファイルと、これらに対応するシンボリックリンク `/etc/utmp` および `/etc/wtmp` は、サポートされなくなりました。これらのファイルに含まれているデータ形式によって、将来の Solaris オペレーティング環境に制限が生じるためです。これらのファイルを使用しているアプリケーションは、文書化されサポートされている API を使用するように更新する必要があります。

小規模なシステム構成上では、すでに `getutent(3C)` ファミリのルーチンを使用しているアプリケーションに影響はありません。ただし将来のリリースで大規模システム構成上で使用された場合に、エラーを返す可能性があります。このため、古いコードと新しいコードの両方において、`getutent(3C)` API ではなく `getutxent(3C)` ルーチンを使用することをお勧めします。

`sysidnis(1M)` システム認識プログラム

`sysidnis(1M)` のサポートは中止されました。`sysidnis(1M)` は、インストール中およびアップグレード中や、`sys-unconfig(1M)` を使用して構成を解除した後に、ネームサービスを構成するためのシステム認識プログラムです。

`sysidnis(1M)` の機能は、`sysidns(1M)` に含まれるようになりました。

コンソールサブシステム

IA システムで動作する Solaris オペレーティング環境のコンソールサブシステムが、新しいサブシステムに変更されました。この新しいサブシステムでは、SPARC システムで動作する Solaris オペレーティング環境のコンソールサブシステムとの互換性が強化され、将来的な拡張性にも優れています。これに伴い、多数の文書化されていないインタフェースやサポートされていないインタフェース、若干の文書化されているインタフェースが、無効になりました。

文書化されているインタフェース:

- `pcmapkeys(1)`
- `loadfont(1)`
- `loadfont(4)`

文書化されていない・サポートされないインタフェース:

- `/usr/include/sys/kd.h` 中にリストされている `ioctl`
- `/usr/include/sys/vt.h` 中にリストされている `ioctl`
- VT に対するサポート
- `/dev/vt*`
- コンソールの端末タイプが AT386 ではなくなりました。新しい端末タイプは `sun-color` です。

ビデオカード

Solaris オペレーティング環境における、次のビデオカードに対するドライバのサポートが中止されました。

- Boca Voyager 64
- Compaq QVision 1024
- Compaq QVision 2000
- FIC 864P
- Everex ViewPoint 64P
- Everex VBA Trio 64P
- Matrox Impression Plus
- Western Digital Paradise Bahamas

sdtudc_extract_ps

sdtudc_extract_ps が廃止され、その機能は sdtudc_extract に統合されました。

将来のリリースでサポートを中止する予定の製品

Solstice AdminTool

Solstice AdminTool™ (admintool) は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。このツールは、ユーザー、プリンタ、ソフトウェアパッケージ、シリアルポート、グループ、ホストの管理を行います。

印刷管理の機能は、Solaris 8 オペレーティング環境で提供されます。printmgr(1M) のマニュアルページを参照してください。

Solstice Enterprise Agents

Solstice Enterprise Agents™ は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。この機能は、Solaris 8 オペレーティング環境に含まれている WBEM (Solaris Web-Based Enterprise Management) サービス機能で提供されます。

XIL

XIL は、将来のリリースではサポートされなくなる予定です。XIL を使用するアプリケーションを使用すると、次のような警告メッセージが表示されます。

```
WARNING: XIL OBSOLESCENCE
This application uses the Solaris XIL interface
which has been declared obsolete and may not be
present in version of Solaris beyond Solaris 8.
Please notify your application supplier.
The message can be suppressed by setting the environment variable
"_XIL_SUPPRESS_OBSOLETE_MSG."
```

crash(1M) ユーティリティ

crash(1M) ユーティリティは、将来の Solaris リリースでサポートされなくなる予定です。システムがクラッシュしたときのダンプファイルを調べる crash ユーティリティの機能は、mdb(1) ユーティリティで提供されます。crash コマンドのインタフェースは、Solaris オペレーティング環境の実装に関係のない細部の実装(スロットなど)の周辺に構成されてきました。

crash から mdb に移行するために、Solaris 8 では crash の各サブコマンドに相当する mdb の構文を示すマニュアルを提供しています。

Kerberos バージョン 4 クライアント

Kerberos バージョン 4 クライアントは、将来のリリースで削除される予定です。これに伴い、以下において Kerberos バージョン 4 はサポートされなくなります。

- kinit(1)、kdestroy(1)、klist(1)、ksrvtgt(1)、mount_nfs(1M)、share(1M)、kerbd(1M) コマンド、
- kerberos(3N) ライブラリ
- ONC RPC プログラミング API (kerberos_rpc(3KRB))

adb(1) マップ修飾子とウォッチポイント構文

adb(1) ユーティリティは、Solaris 8 オペレーティング環境の将来のバージョンにおいて、新しい mdb(1) ユーティリティへのリンクとして実装される予定です。

mdb(1) のマニュアルページでは、adb(1) との互換モードなど、新しいデバッグ機能について説明されています。この互換モードにおいても、adb(1) と mdb(1) の間には、次のような違いがあります。

- mdb(1) では、一部のサブコマンドのテキスト出力形式が異なります。マクロファイルの形式は adb(1) と同じ規則に従っていますが、その他のサブコマンドの出力に依存するスクリプトは、変更しなければならない場合があります。
- ウォッチポイントの長さを指定する構文が、mdb(1) と adb(1) とで異なります。adb(1) のウォッチポイントコマンド :w、:a、:p では、整数の長さをバイト単位で指定してコロンとコマンド文字の間に挿入することができます。mdb(1) では、繰り返し回数として、数値を初期アドレスで指定する必要があります。

- adb(1) コマンドの場合
123:456w
 - mdb(1) コマンドの場合
123,456:w
- mdb(1) では、/m、/*m、?m、?*m 書式指示子はサポートされていないため認識されません。

OpenWindows ツールキット (開発者向き)

OpenWindows™ XView™ と OLIT ツールキットは、将来のリリースでサポートを中止する予定です。必要に応じて、Motif ツールキットに移行できます。警告メッセージが表示されないようにするには、

#define OWTOOLKIT_WARNING_DISABLED または -D を使用してください。

OpenWindows 環境 (一般ユーザー向き)

OpenWindows 環境は、将来のリリースでサポートを中止する予定です。必要に応じて、CDE (共通デスクトップ環境) に移行できます。

フェデレーテッドネーミングサービス (FNS) / XFN のライブラリとコマンド

X/Open XFN 標準に基づく FNS は、将来のリリースでサポートを中止する予定です。

Solaris ipcs(1) コマンド

システムクラッシュ時のダンプに、コマンド行で -c オプションと -N オプションを指定して ipcs(1) コマンドを適用する機能は、将来のリリースではサポートされなくなる予定です。これと同等の機能は、mdb(1) ::ipcs デバッガコマンドで提供されます。

sendmail -AutoRebuildAliases

sendmail (1m) の `-AutoRebuildAliases` オプションは、将来のリリースでサポートされなくなる予定なので、使用しないことをお勧めします。

devconfig

devconfig は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。

デバイスのサポートとドライバソフトウェア

次の表に、将来のリリースでサポートが中止される予定のデバイスとドライバソフトウェアを示します。

表 6-1 デバイスのサポートとドライバソフトウェア

物理デバイス名	ドライバ名	カードの種類
Mylex/Buslogic FlashPoint Ultra PCI SCSI	flashpt	SCSI HBA
Qlogic	hxhn	SCSI HBA
AMI MegaRAID host bus adapter, first generation	mega	SCSI RAID
Madge Token Ring Smart 16/4, Madge Token Ring Smart 16/4 PCI BM Mk2, Madge Token Ring Smart 16/4 PCI BM Mk1, Madge Token Ring PCI Presto	mtok	ネットワーク
Compaq 53C8x5 PCI SCSI, Compaq 53C876 PCI SCSI	cpqncr	SCSI HBA

表 6-1 デバイスのサポートとドライバソフトウェア 続く

物理デバイス名	ドライバ名	カードの種類
Compaq Netelligent 10/100 TX UTP, Compaq Netelligent 10 TX UTP, Compaq Integrated Netelligent controller, Compaq NetFlex3 - Dual Port, Compaq Integrated Netelligent controller, Compaq NetFlex3, Compaq NetFlex3 - TLAN 2.3, Compaq Integrated Netelligent Controller, Compaq Integrated Netelligent Controller, Compaq Integrated Netelligent Controller	cpqcnft	ネットワーク
Compaq SMART-2/P Array Controller, Compaq SMART-2SL Array Controller	smartii	SCSI RAID コントローラ

Intel 486 システム

Intel 486 システムにおける Solaris オペレーティングのサポートは、将来のリリースで中止される予定です。

[日本語環境のみ] japanese ロケール

Solaris 1.x リリースからの移行のために ja (EUC) ロケールの別名として提供されてきた japanese ロケールは、将来のリリースでは提供されません。ただし、BCP アプリケーションは引き続きサポートされます。ログイン環境として japanese ロケールを使用している場合は、ja ロケールに切り替えて使用することをお勧めします。

[日本語環境のみ] libjapanese.a

日本語専用ライブラリ libjapanese.a およびそれに関連する次のヘッダーファイルは、将来のリリースでは提供されません。

- /usr/include/jcode.h
- /usr/include/ibmjcode.h
- /usr/include/jctype.h

- /usr/include/ja/xctype.h

- /usr/include/wstring.h

libjapanese.a を使用しているアプリケーションプログラムは、XPG4.2 などの標準関数を使用して書き換えることをお勧めします。標準関数の使用例は『JFP 開発ガイド』を参照してください。

Solaris 7 および Solaris 8 では、libjapanese.a を使用しているアプリケーションプログラムのソース互換性を保つための代替関数およびマクロを、ソースファイルにて提供します。詳細は、/usr/share/src/libjapanese/README を参照してください。

[日本語環境のみ] 日本語入力システム ATOK8

日本語入力システム ATOK8 は、将来のリリースでは提供されなくなる予定です。ATOK8 の機能は日本語入力システム ATOK12 が提供します。

[日本語環境のみ] 日本語入力システム cs00

日本語入力システム cs00 は、将来のリリースでは提供されなくなる予定です。これに伴い、xci インタフェース、JFP の libmle API、mle コマンドなども提供されなくなる予定です。

マニュアルに関する情報

この章では、Solaris 8 のマニュアルに関する補足・訂正情報や、注意事項について説明します。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれている『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の作成後に見つかった、以下のバグの情報が追記されています。

- 『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』：「Solaris Web Start インストールの変更」で説明されているアップグレードについて
- 『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』と Solaris 8 INSTALLATION CD 中の Kiosk に提供されているマニュアルについて
- バグ ID: 4314213
- バグ ID: 4318868

マニュアルの訂正・補足と注意事項

『Solaris 8 デバイスの構成 (Intel 版)』 『Solaris 8 ハードウェア互換リスト (Intel 版)』 『man pages section 7: Device and Network Interfaces』の adp(7D) と cadp(7D) 『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』

上記のマニュアルには、次に示すような内容の情報が記述されています。

- Adaptec の Ultra デバイスは、cadp ドライバによってサポートされています。
- Adaptec の Ultra デバイスは、PCI ホットプラグ機能をサポートしています。

この情報には一部誤りがあります。以下に訂正・補足情報を示します。

次に示す Adaptec の Ultra SCSI デバイスは、(cadp ドライバではなく) adp ドライバによってサポートされています。

- AHA-2940AU
- AHA-2940U
- AHA-2940U Dual
- AHA-2940UW
- AHA-2940UW Dual
- AHA-2944UW
- AHA-3940AU
- AHA-3940AUW
- AHA-3940AUWD
- AHA-3940U
- AHA-3940UW

これらの Ultra SCSI デバイスは、PCI ホットプラグ機能をサポートしていません。ただし、cadp ドライバによってサポートされている Ultra 2 SCSI デバイスは、PCI ホットプラグをサポートしています。

『Solaris 8 デバイスの構成 (Intel 版)』

以下に、補足情報を記載します。

- SCSI バス構成を設定する時に、wide デバイスを narrow デバイスに接続しないでください。ただし、wide デバイスが narrow デバイスに接続された構成になっている場合は、cadp.conf ファイルに、次に示すエントリを追加してください。

```
target<n>-scsi-options=0x1df8
```

<n> には、narrow バスに接続された wide デバイスのターゲット ID を指定してください。このエントリによって、指定したターゲットに対する wide ネゴ

シエーションが無効になります。また、バスの上位 8 ビットが、SCSI チェーンの両端において正しく終了していることを確認してください。

- Intel 440BX/440GX マザーボードが搭載されているシステムで、インストール時に問題が発生した場合は、マザーボードの BIOS を最新のものにアップグレードしてください。

『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』：「Solaris Web Start インストールの変更」

「インストールとシステム管理」の「Solaris Web Start インストールの変更」に、Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD で Solaris Web Start 3.0 を使用して Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードすることができる」と記述されていますが、これは誤りです。

x86 ベースのシステムを Solaris 8 オペレーティング環境にアップグレードするには、Solaris 8 SOFTWARE 1 of 2 CD を使用してください。

『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』：最新の記載内容

Solaris 8 INSTALLATION (Multilingual) CD の Kiosk には、『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』と同様の内容が記載されているマニュアルが提供されています。ただし、最新の情報は Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) または <http://docs.sun.com> の『Solaris 8 オペレーティング環境の概要』に記載されています。

[日本語環境のみ] セクション 3x の日本語マニュアルページが表示されない (バグ ID: 4274297)

セクション 3x の日本語マニュアルページを表示しようとしてセクション指定オプションなしで man コマンドを実行すると、以下の例に示すように、マニュアルページが表示されません。

例: `jconv(3x)` の場合

```
# man jconv
マニュアルには jconv のエントリがありません。
```

回避方法：セクション 3x のマニュアルページを表示する場合は、man コマンドの実行時に、-s オプションを使用してセクション名 3x を指定してください。

例: jconv(3x) の場合

```
% man -s 3x jconv
マニュアルを清書中です。しばらくお待ちください...
ディレクトリ名は 3curses に変わりました
終了

その他ライブラリ関数                                jconv(3X)

【名前】
jconv, tojupper, tojlower, tojhira, tojkata, atojis, jistoa,
tojjis, kutentojis - ワイド文字の変換

【形式】
#include
int tojupper(int c, ...);
.
.
. <<以降省略>>
```

この回避方法が必要なマニュアルページは、次のとおりです。

libjapanese に関するマニュアルページ

sman3x:		
atojis.3x	isjpunct.3x	tojupper.3x
ceuctoibmj.3x	isrussian.3x	toujis.3x
cibmjtoeuc.3x	isjsoci.3x	ujtojis.3x
cjistosj.3x	isjspace.3x	ujtojis7.3x
cjistouj.3x	isjspecial.3x	ujtojis8.3x
csjtojis.3x	isjunit.3x	ujtosj.3x
csjtouj.3x	isjupper.3x	wstrcat.3x
cujtojis.3x	jconv.3x	wstrchr.3x
cujtosj.3x	jctype.3x	wstrcmp.3x
euctoibmj.3x	jis7tosj.3x	wstrcpy.3x

ibmjcode.3x	jis7touj.3x	wstrcspn.3x
ibmjtoeuc.3x	jis8tosj.3x	wstrdup.3x
isj1bytekana.3x	jis8touj.3x	wstring.3x
isjalpha.3x	jisconv.3x	wstrlen.3x
isjdigit.3x	jistoa.3x	wstrncat.3x
isjgen.3x	jistosj.3x	wstrncmp.3x
isjgreek.3x	jistouj.3x	wstrncpy.3x
isjhankana.3x	kutentojis.3x	wstrpbrk.3x
isjhira.3x	sjtojis.3x	wstrchr.3x
isjis.3x	sjtojis7.3x	wstrspn.3x
isjkanji.3x	sjtojis8.3x	wstrtod.3x
isjkata.3x	sjtouj.3x	wstrtok.3x
isjline.3x	tojhira.3x	wstrtol.3x
isjlower.3x	tojkata.3x	
isjparen.3x	tojlower.3x	

仮名漢字入力変換マネージャライブラリに関するマニュアルページ

man3x			
cm.3x	cm_close.3x	cm_open.3x	cm_put.3x

なお、この例で man コマンド実行時に表示される“ディレクトリ名は 3curses に変わりました”というメッセージは、上記のマニュアルページには該当しないので無視してください。

[日本語環境のみ] マニュアルページ eucJP(5) の訂正事項 (バグ ID: 4302905)

eucJP(5) のマニュアルページの「注意事項」に記述されている情報に誤りがあります。

(誤)

<p>【注意事項】 日本語 EUC で次の範は特別な意味を持ちます。</p>

(続く)

続き

日本語 EUC	文字集合の区域	意味
. <<省略>>		
. SS3 0xf5a1 - 0xfefe		ユーザー定義文字 1 区 - 10 区
. <<省略>>		
. 0xf5a1 - 0xfefe		ユーザー定義文字 11 区 - 20 区

回避方法：正しい情報は次のとおりです。

(正)

日本語 EUC	文字集合の区域	意味
. <<省略>>		
. SS3 0xf5a1 - 0xfefe		ユーザー定義文字 11 区 - 20 区
. <<省略>>		
. 0xf5a1 - 0xfefe		ユーザー定義文字 1 区 - 10 区

なお、AnswerBook2 には、正しい情報が記載されています。「Solaris 8 Reference Manual Collection - Japanese」->「JFP リファレンスマニュアル (5) 標準、環境、マクロ」の eucJP(5) をご覧ください。

[日本語環境のみ] contrast の日本語マニュアルページが提供されている (バグ ID: 4314213)

/usr/openwin/bin/contrast は提供されなくなったのに、その日本語マニュアルページが提供されています。

回避方法：contrast の日本語マニュアルページは無視してください。

[日本語環境のみ] dtpower の日本語マニュアルページが表示されない (バグ ID: 4318868)

日本語ロケール環境で dtpower のマニュアルページを参照する場合、マニュアルページの検索パス (環境変数 MANPATH) の順番で /usr/dt/share/man が /usr/openwin/share/man より先になっていると、英語のマニュアルページが表示されてしまいます。

回避方法：dtpower の日本語マニュアルページを参照するには、MANPATH 環境変数で /usr/openwin/share/man を /usr/dt/share/man より先に指定して下さい。または、以下の方法でも dtpower の日本語マニュアルページを参照できます。

```
% man -M /usr/openwin/man dtpower
```


ドライバ更新情報

この章では、ドライバ更新情報について説明します。

Solaris のドライバ

Sun はシステムと周辺機器の検証を定期的に行なっており、最新の Solaris における互換ハードウェアのリストを提供しています。リリースとリリースとの間に開発された新規ドライバや更新されたドライバは、Solaris のアップデートリリースで出荷されます。Solaris ソフトウェアサブスクリプションを購入されたユーザーには、(スタンドアロンまたはサービス契約の一部として) これらの定期的な Solaris アップデートが自動的に送られます。詳細は、ご購入先にお問い合わせください。

CERT アドバイザリ

この章には、CERT アドバイザリ (2000 年 1 月 6 日現在) のリストを記載します。

次の表に、CERT アドバイザリを示します。

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-96.01	UDP ポートメー ルアタック	Solaris 2.5.1	詳細は CERT アド バイザリを参照
CA-96.03	Kerberos 4 Key Server	なし	詳細は CERT アド バイザリを参照
CA-96.04	ネットワークサー バーからの情報の破 壊	Solaris 2.5.1	Solaris 8 オペレー ティング環境には影 響なし
CA-96.05	Java™	なし	Solaris 8 オペレー ティング環境には影 響なし
CA-96.06	NCSA/Apache CGI	なし	Solaris 8 オペレー ティング環境には影 響なし
CA-96.07	Java バイトコードベ リファイア	なし	詳細は CERT アド バイザリを参照
CA-96.08	PCNFSD	なし	
CA-96.09	rps.statd	Solaris 2.5.1	

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-96.10	NIS+ 構成	Solaris 2.5.1	
CA-96.11	CGI bin のインタープリタ	なし	
CA-96.12	suidperl	なし	
CA-96.13	dip	なし	
CA-96.14	rdist	Solaris 2.6	
CA-96.15	KCMS	Solaris 2.6	
CA-96.16	admintool	Solaris 2.6	
CA-96.17	vold	Solaris 2.6	
CA-96.18	fm_fls	なし	
CA-96.19	expreserve	Solaris 2.5	
CA-96.20	sendmail 資源不足	Solaris 2.6	
CA-96.21	TCP SYN Flood	Solaris 2.6	
CA-96.22	bash	なし	
CA-96.23	workman	なし	
CA-96.24	sendmail デーモンモードの危険性	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-96.25	sendmail グループアクセス権	Solaris 2.6	
CA-96.26	ping	Solaris 2.6	
CA-96.27	HP ソフトウェアインストールプログラム	なし	
CA-97.01	FLEXlm	なし	

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-97.02	HP-UX newgrp	なし	
CA-97.03	csetup	なし	
CA-97.04	talkd	Solaris 2.6	
CA-97.05	MIME 変換バッファオーバーフロー	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-97.06	rlogin-term	Solaris 2.6	
CA-97.07	nph-test	なし	
CA-97.08	innd	なし	
CA-97.09	imap および pop	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-97.10	自然言語	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-97.11	libXt	Solaris 2.6	
CA-97.12	webdist.cgi	なし	
CA-97.13	xlock	Solaris 2.6	
CA-97.14	metamail	なし	
CA-97.15	SGI ログイン	なし	

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-97.16	ftpd	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-97.17	sperl	なし	

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-97.18	at	Solaris 2.6	
CA-97.19	bsdip	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-97.20	Javascript	なし	
CA-97.21	SGI バッファ	なし	
CA-97.22	bind	Solaris 7	
CA-97.23	rdist	Solaris 7	
CA-97.24	Count.cgi	なし	
CA-97.25	CGI_metachar	なし	
CA-97.26	statd	Solaris 2.6	
CA-97.27	FTP bound	Solaris 2.6	
CA-97.28	Teardrop および Land	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-98.01	smurf	なし	詳細は CERT アドバイザリを参照
CA-98.02	CDE	Solaris 7 および Solaris 8	
CA-98.03	ssh-agent	なし	
CA-98.04	Microsoft Windows	なし	
CA-98.05	bind_problems	Solaris 7	
CA-98.06	nisd	Solaris 7	
CA-98.07	PKCS	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-98.08	qpopper_vul	なし	
CA-98.09	imapd	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-98.10	Mime バッファオーバーフロー	Solaris 7	
CA-98.11	tooltalk	Solaris 7	
CA-98.12	mountd	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-99-01	Trojan-TC	なし	
CA-99-02	Trojan-Horse	なし	
CA-99-03	FTP バッファオーバーフロー	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-99-04	Melissa	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-99-05	statd-automountd	Solaris 7 (statd) Solaris 2.6 (automount)	
CA-99-06	exploresip	なし	Solaris 8 オペレーティング環境には影響なし
CA-99-07	IIS バッファオーバーフロー	なし	
CA-99-08	rpc.cmsd	Solaris 8	

CERT アドバイザリ	トピック	修正が実装された OS バージョン	注
CA-99-09	arrayd	なし	
CA-99-10	cobalt.rag2	なし	

Solaris 8 に統合されたパッチ

この章では、Solaris 8 に修正が組み込まれたパッチの情報を記載しています。

次の 2 種類のパッチに関する情報(パッチ ID、説明、パッチによって修正されるバグの ID) を記載しています。

- 正式にリリースされた Solaris 2.4、Solaris 2.5、Solaris 2.5.1、Solaris 2.6、Solaris 7、Solaris 8 のパッチ
- 正式にはリリースされていないが、もっとも新しいパッチ(パッチ ID の先頭に T が付いています)。

Solaris 8 DOCUMENTATION CD (アジア言語版) に含まれている『Solaris 8 ご使用にあたって (Intel 版)』の内容に加えて、以下のパッチ情報が追記されています。

- パッチ ID: 106927-06
- パッチ ID: T107934-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)

パッチ情報 (Intel 版)

パッチ ID: T102467-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: PC-NFSpro Jumbo Patch
説明: PC-NFSpro 1.1.1
SunOS リリース:
関連アーキテクチャ: PC

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 1198027,1190253,1201936,1191168,1194211,1207408
1206393,1206334,1209641,1209350,1183562,1186588,1193065

パッチ ID: T104173-19 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: i18n metatool disk mirror stripe RAID HA AP replica prepatch y2000

説明: Solstice DiskSuite 4.1_x86: Jumbo patch

SunOS リリース: 5.4_x86, 5.5_x86, 5.5.1_x86, 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4007392 4007398 4007403 4007037 4010514 4013935
4014398 4004412 4004551 4005380 4004668 4005880 4006305 1247309 4012852 4012858
4013095 4015009 4016074 4013260 4016847 4016077 1204367 1265579 4004441 1250238
4022285 4023536 4028959 4019273 4041484 4043506 4045398 1258389 1242214 4053955
4056298 4054815 4047436 4055412 4059094 1253394 4115701 4096841 4092580 4088501
4037581 4112296 4107819 1255186 4069629 4071083 4086524 4109132 4125517 4126681
1244863 4057456 4137924 4087555 4094010 4132360 4152800 4165227 4172062 4175562
4180039 4172973 4193723 4190557 4208254 4220034 4243160 4125102 4250383 4253688
4262040 4265511

パッチ ID: 101946-55

キーワード: security y2000 libsocket automountd libc kadb ufs Neutron watchdog ip

説明: SunOS 5.4_x86: Kernel update

SunOS リリース: 5.4_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 1120225 1124354 1130791 1143434 1143479 1145457
1151364 1151509 1151955 1152710 1155298 1157053 1159330 1159986 1160112 1162269
1162834 1163335 1164319 1164519 1164679 1164800 1165675 1165687 1167235 1169686
1169775 1169791 1169909 1170860 1171008 1171478 1171939 1172009 1172243 1172260
1172542 1172710 1172731 1172926 1172979 1172998 1173212 1173301 1173309 1173969
1174222 1174685 1174786 1174830 1174851 1174913 1175115 1175127 1175176 1175304
1175356 1175368 1175478 1175499 1175668 1175931 1176467 1176508 1176618 1177091
1177228 1177469 1177572 1177578 1177600 1178114 1178236 1178391 1178400 1178506
1178641 1178761 1178824 1178835 1178889 1178898 1178957 1178985 1179311 1179403
1179625 1179738 1179884 1180414 1180578 1180819 1181009 1181201 1181259 1181502
1182051 1182105 1182158 1182458 1182492 1182509 1182597 1183395 1183552 1183568
1183662 1184134 1184256 1184991 1185149 1185775 1186156 1186224 1186287 1186420
1186557 1186569 1186805 1187322 1187536 1187901 1187948 1188259 1188287 1188307
1188399 1188475 1188701 1188790 1189271 1189389 1189592 1189967 1189968 1191078
1191422 1191457 1192162 1192238 1192309 1192982 1193066 1193448 1193696 1193721
1194355 1194613 1194878 1194923 1194928 1195432 1195436 1195437 1195904 1196541
1197596 1197646 1197708 1197979 1198215 1198278 1198439 1198966 1199124 1199164
1199579 1199624 1200224 1200502 1201355 1201926 1202070 1202675 1203090 1203132
1203471 1204479 1205240 1205409 1205731 1206384 1206598 1206642 1206850 1207181
1207277 1207669 1207954 1208034 1208053 1208241 1209012 1209014 1209452 1209687
1209917 1210314 1210355 1211022 1211172 1211278 1211904 1212472 1212910 1213782
1213874 1214043 1214057 1214320 1215792 1216540 1217050 1217220 1217941 1218997
1219020 1219295 1219671 1219766 1220257 1220400 1220886 1220995 1221608 1221620
1221966 1222086 1222599 1222780 1222902 1223853 1223882 1223900 1224074 1224089
1224148 1224737 1226653 1226919 1226938 1227360 1227376 1227426 1227580 1229031
1229805 1229843 1231720 1231871 1231997 1232577 1232825 1232838 1232866 1232869
1233049 1233088 1233719 1233827 1234307 1234450 1234879 1235099 1236149 1236638
1238343 1238582 1240151 1240331 1241056 1241118 1241282 1241611 1242188 1242481
1244088 1244917 1244971 1245291 1245300 1245602 1245703 1246408 1247172 1248090
1248446 1248840 1249319 1249667 1249829 1250127 1250937 1251423 1252967 1253223

(続く)

続き

1255435 1255536 1255623 1256610 1258151 1259279 1260593 1260769 1260873 1260959
1261245 1261934 1262082 1262095 1262096 1262694 1265000 1265447 1265930 1266278
1267082 4004147 4004575 4007937 4009069 4010565 4011495 4011648 4015367 4015495
4016973 4017242 4019260 4022354 4022478 4022642 4026339 4026740 4027336 4028300
4029401 4029971 4032974 4034353 4034355 4034868 4035845 4036063 4036589 4036676
4036746 4038317 4039071 4039165 4039792 4040476 4041518 4043953 4045229 4045522
4050818 4057818 4058892 4058904 4059736 4062572 4067374 4080226 4095455 4104868
4105140 4105997 4125102 4135542 4144921 4157655 4165597 4167968 4174228 4175558
4190645 4196391 4197316 4242224

パッチ ID: T101960-19 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security lpsched lpadmin lpstat lpnet lpd lp.cat catv y2000

説明: SunOS 5.4_x86: lp jumbo patch

SunOS リリース: 5.4_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 1115847 1119361 1120640 1128962 1129221 1145524

1147605 1148312 1169421 1169551 1170808 1170857 1171055 1174175 1177184 1178138

1178451 1178530 1179396 1183524 1184931 1187515 1189176 1200103 1200306 1201425

1202237 1202891 1208295 1210044 1210216 1210760 1211026 1214993 1220835 1221750

1222271 1223153 1224086 1224549 1228202 1230941 1231385 1233047 1237991 1241998

1249064 1255967 1257405 1258376 1260585 1261137 1262253 1263668 1263675 1263686

4004517 4006868 4007891 4008193 4012285 4022904 4030199 4049134 4061420 4061486

4061499 4063076 4063506 4075350 4077613 4077986 4079274 4081706 4086199 4094908

4137389 4139071 4152678 4156106 4189368 4220608 4231623

パッチ ID: 101890-15

キーワード: security xvview coredump PANEL_LIST_MODE readonly TEXTSW_FIRST_LINE

説明: OpenWindows 3.4_x86: Xview Patch

SunOS リリース: 5.4_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 1169106 1172369 1170478 1173416 1195873 1195849

1198438 1197701 1194201 1205013 1107827 1192027 1227357 1236244 1254876 4008132

4073660 4071109 4141064

パッチ ID: 102480-11

キーワード: security DNS libresolv.so.2 CERT BIND 4.9.3 in.named named-xfer

説明: SunOS 5.4_x86: libresolv in.named named-xfer nslookup & nstest patch

SunOS リリース: 5.4_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 1178808 1238679 1247019 1265838 1266187 4008451

4018620 4037068 4038360 4056997 4068577 4071167 4127017 4127028 4133571 4134616

パッチ ID: 102031-08

キーワード: security y2000 schedule manager calendar ToDo core day light savings

説明: OpenWindows 3.4_x86: Calendar Manager patch

SunOS リリース: 5.4_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 1176208 1166305 1173071 1167466 1237854 4047146

4049725 4045161 4052365 1175511 4048417 4048634 4230754 1265008

パッチ ID: T102139-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: cpio truncate core pass permissions modification times symlink

(続く)

説明: SunOS 5.4_x86: cpio fixes
 SunOS リリース: 5.4_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1173917 1202134 4013356 4104534 4231078 4248026

パッチ ID: 106991-01
 キーワード: security uux buffer overflow
 説明: SunOS 5.4_x86: uux has buffer overflow problems
 SunOS リリース: 5.4_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4179980

パッチ ID: 106962-01
 キーワード: security man catman 775 temp
 説明: SunOS 5.4_x86: /usr/bin/apropos patch
 SunOS リリース: 5.4_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4107178 4154565

パッチ ID: 107495-01
 キーワード: y2000 runacct loginlog
 説明: SunOS 5.4_x86: Y2000, runacct cannot update /var/adm/acct/sum/loginlog
 SunOS リリース: 5.4_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4212054

パッチ ID: 103641-30
 キーワード: security y2000 kernel klmmod threads ufs RPC NFS libc NIS+ libnsl ACL
 説明: SunOS 5.5.1_x86: kernel, nisopaccess, & libthread patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1159865 1168376 1171284 1182705 1189481 1196541
 1199624 1202807 1206421 1208460 1212953 1212974 1213016 1215792 1219671 1221809
 1223323 1223326 1223900 1225324 1225430 1227376 1227580 1230570 1232758 1232825
 1233049 1233088 1233514 1234450 1234630 1234968 1235867 1237009 1237898 1238241
 1238582 1239385 1240234 1241118 1241816 1242188 1242395 1242408 1243441 1244088
 1244872 1244917 1244958 1245291 1245451 1245602 1246045 1246630 1246864 1247052
 1247172 1247572 1248090 1248161 1248930 1249373 1249903 1250351 1250620 1250937
 1251000 1251423 1251430 1251879 1253366 1253810 1255272 1255623 1256610 1258151
 1258191 1258802 1258916 1259200 1259392 1259585 1259984 1260766 1260769 1260873
 1260959 1260982 1262082 1262462 1262666 1262694 1262979 1263059 1263251 1263924
 1264333 1264646 1264708 1265000 1265170 1265396 1265447 1265785 1265970 1266278
 1266767 1267447 4004147 4004575 4004823 4005483 4005615 4005653 4006674 4007542
 4007937 4009069 4010116 4010606 4010935 4011495 4011866 4011948 4015176 4015191
 4015367 4015497 4015891 4016316 4016724 4016961 4017705 4017750 4017770 4018801
 4018883 4018887 4019380 4022240 4022299 4022354 4022682 4022849 4024599 4024647
 4025548 4025665 4026118 4026339 4026411 4026740 4026789 4026833 4027360 4027442
 4027493 4028339 4028676 4029971 4030045 4030151 4030258 4032761 4032974 4034003
 4034585 4035012 4035167 4035202 4035403 4035845 4036063 4036589 4037755 4038653
 4038854 4039365 4040036 4040423 4041518 4041542 4042372 4042883 4043953 4044980
 4045229 4045268 4050818 4051082 4051590 4051899 4052565 4052568 4052812 4054308
 4054742 4055201 4055257 4055677 4055704 4055715 4055724 4055727 4056222 4057135
 4057606 4058892 4058904 4059736 4060416 4060451 4060465 4061229 4061967 4062430

(続く)

続き

4062572 4062999 4063668 4063932 4064495 4065248 4067374 4067569 4067641 4069641
4070968 4072815 4073684 4075462 4077343 4079241 4079302 4080264 4082436 4083720
4085394 4086905 4087112 4089644 4091822 4092407 4096789 4097082 4097367 4098943
4099656 4100047 4102420 4105997 4110026 4110785 4118037 4119745 4120985 4122408
4125102 4127727 4128660 4129064 4129188 4131439 4134299 4135388 4136059 4136726
4137387 4139126 4139462 4140617 4141709 4145354 4146445 4147079 4149227 4149597
4150947 4152975 4153452 4155392 4157559 4157739 4162491 4165597 4169614 4170410
4173285 4175558 4179269 4182028 4182861 4184623 4186012 4188005 4189981 4190645
4192195 4194505 4196986 4205959 4207409 4208677 4209710 4209713 4220295 4233071
4242270

パッチ ID: T103641-30 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security kernel klmmod threads ufs y2000 RPC NFS libc NIS+ libnsl ACL

説明: SunOS 5.5.1_x86: kernel, nisopaccess, & libthread patch

SunOS リリース: 5.5.1_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 1159865 1168376 1171284 1182705 1189481 1196541

1199624 1202807 1206421 1208460 1212953 1212974 1213016 1215792 1219671 1221809
1223323 1223326 1223900 1225324 1225430 1227376 1227580 1230570 1232758 1232825
1233049 1233088 1233514 1234450 1234630 1234968 1235867 1237009 1237898 1238241
1238582 1239385 1240234 1241118 1241816 1242188 1242395 1242408 1243441 1244088
1244872 1244917 1244958 1245291 1245451 1245602 1246045 1246630 1246864 1247052
1247172 1247572 1248090 1248161 1248930 1249373 1249903 1250351 1250620 1250937
1251000 1251423 1251430 1251879 1253366 1253810 1255272 1255623 1256610 1258151
1258191 1258802 1258916 1259200 1259392 1259585 1259984 1260766 1260769 1260873
1260959 1260982 1262082 1262462 1262666 1262694 1262979 1263059 1263251 1263924
1264333 1264646 1264708 1265000 1265170 1265396 1265447 1265785 1265970 1266278
1266767 1267447 4004147 4004575 4004823 4005483 4005615 4005653 4006674 4007542
4007937 4009069 4010116 4010606 4010935 4011495 4011866 4011948 4015176 4015191
4015367 4015497 4015891 4016316 4016724 4016961 4017705 4017750 4017770 4018801
4018883 4018887 4019380 4022240 4022299 4022354 4022682 4022849 4024599 4024647
4025548 4025665 4026118 4026339 4026411 4026740 4026789 4026833 4027360 4027442
4027493 4028339 4028676 4029971 4030045 4030151 4030258 4032761 4032974 4034003
4034585 4035012 4035167 4035202 4035403 4035845 4036063 4036589 4037755 4038653
4038854 4039365 4040036 4040423 4041518 4041542 4042372 4042883 4043953 4044980
4045229 4045268 4050818 4051082 4051590 4051899 4052565 4052568 4052812 4054308
4054742 4055201 4055257 4055677 4055704 4055715 4055724 4055727 4056222 4057135
4057606 4058892 4058904 4059736 4060416 4060451 4060465 4061229 4061967 4062430
4062572 4062999 4063668 4063932 4064495 4065248 4067374 4067569 4067641 4069641
4070968 4072815 4073684 4075462 4077343 4079241 4079302 4080264 4082436 4083720
4085394 4086905 4087112 4089644 4091822 4092407 4096789 4097082 4097367 4098943
4099656 4100047 4102420 4105997 4110026 4110785 4118037 4119745 4120985 4122408
4125102 4127727 4128660 4129064 4129188 4131439 4134299 4135388 4136059 4136726
4137387 4139126 4139462 4140617 4141709 4145354 4146445 4147079 4149227 4149597
4150947 4152975 4153452 4155392 4157559 4157739 4165597 4169614 4170410 4173285
4175558 4179269 4182028 4182861 4184623 4186012 4188005 4189981 4190645 4192195
4194505 4196986 4205959 4207409 4208677 4209710 4209713 4220295 4233071 4242270

パッチ ID: 103581-24

キーワード: security telnet ftp single tcp NDD web RTO FIN ack TLI delay output

説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/drv/tcp and /usr/bin/netstat patch

SunOS リリース: 5.5.1_x86

関連アーキテクチャ: i386

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 1182957 1206850 1233827 1248840 1249829 1250411
1259524 1261245 4005586 4011648 4015495 4017242 4022642 4034353 4034355 4043513
4052115 4069902 4089811 4128642 4143932 4178455 4205451 4217171 4273072

パッチ ID: T103581-23 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security telnet ftp single tcp NDD web RTO FIN ack TLI delay output
説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/drv/tcp and /usr/bin/netstat patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1182957 1206850 1233827 1248840 1249829 1250411
1259524 1261245 4005586 4011648 4015495 4017242 4022642 4034353 4034355 4043513
4052115 4069902 4089811 4128642 4143932 4178455 4205451 4217171

パッチ ID: 103595-19
キーワード: security sendmail V8 HP openmail BIND 4.9.3 libresolv.so.2 web
説明: SunOS 5.5.1_x86: sendmail fixes
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1241168 1241841 1242930 1244027 1245185 1246623
1247867 1249090 1249900 1252530 1252675 1253584 1258420 1261561 1265017 1265313
1267313 4011634 4015151 4017798 4018487 4018511 4022409 4027534 4028707 4030794
4034927 4035001 4037078 4069756 4072035 4086447 4087808 4132274 4167931 4167953
4171646 4175384 4204832 4214268 4215670

パッチ ID: 103664-15
キーワード: security DNS libresolv.so.2 CERT BIND in.named named-xfer nss_dns.so.1
説明: SunOS 5.5.1_x86: libresolv in.named named-xfer nslookup & nstest patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1238679 1247019 1253600 1264386 1265838 1266187
4007986 4008451 4018620 4037068 4038360 4056997 4068577 4071167 4081667 4127017
4127028 4133340 4133571 4134616 4149227

パッチ ID: 103631-15
キーワード: security ip tcp retransmit web RTO ifconfig arp udp icmp ping
説明: SunOS 5.5.1_x86: ip ifconfig arp udp icmp patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1166108 1226653 1226919 1233827 1240331 1248446
1259279 1262096 4012051 4019260 4033047 4034832 4034845 4040423 4057459 4105140
4242224

パッチ ID: 103559-15
キーワード: security y2000 2.5.1_x86 admintool swmtool solstice launcher
説明: SunOS 5.5.1_x86: admintool/launcher fixes + swmtool fixes & y2000
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1249230 1261309 1262880 4011747 4023855 1152466
4051928 4059125 4051713 4132731 4169135 4162324 4162298

パッチ ID: T103739-13 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security syslogd core lookup EUC ja 8-bit limit pipe HUP loghost

(続く)

続き

説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/sbin/syslogd patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1139854 1244433 1249320 4011494 4028379 4051639
4101189 4102460 4107954 4140423 4154248 4203000 4205815 4260439

パッチ ID: T103691-13 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security cron NIS NFS stat initgroups fields crontab memory y2000 atq
説明: SunOS 5.5.1_x86: cron/crontab/at/atq/atrm patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1178638 1230784 1233296 1255421 1258772 1265200
4037608 4063161 4099944 4106673 4173122 4176667 4177427 4184825 4204116 4226756

パッチ ID: T104241-13 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security y2000 SUNWxwplt libX11 Xsun Xserver char DND font ffb
説明: OpenWindows 3.5.1_x86: Xsun Patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1210990 4006666 1266793 4062802 4077223 4156993
4152947 4067299 4143461 4178868 4145697 4192179 4184297 4036289 4048352 4162373
4211145 4202465 4200108

パッチ ID: 104641-12
キーワード: security Xview cmdtool
説明: OpenWindows 3.5.1_x86: Xview Patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1229317 4006246 4031809 4050254 4008132 4073660
4071109 4048398 4103268 4128204 1260631 4141064

パッチ ID: T103628-11 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security dlsym symbol ld.so.1 libld.so.2 archive SHF_EXCLUDE ar ufs
説明: SunOS 5.5.1_x86: linker patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1046594 1056449 1182346 1244333 1247793 4008477
4044285 4050759 4052067 4058928 4062757 4064724 4066815 4067926 4068108 4069849
4074398 4075643 4079003 4079633 4081897 4084466 4085036 4085734 4088306 4092335
4092511 4092633 4093064 4095586 4096079 4096995 4097806 4099108 4099127 4099713
4100002 4102130 4102797 4104963 4105877 4106398 4107294 4107525 4108699 4108808
4110994 4112585 4114006 4116970 4118404 4121152 4121546 4122351 4124773 4126137
4127674 4128742 4128755 4129745 4134302 4134367 4135749 4141174 4143820 4145987
4149227 4150646 4153501 4156854 4158744 4159122 4160709 4161775 4165899 4168556
4173576 4174468 4176579 4176796 4179880 4188527 4188843 4205087 4214980 4238973
4254246

パッチ ID: 103604-11
キーワード: security ftp nfs memory leak getreply nmap domap rsh in.ftpd client

(続く)

説明: SunOS 5.5.1_x86: ftp, in.ftpd, in.rexecd and in.rshd patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1144333 1198215 1246408 1249667 1251275 1255435
 1256632 4066864 4080226 4104868 4193146 4197316

パッチ ID: T103960-10 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: security lpNet lpsched lpr get_status lpstat lpq lpc standard y2000
 説明: SunOS 5.5.1_x86: lp patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1221750 1233047 1237991 1241998 1249064 1255967
 1257405 1258376 1260585 1261137 1262253 1263668 1263675 1263686 4004517 4006868
 4007891 4008193 4012285 4022904 4030199 4049134 4061420 4061486 4061499 4063076
 4063506 4075350 4077613 4077986 4079274 4081706 4086199 4094908 4137389 4139071
 4152678 4156106 4189368 4220608 4231623

パッチ ID: T104848-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: cachefs do_unmount NFS vfstlist mutex GETATTR VOP_GETATTR UDP deadlock
 説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/fs/cachefs patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1244173 4026118 4028574 4035845 4057249 4085452
 4089083 4104673 4116501 4170190 4216501

パッチ ID: T104381-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: cpio link permission ustar format bar compress EOF EOM options
 説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/bin/cpio patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1180470 1221619 4006255 4013356 4015440 4033696
 4072520 4104534 4231078 4248026

パッチ ID: T103892-07 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: ksh source hang exit rksh limit array element rsh history
 説明: SunOS 5.5.1_x86: ksh and rksh patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1234016 1241955 4037786 4040543 4049359 4077048
 4265262

パッチ ID: T104561-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: HSFS structs panic ISO-9660 CD filename swinstall
 説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/fs/hsfs patch
 SunOS リリース: 5.5.1_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4022426 4079732 4101513 4101516 4124157 4141713
 4218422

パッチ ID: T104780-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: st.conf tape Python TANDBERMLR1 C1537A PYTHON 28388 DAT
 説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/drv/st.conf and st patch

(続く)

続き

SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4039104 4073386 4084603 4088387 4194536 4249628
4265521

パッチ ID: T105127-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security y2000 mailtool core dump mail spool patch attachment sort NFS
説明: OpenWindows 3.5.1_x86: mailtool patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1222943 4012924 4006442 4050471 4153829 4170200
4141194 4296268

パッチ ID: T105078-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security fifofs threads hang O_RDONLY O_RDWR panic kmem_flags I_PEEK
説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/fs/fifofs patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4050461 4090929 4149694 4166116 4211236

パッチ ID: 104874-04
キーワード: security uuicico uustat y2000 uucp file forward cu 8bit locale uux
説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/bin/uustat and other uucp fixes
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1227543 1265086 4057798 4179980

パッチ ID: T104653-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: tar options flag root 100 characters exit
説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/sbin/tar patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1265419 4026797 4029350 4050880 4054403 4056329
4064161 4064315 4118310

パッチ ID: T103735-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: msgsys SYS V mutex global message mutex_exit msgsnd
説明: SunOS 5.5.1_x86: /kernel/sys/msgsys patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1180075 4058214 4107055

パッチ ID: 104579-03
キーワード: pkgadd ASET pkginstall
説明: SunOS 5.5.1_x86: pkginstall patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4008427 4190246 4247895

パッチ ID: 105124-03
キーワード: security y2000 cm rpc.cmsd
説明: OpenWindows 3.5.1_x86: Calendar Manager patch

(続く)

続き

SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1265008 4047146 4049725 4052365 4048417 1175511
4048634 4045161 4230754

パッチ ID: T105805-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: compress exit 2-GB fails HP-UX filesystems
説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/bin/compress patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4089696 4217213

パッチ ID: 106549-02
キーワード: fontserver EAGAIN hang select
説明: OpenWindows 3.5.1_x86: Font Server patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4148667

パッチ ID: T106993-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: ucblinks PCI cdroms
説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/ucb/ucblinks patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4161576

パッチ ID: 106906-01
キーワード: security apropos catman man whatis
説明: SunOS 5.5.1_x86: apropos/catman/man/whatis patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4107178 4154565

パッチ ID: 107757-01
キーワード: security mode permission symlink files
説明: SunOS 5.5.1_x86: /usr/bin/pax patch
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4061087

パッチ ID: 107529-01
キーワード: df lofs mount
説明: SunOS 5.5.1_x86: df -o i" fails for lofs mounted directories
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4211712

パッチ ID: 107525-01
キーワード: y2000 runacct loginlog
説明: SunOS 5.5.1_x86: Y2k runacct cannot update /var/adm/acct/sum/loginlog
SunOS リリース: 5.5.1_x86
関連アーキテクチャ: i386

(続く)

このパッチで修正されるバグ ID: 4212054

パッチ ID: T106872-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: security SNMP snmpdx mibiisa mib trap mibcodegen ifSpeed vge FDDI
 説明: Solstice Enterprise Agent 1.0.3: SNMP.
 SunOS リリース: 5.5.1_x86 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4237139 4189025 4218931 4219323 4208419 4233051
 4211850 4224859 4178419 4171108 4172607 4144431 4176076

パッチ ID: T107056-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: mibcodegen sdk SDK SUNWsasdk trap
 説明: Solstice Enterprise Agent 1.0.3: For SNMP and DMI Toolkit SUNWsasdk
 SunOS リリース: 5.5.1_x86 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4189025 4218931 4186361

パッチ ID: 103188-43
 キーワード: security y2000 libnsl rpc.nisd nis_cachemgr bootparam automountd
 説明: SunOS 5.5_x86: libc, libnsl, libucb, nis_cachemgr and rpc.nisd patch
 SunOS リリース: 5.5_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1160090 1189481 1211172 1212974 1213016 1216036
 1219671 1221809 1223323 1223326 1223383 1224057 1225430 1228254 1229805 1230570
 1232010 1232758 1233625 1234558 1234630 1235042 1235501 1235867 1236423 1236442
 1238038 1240224 1242395 1242968 1244872 1244917 1245451 1246630 1246864 1247052
 1248090 1249373 1249903 1255623 1258916 1259200 1262462 1262666 1264708 1265785
 4005483 4011495 4016724 4022240 4022299 4025665 4028300 4029971 4030045 4045229
 4045268 4045522 4050818 4057606 4067374 4080264 4085394 4095455 4102420 4105997
 4118037 4135388 4139126 4165597 4175558 4184623 4190645

パッチ ID: 103170-15
 キーワード: security pkt_len ip ifconfig panic tcp ping checksum NFS write fddi
 説明: SunOS 5.5_x86: arp,ip,udp,icmp driver, and ifconfig fixes
 SunOS リリース: 5.5_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1166108 1188307 1224089 1224148 1226653 1226919
 1232866 1233827 1240331 1248446 1259279 1262096 4019260 4105140 4242224

パッチ ID: T102965-13 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: security lpsched lpNet get_status lpr lpstat lpq lpc lp.cat y2000
 説明: SunOS 5.5_x86: lp jumbo patch
 SunOS リリース: 5.5_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 1202891 1210044 1210216 1210760 1214993 1220835
 1221750 1222271 1223153 1224086 1224549 1228202 1230941 1231385 1233047 1237991
 1241998 1249064 1255967 1257405 1258376 1260585 1261137 1262253 1263668 1263675
 1263686 4004517 4006868 4007891 4008193 4012285 4022904 4030199 4049134 4061420
 4061486 4061499 4063076 4063506 4075350 4077613 4077986 4079274 4081706 4086199
 4094908 4137389 4139071 4152678 4156106 4189368 4220608 4231623

パッチ ID: 103668-11

(続く)

続き

キーワード: security DNS libresolv.so.2 CERT BIND 4.9.3 in.named nss_dns.so.1
説明: SunOS 5.5_x86: libresolv, in.named, named-xfer, nslookup & nstest patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1238679 1247019 1253600 1264386 1265838 1266187
4007986 4008451 4018620 4026266 4037068 4038360 4056997 4068577 4071167 4127017
4127028 4133571 4134616

パッチ ID: 103578-10
キーワード: security ftp nfs leak core getreply domap rsh rexec in.ftpd PASV
説明: SunOS 5.5_x86: ftp, in.ftpd, in.rexecd and in.rshd patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1198215 1241282 1246408 1249667 1251275 1255435
4066864 4080226 4104868 4197316

パッチ ID: T103254-09 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: ksh script hang pipe rksh child SIGCHLD limit array traps
説明: SunOS 5.5_x86: ksh fixes
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1225791 1234016 1235177 1241955 4037786 4041092
4265262

パッチ ID: 103273-07
キーワード: security y2000 year 2000 calendar month view
説明: Openwindows 3.5_x86: Calendar manager patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1231488 1237854 1265008 4052365 4045161 4049725
4047146 1175511 4052365 4230754

パッチ ID: T102840-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security y2000 mailtool sort
説明: OpenWindows 3.5_x86: Mailtool patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1210714 1222943 4017858 4050471 4153829 4170200
4296268

パッチ ID: T104890-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security uucico uustat y2000 uucp forwarding cu 8bit locale uux
説明: SunOS 5.5_x86: /usr/bin/uustat and other uucp fixes
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1227543 1265086 4057798 4164924 4179980

パッチ ID: 102851-05
キーワード: security OLIT TextWidgetClass ScrolledWindow FileChooser resize drag
説明: OpenWindows 3.5_x86: OLIT Jumbo Patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 1190728 1213006 1180530 4016104 4023131 4008133
4163121

パッチ ID: T104386-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: cpio pass permissions ustar format compress bar EOF EOM path core
説明: SunOS 5.5_x86: /usr/bin/cpio patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1180470 4006255 4013356 4072520 4104534 4231078
4248026

パッチ ID: 104242-05
キーワード: security y2000 SUNWxwplt libX11 Xsun Xserver kill crash
説明: OpenWindows 3.5_x86: Server (Xsun, libX11, xterm) Patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1210990 4006666 1266793 4077223 4048352 4036289
4184297 4102279

パッチ ID: 102833-04
キーワード: security Xview fullscreen PANEL_TEXT TEXTSW PANEL_VALUE numLock kanji
説明: OpenWindows 3.5_x86: Xview Patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1195849 1206632 1197701 1190675 1205013 1107287
1189000 1192027 1194201 1229317 4048398 4069717 4008132 4073660 4071109 4141064

パッチ ID: 106908-01
キーワード: security catman whatis man apropros
説明: SunOS 5.5_x86: catman/whatis/man/apropros patch
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4107178 4154565

パッチ ID: 107755-01
キーワード: security mode permission symlink files
説明: SunOS 5.5_x86: Pax incorrectly change mode of symlink target file
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4061087

パッチ ID: 107527-01
キーワード: y2000 runacct loginlog
説明: SunOS 5.5_x86: Y2000, runacct cannot update /var/adm/acct/sum/loginlog
SunOS リリース: 5.5_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4212054

パッチ ID: T106628-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: md mediator panic md_mirror top_end_async
説明: Solstice DiskSuite 4.2_x86: Jumbo patch
SunOS リリース: 5.6_x86, 5.7_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4176644 4175562 4190557 4193723 4208254 4152073
4221998 4232353 4243160 4125102 4250383 4253688 4262040 4265511 4182141

パッチ ID: T105285-27 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: list drag leak loop scale watchmalloc libXm.so.3 SEGV
説明: Motif 1.2.7_x86: Runtime library patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4049745 4061062 4097852 1239345 4079921 4120546
4117305 4115705 4093223 4113997 4131824 4122047 4116233 4155857 4159034 4149711
4171291 4170491 4162369 4165677 4171723 4174322 4183749 4186734 4186826 4128879
4191550 4197157 4197929 4197924 4207929 4209526 4211104 4219810 4226996 4224885
4240553 4247649

パッチ ID: T105211-27 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security y2000 watchmalloc libc readdir SIGCHLD pthread_cancel
説明: SunOS 5.6_x86: libaio, libc & watchmalloc patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1199039 1256914 4025238 4052568 4055257 4067374
4075686 4079059 4079320 4089406 4089981 4097441 4102420 4104740 4110771 4112035
4118037 4118295 4118653 4127014 4127727 4128660 4132657 4136059 4146098 4155392
4162491 4166495 4175558 4184623 4188005 4190645 4192195 4220394 4227724 4231212
4240566

パッチ ID: T105402-25 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security rpcinfo libnsl lookup ypbind.pid clients rpc.nisd RPC buffer
説明: SunOS 5.6_x86: libnsl and NIS+ commands patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1168376 1189481 1225430 4055704 4055715 4055724
4055727 4062999 4075462 4076999 4080264 4082712 4084813 4085079 4085394 4098943
4103308 4105286 4111288 4117516 4122273 4126638 4135388 4139126 4140617 4152002
4153703 4157559 4161969 4162879 4186012 4216240 4233192 4240463 4246959

パッチ ID: T106248-22 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security Xflush() visual libfont argument OPENGL thai xdm memory
説明: OpenWindows 3.6_x86: Xsun patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4248958 4066985 4060341 4108134 4124705 4115146
4166329 4165762 4166153 4156993 4095459 4157641 4067299 4149801 4183231 4145697
4192179 4168571 4184889 4178200 4208458 4162373 4209569 4136721 4102279 4234976
4092685 4232363 4109097 4231879 4262197 4255571 4233140

パッチ ID: T105622-21 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security y2000 ITSEC libbsm auditreduce audit_event cron
説明: SunOS 5.6_x86: libbsm and cron patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1119287 1193651 1216725 1216726 1216727 1216728

(続く)

続き

1216729 1216730 1216732 1216734 1216735 1216744 1216745 1216746 1221605 1227748
1243241 1243610 4009174 4030300 4053536 4056290 4063161 4086268 4087559 4091316
4094608 4095152 4098820 4099355 4099528 4099944 4100414 4106673 4111104 4120368
4144921 4151799 4153132 4155708 4162300 4166626 4172702 4176667 4177427 4180250
4183947 4184825 4188193 4194454 4196408 4196541 4204116 4207210 4218800 4226756

パッチ ID: T105704-19 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security SIGHUP core memory PAM garbage Corona killed dtl screen PAM
説明: CDE 1.2_x86: dtlogin patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4093449 4091713 4093361 4143011 4150575 4094335
4080371 4148983 4143597 4154520 4178402 4178408 4178415 4178431 4184874 4189472
4190072 4190214 4149575 4205939 4225029 4225037 4213502 4236871 4239275 4240836
4248888 4250335 4237848 4259869 4263325 4273928 4267545 4275495 4185947

パッチ ID: T105182-17 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security kernel MP sigtimewait FFB2 VOP_REALVP sockfs klmmod sigintr
説明: SunOS 5.6_x86: kernel update patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1237009 4043763 4056222 4061229 4062572 4063932
4064495 4065248 4065762 4066897 4067568 4067641 4070968 4073684 4076062 4077343
4086905 4087112 4089451 4090862 4090929 4093346 4095411 4097082 4098732 4099437
4099656 4101647 4106093 4108806 4110763 4114176 4115010 4115793 4117624 4117898
4119193 4119498 4119745 4120985 4122292 4122408 4122490 4122617 4125102 4125580
4128397 4131439 4132927 4139770 4144929 4147079 4148073 4162055 4170500 4176940
4178298 4179269 4179342 4184291 4184430 4191544 4195612 4195726 4198942 4200217
4202680 4205009 4205026 4206401 4208677 4211474 4214611 4220295 4222164 4226963
4229582 4229608 4232237 4242754 4246455 4261612

パッチ ID: T105569-17 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: sigtimedwait libthread SIGTERM SIGALRM SIGLWP pthread_cancel UNBOUND
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/libthread.so.1 patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1171284 4052568 4061436 4061967 4068431 4074769
4079302 4088215 4094736 4100047 4102420 4104703 4106127 4110026 4110816 4137254
4141709 4173285 4213647 4220253 4229175 4234139 4237201

パッチ ID: 105584-14
キーワード: boot bootconf node pci
説明: SunOS 5.6_x86: bootconf patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4189940 4159270 4136751 4128493 4102940 4081350
4160860 4182547 4121459 4114471 4113323 4107170 4101331 4101330 4101329 4101105
4101099 4101070 4100908 4100580 4100383 4099946 4099935 4098588 4098295 4098173
4098119 4097136 4097078 4096883 4096498 4096152 4096086 4096085 4095845 1180907
1196659 1226565 1226684 1233910 1252123 1258209 1260628 1266558 3002515 4005051
4009203 4018981 4022634 4029610 4032917 4033000 4034434 4035475 4041580 4043277
4044931 4045667 4045847 4046009 4059183 4077606 4077610 4083059 4083132 4086821

(続く)

続き

4086879 4089025 4089964 4090516 4090527 4090714 4090731 4091127 4091293 4092478
4092844 4093448 4093804 4094495 4094505 4095154 4095391 4095689

パッチ ID: T105803-13 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security libtt leak tt_open display core hang TT_SESSION enhanced
説明: OpenWindows 3.6_x86: ToolTalk patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1234927 4100289 4115735 4141128 4164808 4153078
4171550 4172282 4229531 4204015 4260867 4278349

パッチ ID: 106041-13
キーワード: IM OM htt xlibi18n locale.alias locale.dir compose.dir ximp40
説明: SunOS 5.6_x86: X Input & Output Method patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4080186 4097754 4109758 4094015 4128553 4050286
4067081 4061479 4111022 4119760 4145137 4059622 4156120 4156604 4181244 4179151
4225501 4244854 4247250 4262269 4281297 4274243 4253988

パッチ ID: T105573-11 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: df unmount vfs_minfrags i_contents ufs_si_load ufs_check_lockfs
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/fs/ufs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1212953 1238241 4060416 4073391 4083720 4092407
4096789 4105663 4129188 4134299 4137387 4146445 4174331 4196986

パッチ ID: 105394-11
キーワード: security y2000 atq atrm audit 512 bus ulimit cron
説明: SunOS 5.6_x86: at & cron utility patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1119287 1221605 4009174 4030300 4056290 4063161
4099355 4099944 4106673 4162300 4176667 4177427 4184825 4207210

パッチ ID: 105200-11
キーワード: OpenWindows X Server common library video monitor configuration
説明: OpenWindows 3.6_x86: Common library, monitors, and configuration
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4034696 4062666 4107615 4141036 4122814 4134171
4122790 4174392 4173668 4195130 4201876 4184527 4256336 4256904 4232499 4204488

パッチ ID: 105787-10
キーワード: security ip tcp_priv_stream routing ip_enable_group_ifs ndd ICK_VALID
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/drv/ip patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4069630 4077132 4087572 4090772 4098152 4099624
4105140 4141241 4172721 4184794 4242224 4260058

(続く)

続き

パッチ ID: T105491-09 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security dleror linker audit libdl mcs read-only
説明: SunOS 5.6_x86: linker patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1046594 1182346 4008477 4044285 4050759 4058928
4062757 4064724 4066815 4067926 4068108 4069849 4074398 4075643 4079003 4079633
4081897 4084466 4085036 4085734 4088306 4092335 4092511 4092633 4093064 4095156
4095586 4096079 4096995 4097806 4099108 4099127 4099713 4100002 4102130 4102797
4104963 4105877 4106398 4107294 4107525 4108699 4108808 4110994 4112585 4114006
4116970 4118404 4121152 4121546 4122351 4124773 4126137 4126405 4127674 4128742
4128755 4129745 4134302 4134367 4135749 4141174 4143820 4145987 4150646 4153501
4156854 4159122 4160709 4161775 4165899 4168556 4173576 4174468 4176579 4176796
4179880 4188527 4188843 4205087

パッチ ID: T105787-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security ip tcp_priv_stream routing ip_enable_group_ifs ndd ICK_VALID
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/drv/ip patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4069630 4077132 4087572 4090772 4098152 4099624
4105140 4141241 4172721 4242224

パッチ ID: T105721-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: nfs SIGALRM SIGCLD ENOENT xdr_getrddirres() DNLC nfs3lookup
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/fs/nfs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4034003 4063668 4110785 4113636 4122950 4136726
4170410 4175299 4212925

パッチ ID: T105694-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: cachefs device setuid symbolic umount fsck
説明: SunOS 5.6_x86: cachefs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1235055 1244173 1254308 1260827 1261839 4022851
4054794 4057251 4057254 4059759 4085452 4089083 4104645 4104673 4116501 4150945
4170190 4216501 4235860

パッチ ID: 105530-08
キーワード: security tcp rlogin TCP ACK FIN packet listen
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/drv/tcp patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4060583 4083814 4089811 4118528 4128642 4153353
4155373 4178455

パッチ ID: 106126-08
キーワード: patchadd patchrm CD du
説明: SunOS 5.6_x86: Patch for patchadd and patchrm
SunOS リリース: 5.6_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4107568 4092154 4104959 4113647 4116095 4112891
4131394 4122997 4137237 4146913 4096983 4186941 4176890 4190866 4150762 4193454
4194281 4194308 4245279 4238146 4121553 4220792 4224092 4258626 4253076 4260216
4258658

パッチ ID: 105756-07
キーワード: security libresolv multithreaded in.named res_mkquery
説明: SunOS 5.6_x86: libresolv, in.named, named-xfer, nslookup, nstest patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1266187 4056997 4068577 4071167 4089702 4118596
4127017 4127028 4133340 4133571 4134616 4168525

パッチ ID: T106626-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security libsec ACL df unmount vfs_minfrags i_contents ufs
説明: SunOS 5.6_x86: libsec.a, libsec.so.1 and /kernel/fs/ufs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1212953 1238241 4042372 4055677 4060416 4072815
4073391 4083720 4091822 4092407 4096789 4105663 4125102 4129188 4134299 4137387
4146445 4149597 4162184 4174331 4196986 4198533 4285794

パッチ ID: T105616-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security mountd permission -osec=krb5
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/nfs/mountd patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4019233 4076760 4092505 4094336 4096655 4096792
4156397 4196956

パッチ ID: T105505-07 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: st.conf volatile DLT 7000 TRAN_BUSY WangDAT
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/drv/st.conf and kernel/drv/st patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4077046 4095719 4098879 4114595 4149984 4194536
4206636 4211607 4249628 4252890 4260046 4265521 4273342 4278708

パッチ ID: T105473-07 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: automountd automounter loopback local memory GSSAPI
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/autofs/automountd patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4076901 4084488 4089254 4090851 4117134 4137498
4148041 4188020

パッチ ID: 105423-07
キーワード: boot panic kmem_alloc itu escd.rf boot.bin dtr-rts-off ignore-cd
説明: SunOS 5.6_x86: /platform/i86pc/boot/solaris/boot.bin patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 1227374 1262801 4060205 4061541 4074749 4077603
4086357 4089054 4090467 4098598 4101295 4106114 4122009 4227256

パッチ ID: T106362-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: fcntl bcp shell EAGAIN O_NDELAY ksh csh sh jsh rsh rksh SEGV
説明: SunOS 5.6_x86: csh/jsh/ksh/rksh/rsh/sh patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1249488 4096722 4106680 4131971 4148616 4248007
4265262

パッチ ID: T106293-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: pkgmk pkgadd pkginstall YYYYmm tmp core fstab
説明: SunOS 5.6_x86: pkgadd/pkginstall & related utilities
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4086096 4108278 4144291 4155622 4176616 4197238
4199317 4230299 4233936 4244631 4247895 4249447 4257708 4272567 4279039

パッチ ID: T106440-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: syslogd file descriptors MP pipe -1
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/sbin/syslogd patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4091197 4129273 4145169 4154248 4176365 4192420
4224086 4256338

パッチ ID: 105396-06
キーワード: security sendmail NIS lookup core SMTP denial-of-service vacation
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/sendmail patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4069756 4072035 4086447 4087808 4132274 4167931
4167953 4171646 4175384 4204832 4214268 4215670

パッチ ID: 106272-05
キーワード: security pam_unix.so.1 csh umask nispasswd Passwd_compat
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/security/pam_unix.so.1 patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1236638 4099458 4112403 4118458 4136479 4172457
4223215

パッチ ID: 105195-06
キーワード: matrox millennium mystique productiva G100 G200
説明: OpenWindows 3.6_x86: Updated Matrox video support
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4089056 4089057 4144855 4136534 4201876 4226513
4152129 4243973 4256047 4244681

パッチ ID: T107734-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)

(続く)

続き

キーワード: security dlerror linker audit libdl mcs read-only tsorted cyclic
説明: SunOS 5.6_x86: cyclic dependencies within tsorted inits fail with lazy
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1046594 1182346 4008477 4044285 4050759 4058928
4062757 4064724 4066815 4067926 4068108 4069849 4074398 4075643 4079003 4079633
4081897 4084466 4085036 4085734 4088306 4092335 4092511 4092633 4093064 4095156
4095586 4096079 4096995 4097806 4099108 4099127 4099713 4100002 4102130 4102797
4104963 4105877 4106398 4107294 4107525 4108699 4108808 4110994 4112585 4114006
4116970 4118404 4121152 4121546 4122351 4124773 4126137 4126405 4127674 4128742
4128755 4129745 4134302 4134367 4135749 4141174 4143820 4145987 4150646 4153501
4156854 4159122 4160709 4161775 4165487 4165899 4168556 4173576 4174468 4176579
4176796 4179880 4188527 4188843 4205087 4214649 4215164 4215587 4225937 4234657
4235241 4238071 4248290 4254171 4256518 4267980

パッチ ID: T105517-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: SIGSEGV fsck
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/fs/ufs/fsck and mountall patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4079241 4097367 4205959

パッチ ID: T105487-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: hfs ISO-9660 CD Rock Ridge HP-UX process_dirblock
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/fs/hfs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4079732 4101513 4101516 4124157 4141713 4218422

パッチ ID: T106272-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security pam_unix.so.1 csh umask nispasswd Passwd_compat
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/security/pam_unix.so.1 patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1236638 4099458 4112403 4118458 4136479 4172457

パッチ ID: T106913-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: Japanese ja sdtudctool sdtude_extract
説明: Solaris 2.6(japanese)_x86: sdtudctool and sdtude_extract patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4183926 4178964 4162315 4176705 4179808 4199125
4209084

パッチ ID: T105793-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: tar core dump archive 8-GB ACLs
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/sbin/tar patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4064315 4074640 4107828 4118310 4159872

パッチ ID: 105781-04

(続く)

続き

キーワード: security fifofs panic VOP_REALVP WebNFS getattr
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/fs/fifofs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4090929 4149694 4166116 4211236

パッチ ID: T106659-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security mailtool attachments home mailrc
説明: OpenWindows 3.6_x86: mailtool attachment security patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4153829 4170200 4296268

パッチ ID: 106353-04
キーワード: xview mailtool pw_line core pageview cmdtool
説明: OpenWindows 3.6_x86: Xview Patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4104901 4128204 4129979 4141064

パッチ ID: 106236-04
キーワード: security lp.tell in.lpd lpfilter bsd_lpsched.so.1 -y
説明: SunOS 5.6_x86: lp patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1218803 4033371 4057917 4059204 4075350 4077583
4083736 4085677 4085695 4090067 4093648 4094225 4094545 4095132 4106214 4109721
4110644 4115983 4116398 4119457 4129917 4130727 4131103 4137389 4139071 4147263
4147753 4154946 4156106 4165358 4167195 4167443 4179341 4184007 4186811 4189161
4200078 4207894 4213872 4215944 4217305 4218904 4220608 4240238

パッチ ID: 106124-04
キーワード: security locale smgl2roff SDATA catman getNAME makewhatis
説明: SunOS 5.6_x86: sgml patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4061735 4107178 4109955 4113400 4119286 4120885
4121698 4125358 4129669 4130443 4131009 4137367 4139557 4143535 4144965 4150973
4154565 4155595 4159819 4160932 4160984 4163670 4165265 4165911 4166041 4174445

パッチ ID: T105781-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: fifofs panic VOP_REALVP WebNFS getattr
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/fs/fifofs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4090929 4149694 4166116

パッチ ID: 105723-03
キーワード: security ufsdump 2GB ufsrestore
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/lib/fs/ufs/ufsdump and ufsrestore patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 4090210 4095387 4132365 4240566

パッチ ID: T106656-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: NFS umount iostat mpstat vmstat

説明: SunOS 5.6_x86: iostat/mpstat/vmstat patch

SunOS リリース: 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4085790 4098326 4203983

パッチ ID: 106640-03

キーワード: rpcmod clnt_clts_kinit leak COTS

説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/strmod/rpcmod patch

SunOS リリース: 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4064646 4082225 4094258 4152975 4176623

パッチ ID: 106523-03

キーワード: security ftp mget mput fork client

説明: SunOS 5.6_x86: /usr/bin/ftp patch

SunOS リリース: 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4080226 4193146 4197316

パッチ ID: T106342-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: initpipe initial poll inittab

説明: SunOS 5.6_x86: init patch

SunOS リリース: 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4085104 4225983 4247300

パッチ ID: T107759-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security pax modes symlinks

説明: SunOS 5.6_x86: pax incorrectly change mode of symlink target file

SunOS リリース: 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4061087 4119120

パッチ ID: T105747-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: cpio copy directory

説明: SunOS 5.6_x86: /usr/bin/cpio patch

SunOS リリース: 5.6_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4072520 4104534 4231078 4248026

パッチ ID: 106614-02

キーワード: Japanese ja iconv UTF-8

説明: SunOS 5.6_x86 (JFP 2.6): Japanese UTF-8 iconv patch

SunOS リリース: 5.6_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4061848 4109414 4129486 4162310 4190688 4216797
4221058 4232724

パッチ ID: 107566-02
キーワード: security tftp passed
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/sbin/in.tftpd patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4061625 4254347

パッチ ID: T106472-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: autofs automount panic kernel
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/fs/autofs patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4112107 4171931

パッチ ID: T106469-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security cu 8bit locale
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/bin/cu and usr/bin/uustat patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4126845 4164924

パッチ ID: 106363-02
キーワード: y2000 xterm size cde incorrect rows cols switched 4 digit date kill
説明: OpenWindows 3.6_x86: multiple xterm fixes
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4048352 1197532 4184297

パッチ ID: T106286-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: : E3000 panic mutex_exit
説明: SunOS 5.6_x86: /kernel/sys/msgsys patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4058214 4107055

パッチ ID: 108040-02
キーワード: sag tektronix 4014
説明: SunOS 5.6_x86: sag command is broken
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4163982 4258285

パッチ ID: T106995-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: ucblinks PCI cdroms
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/ucb/ucblinks patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4161576

(続く)

続き

パッチ ID: T107967-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Htt
説明: Solaris 2.6_x86: 'Chinese/English' key is not working correctly
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4246819

パッチ ID: 106930-01
キーワード: uadmin boot A_REBOOT A_SHUTDOWN
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/sbin/uadmin patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4167438

パッチ ID: 107913-01
キーワード: locale xwininfo dtwm
説明: OpenWindows 3.6_x86: xwininfo patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4240524

パッチ ID: 106895-01
キーワード: security uux buffer overflow
説明: SunOS 5.6_x86: /usr/bin/uux patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4179980

パッチ ID: 105875-01
キーワード: upgrade SHWP
説明: SunOS 5.6_x86: libspmisoft.so.1 patch for upgrade
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4030965

パッチ ID: 107816-01
キーワード: cpp xrdb
説明: OpenWindows 3.6_x86: xrdb patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4221044

パッチ ID: T107787-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: compress HP UX
説明: SunOS 5.6_x86: compress fails on HP UX mounted filesystems
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4217213

パッチ ID: T106730-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: makedbm passwd corruption

(続く)

続き

説明: SunOS 5.6_x86: /usr/sbin/makedbm patch
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4144726

パッチ ID: 107532-01
キーワード: vold dumps core
説明: SunOS 5.6_x86: vold dumps core
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4062297

パッチ ID: 107493-01
キーワード: y2000 runacct loginlog
説明: SunOS 5.6_x86: Y2000, runacct cannot update /var/adm/acct/sum/loginlog
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4212054

パッチ ID: 107489-01
キーワード: df -o lofs mounted
説明: SunOS 5.6_x86: df -o i" fails for lofs mounted directories
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4211712

パッチ ID: 108389-01
キーワード: panics BSD pty MP
説明: SunOS 5.6_x86: System panics reproducibly in BSD pty code on MP system
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4184049

パッチ ID: T107327-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Bad Trap rlmodrput
説明: SunOS 5.6_x86: Bad Trap in rlmodrput
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4204044

パッチ ID: T108324-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: head >=
説明: SunOS 5.6_x86: head head(1) command does not work with lines >=
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4076487

パッチ ID: T107299-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: ntpdate -w
説明: SunOS 5.6_x86: ntpdate -w does not work correctly
SunOS リリース: 5.6_x86
関連アーキテクチャ: i386

(続く)

このパッチで修正されるバグ ID: 4201436

パッチ ID: T108296-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: ejecting floppies corrupts
 説明: SunOS 5.6_x86: manually ejecting and changing floppies corrupts contents
 SunOS リリース: 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4158699

パッチ ID: 108251-01
 キーワード: lofs BAD TRAP panics
 説明: SunOS 5.6_x86: System panics w/ BAD TRAP=0x31 due to lofs bug
 SunOS リリース: 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4218452

パッチ ID: 108173-01
 キーワード: showrev core Xsun
 説明: SunOS 5.6_x86: showrev patch
 SunOS リリース: 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4162298

パッチ ID: T108167-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: rmt largefiles-aware
 説明: SunOS 5.6_x86: rmt needs to be made largefiles-aware
 SunOS リリース: 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4109806

パッチ ID: 108130-01
 キーワード: fontserver crashes
 説明: OpenWindows 3.6_x86: Font Server patch
 SunOS リリース: 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4239205

パッチ ID: T107069-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: cdrom panics Rejecting
 説明: SunOS 5.6_x86: Ejecting a cdrom when still accessing causes panics
 SunOS リリース: 5.6_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4181968

パッチ ID: 107079-17
 キーワード: server Xsun euro argument libdga Thai Xserver crash S7 URL xdm
 説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Xsun Patch
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4183231 4184889 4178200 4192179 4168571 4208458
 4102279 4198669 4209569 4136721 4206665 4234976 4157641 4248958 4109097 4231879
 4232363 4223880 4262197

(続く)

続き

パッチ ID: T107181-15 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security dtlogin restart X servers SIGHUP corona stuck dtl remote
説明: CDE 1.3_x86: dtlogin patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4178402 4178408 4178415 4178431 4184874 4189472
4190072 4190214 4201306 4205939 4198977 4225029 4225037 4213502 4170777 4236871
4225029 4240836 4239275 4242140 4250335 4246047 4237848 4259869 4267545 4273928
4275495 4185947

パッチ ID: T107201-11 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security attachment mime messages subtypes netscape addresses Tooltips
説明: CDE 1.3_x86: dtmail patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4234109 4190570 4201459 4191180 4180102 4134913
4213221 4162284 4213057 4205876 4268889 4166321

パッチ ID: 107444-10
キーワード: pkgmk pkginstall installf symbolic removef lstat
説明: SunOS 5.7_x86: packaging utilities patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4155622 4176616 4197238 4199317 4222097 4226928
4230299 4233936 4244631 4247895 4249447 4257708 4264760 4272567 4279039

パッチ ID: T107082-10 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Motif scale libXm.so.3 header SEGV XtSetValuse MenuBar Leak Java
説明: Motif 1.2.7_x86 and 2.1.1_x86: Runtime library patch for Solaris 7
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4159034 4149711 4171291 4170491 4162369 4165677
4171723 4174322 4183749 4186734 4186826 4128879 4191550 4197157 4197929 4197924
4207929 4209526 4211104 4224885 4226996 4191346 4201602 4219810 4240553 4247649
4251451 4245487 4258474 4064803

パッチ ID: 106979-07
キーワード: security sysidconfig permission name DNS yp nis library
説明: SunOS 5.7_x86: sysid patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4166260 1213369 4204782 4205403 4207595 4208607
4211403 4225369 4229542 4236194 4235726 4257225

パッチ ID: T106931-09 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: I10n_euro bug fixes, euro symbol, OW, printing
説明: SunOS 5.7_x86: European locale updates
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4179837 4175110 4193529 4203951

(続く)

続き

パッチ ID: T107649-09 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: X11R6.4 upgrade feature CUP Security DPMS Record EVI UDC VW
説明: OpenWindows 3.6.1_x86 Xsun X11R6.4 Feature Patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4221500 4222190 4222871 4223242 4225253 4225409
4226602 4226641 4226605 4229039 4225372 4198669 4218677 4220615 4229532 4220673
4237267 4237375 4233145 4226459 4245335 4237407 4258344 4259460 4261919 4262392
4215548 4233140 4237408 4245948 4246367 4247287 4248067 4239004 4240182 4250447
4254255 4255571 4244399 4261678 4262197 4263599 4263893 4263894 4263895 4264088
4264250 4264756 4266316 4267964 4262560 4274454

パッチ ID: T107444-09 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: pkgmk pkginstall installf symbolic removef lstat
説明: SunOS 5.7_x86: packaging utilities patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4155622 4176616 4197238 4199317 4222097 4226928
4230299 4233936 4244631 4247895 4249447 4257708 4264760

パッチ ID: 106981-07
キーワード: sleep libthread UNBOUND suspension resumption mutex JTG dbx SEGV
説明: SunOS 5.7_x86: libthread patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4106127 4157739 4173285 4173422 4189981 4207409
4209710 4209713 4220253 4234139 4237201 4242833

パッチ ID: T106951-08 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: ld.so setuid libld.so.2 dlclose memory register linker CPU99
説明: SunOS 5.7_x86: linker patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4159122 4165487 4173576 4174468 4176579 4176796
4179880 4188527 4188843 4194264 4205087 4214649 4215164 4215587 4225937 4234657
4235241 4238071 4248290 4254171 4256518 4267980

パッチ ID: T106943-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security libnsl automountd nfsd rpc lookups rpc.nisd initgroups
説明: SunOS 5.7_x86: libnsl, rpc.nisd and nis_cachemgr patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4055704 4055715 4055724 4055727 4152002 4157559
4161969 4162879 4165775 4186012 4202735 4216240 4222922 4233192 4239643 4240463
4246959

パッチ ID: 106542-08
キーワード: security kernel boot.bin PAE mmu36 PCI BSM panic nexus I20 IOP
説明: SunOS 5.7_x86: Kernel update patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1264344 4061229 4104844 4115711 4115715 4120985

(続く)

続き

4122009 4125102 4136059 4138467 4139770 4141554 4143503 4147402 4151780 4152055
4155392 4161576 4163335 4165983 4166495 4166626 4167174 4167270 4168739 4168892
4170410 4170500 4170602 4171679 4172111 4172702 4173187 4173696 4174167 4174308
4174331 4174354 4174434 4174755 4175299 4175558 4175651 4176365 4176940 4177496
4178298 4178455 4179342 4179407 4179861 4179883 4180045 4181149 4181152 4181570
4182043 4182047 4182072 4182227 4182234 4182240 4182970 4184015 4184430 4184786
4184788 4184794 4184852 4184877 4185110 4185366 4185742 4186155 4186202 4187811
4187978 4188005 4188193 4188212 4190083 4190138 4190405 4190466 4190566 4190796
4190807 4190812 4190962 4190995 4191544 4192056 4192195 4192420 4192639 4193375
4193378 4193379 4193380 4193381 4193383 4193467 4193657 4194454 4194509 4195875
4196408 4196541 4196986 4196994 4196998 4197140 4197418 4197422 4197461 4198134
4198723 4198942 4199032 4199042 4199606 4200121 4200217 4200447 4200817 4200972
4201921 4202082 4202680 4203157 4203495 4204046 4205009 4205612 4205959 4206401
4207080 4211361 4211840 4212524 4212620 4212634 4212925 4214611 4214739 4217122
4218800 4219071 4223115 4223353 4224086 4225553 4226963 4227256 4227724 4231212
4233009 4234085 4236372 4236795 4238230 4238982 4240566 4242668 4244494 4245196
4245852 4246789 4250104 4252011 4255621 4255660 4255768 4256294 4257413 4257454
4258561 4258750 4258771 4260700 4261432 4264638 4264976 4265594 4269834 4271034
4272453 4279983

パッチ ID: T106981-07 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: sleep libthread UNBOUND suspension resumption mutex JTG dbx SEGW

説明: SunOS 5.7_x86: libthread patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4106127 4157739 4173285 4173422 4189981 4207409
4209710 4209713 4220253 4234139 4237201

パッチ ID: T106979-07 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security sysidconfig permission name DNS ypbind nis library

説明: SunOS 5.7_x86: fix for sysid

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4166260 1213369 4204782 4205403 4207595 4208607
4211403 4225369 4229542

パッチ ID: 106734-06

キーワード: patch analyzer suninstall

説明: SunOS 5.7_x86: Create a patch analyzer

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586
4186587 4186588 4242739 4250171

パッチ ID: T106734-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: patch analyzer

説明: SunOS 5.7_x86: Create a patch analyzer

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586
4186587 4186588 4242739

(続く)

続き

パッチ ID: T107393-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Patch for bootconf
説明: SunOS 5.7_x86: bootconf bug fixes.
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4162292 4173065 4237204 4219717 4219988 4202793
4164753 4164755 4195019 4208893 4230493 4246372

パッチ ID: T107149-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: mmap cachefs nfs cachefs_write EFAULT autoclient
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/cachefs patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4085452 4166371 4170190 4171181 4194466 4216501
4235860

パッチ ID: T107015-06 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Patch for sd
説明: SunOS 5.7_x86: sd bug fixes.
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4170911 4165914 4170657 4182538 4165905 4171479
4232401 4220005 4165837 4237170 4208100 4216541 4170197 4210139 4257298

パッチ ID: 106927-06
キーワード: sdtudctool sdtudc_register sdtudc_extract
説明: SunOS 5.7_x86: sdtudctool, sdtudc_register and sdtudc_extract patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4199125 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315
4176705 4179808 4192450 4189691 4212116 4209084 4270575

パッチ ID: 106927-05
キーワード: sdtudctool sdtudc_register sdtudc_extract
説明: SunOS 5.7_x86: sdtudctool, sdtudc_register and sdtudc_extract patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4199125 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315
4176705 4179808 4192450 4189691 4212116 4209084

パッチ ID: T107461-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: st Magstar auto eject ioctl uscsigetrq MLR-3 SLR-5
説明: SunOS 5.7_x86: st driver patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4166568 4166574 4166583 4194536 4206636 4208102
4211607 4249628 4252890 4260046 4265521 4278708

パッチ ID: T107328-05 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: OpenWindows X Server common library video monitor configuration
説明: OpenWindows 3.6_x86: Common library, monitors, and configuration
SunOS リリース: 5.7_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4187574 4205588 4202883 4218668 4220038 4058078
4166376 4229567 4164774 4221251 4221709 4218791 4059766 4172554 4213037 4219187
4206802 4184527 4232488 4232499 4256904 4256336

パッチ ID: 108143-05
キーワード: SUNWos86r iprb Platform Support OS Functionality (Root)
説明: SunOS 5.7_x86: iprb patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4221722 4217629 4181961 4192641 4227350 4266782
4266309

パッチ ID: T107894-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security tsession heavy load hang authentication
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Tooltalk patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4229531 4153078 4260867 4204015 4278349

パッチ ID: T107617-04 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: l10n_euro bug fixes, euro symbol, OW, printing
説明: SunOS 5.7_x86: European locale updates S7
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4179837 4175110 4193529 4203951

パッチ ID: 107172-04
キーワード: patchadd patchrm
説明: SunOS 5.7_x86: Fixes for patchadd and patchrm
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4186941 4176890 4190866 4150762 4193454 4194281
4194308 4224092 4245279 4258626 4253076 4260216 4258658

パッチ ID: 107120-04
キーワード: manpage JFP ja
説明: SunOS 5.7_x86 (JFP 7): manpages patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4185342 4190255 4195644 4199110 4222912

パッチ ID: T107867-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: cadp adaptec ultra2 driver-x86 boot-x86 AIC-7896 AIC-7890A AIC-7890AB
説明: SunOS 5.7_x86: cadp, add Ultra2 SCSI support
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4154328 4205612 4203809 4236588 4260888

パッチ ID: T107835-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: dkio extensions EBP erase bypass
説明: SunOS 5.7_x86: dkio.h & commands.h patch

(続く)

続き

SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4201824 4210139 4267022

パッチ ID: 106794-03
キーワード: security buffer overflow ufsdump ufsrestore multivolume
説明: SunOS 5.7_x86: ufsdump and ufsrestore patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4077276 4132365 4145883 4169853 4184189 4240566

パッチ ID: 107785-03
キーワード: SUNWman man manual pages
説明: SunOS 5.7_x86: Manual Page updates for Solaris 7
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4246662 4242931 4184788 4165909 4195648 4166583
4214692 4214697 4167270 4169315 4180075 4193614 4189427 4173822 4186746 1070678
4136939 4153439 4162004 4171658 4170933 4169829 4146611 4147612 4165502 4166848
4178133 4179296 4181039 4181145

パッチ ID: T106737-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security mailtool vacation
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: mailtool vacation security patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4170200 4296268

パッチ ID: 107710-03
キーワード: multi-thread libssasmp subagents mibiisa snmpdx swap memleak snmp
説明: SunOS 5.7_x86: libssasmp/libssagent/snmpdx/mibiisa patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4144431 4166235 4171108 4172607 4176076 4178419
4185282 4186361 4189025 4208419 4218931 4219323 4224859 4224980 4232111 4233051
4237139 4247714 4248205 4250162

パッチ ID: T107679-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: ATI, RAGE PRO, RAGE PRO TURBO
説明: OpenWindows 3.6_x86: Updated ATI video support.
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4212681 4206075 4228307 4233396 4236509 4200584

パッチ ID: 107637-03
キーワード: IM OM htt xlibi18n locale.alias locale.dir compose.dir ximp40
説明: SunOS 5.7_x86: X Input & Output Method patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4181244 4225501 4244854 4195045 4179338 4237835
4230178 4209784 4180391 4212962 4184887 4190868 4257303 4165517 4169076 4169906
4247250 4262269 4281297 4274243 4253988

(続く)

続き

パッチ ID: 107545-03
キーワード: fsck filesystem memory mountall ufs
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/fs/ufs/fsck patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4097367 4205959 4267022

パッチ ID: 107455-03
キーワード: security ftp global timeout buffer overflow
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/ftp patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4138598 4193146 4197316

パッチ ID: T107452-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security cron audit libbsm
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/cron patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4177427 4184825 4196408 4226756

パッチ ID: T107286-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security passwd shell pam_unix.so.1 PASSREQ=YES
説明: SunOS 5.7_x86: passwd & pam library patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4144819 4172457 4223215

パッチ ID: 107116-03
キーワード: security printd control core lpstat queue buffer lpsched
説明: SunOS 5.7_x86: LP Patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4033371 4057917 4085677 4093648 4095132 4129917
4131103 4156106 4165358 4167195 4167443 4179341 4184007 4186811 4189161 4200078
4207894 4213872 4215944 4217305 4218904 4220608 4240238

パッチ ID: T108069-03 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: SUNWman man manual pages
説明: SunOS 5.7_x86: Manual Page updates for Solaris 7
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4235625 4244084 4254199 4141557 4141559 4155912
4184788 4165909 4195648 4166583 4214692 4214697 4167270 4169315 4180075 4193614
4189427 4173822 4186746 1070678 4136939 4153439 4162004 4171658 4170933 4169829
4146611 4147612 4165502 4166848 4178133 4179296 4181039 4181145 4246662 4242931

パッチ ID: 106988-02
キーワード: tar ACLs root exit read-only
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/tar patch
SunOS リリース: 5.7_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4118310 4159872

パッチ ID: 106972-02
キーワード: xetops zh.GBK TAB
説明: SunOS 5.7_x86: xetops of zh.GBK locale doesn't process TAB character
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4187748

パッチ ID: 106945-02
キーワード: security fifofs streams getattr L_PEEK ioctl fn_lock
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/fifofs patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4166116 4211236

パッチ ID: 106939-02
キーワード: res_mkquery libresolv __confcheck in.named EAGAIN
説明: SunOS 5.7_x86: libresolv patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4134616 4211042

パッチ ID: 107879-02
キーワード: ncrs driver patch
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/drv/ncrs patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4189732 4198547 4205488 4207541 4207848 4212991
4230280 4230283 4009709 4011181 4017961 4155184 4173622 4215681 4230736 4165916
4174395 4165916

パッチ ID: T107844-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: init SIGTERM SIGKILL inittab
説明: SunOS 5.7_x86: /sbin/init and /usr/sbin/init patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4225983 4247300

パッチ ID: 107808-02
キーワード: cpp xrdb
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: xrdb patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4221044

パッチ ID: 107797-02
キーワード: lofs vget NFS handle mount lo_lookup
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/lofs patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 4176333 4218452

パッチ ID: T107793-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security pax mode symlinks

説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/pax patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4061087 4119120

パッチ ID: 107558-02

キーワード: sag x-axis tektronix

説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/sag patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4163982 4258285

パッチ ID: T108552-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)

キーワード: security rpc.nispasswd shadow verifier

説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/rpc.nispasswd patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4238754 4246959

パッチ ID: 107478-02

キーワード: 4.1.4 -hosts automount mountd netgroup

説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/nfs/mountd patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4092505 4196956

パッチ ID: 107466-02

キーワード: hsfs block CD-R cdrom directory

説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/hsfs patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4193932 4218422

パッチ ID: 107442-02

キーワード: mailx addr parse address

説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/mailx patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4133315 4207629

パッチ ID: 107391-02

キーワード: pcplusmp APIC reboot 5.7

説明: SunOS 5.7_x86: pcplusmp patch

SunOS リリース: 5.7_x86

関連アーキテクチャ: i386

このパッチで修正されるバグ ID: 4187580 4217634

パッチ ID: 107291-02

(続く)

続き

キーワード: 53c896 symhis1 pci scsi symbios driver-x86 boot-x86
説明: SunOS 5.7_x86: boot diskette for Symbios symhis1 driver
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4173065 4192757

パッチ ID: T108081-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: l10n_euro bug fixes, euro symbol, OW, printing
説明: SunOS 5.7_x86: European locale updates
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4179837 4175110 4193529 4203951

パッチ ID: 108060-02
キーワード: Matrox Millennium Mystique Productiva G100 G200 G400
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Updated Matrox video support (S7 5/99).
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4152129 4226513 4243973 4256047 4244681

パッチ ID: T107994-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: dtmail print non iso1 locales
説明: Cannot print in dtmail in any non iso-1 locale _x86
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4072209

パッチ ID: 106986-01
キーワード: uadmin boot arguments A_REBOOT A_SHUTDOWN
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/uadmin and /sbin/uadmin patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4167438

パッチ ID: T107969-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Htt
説明: SunOS 5.7_x86: 'Chinese/English' key is not working correctly
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4246819

パッチ ID: 106968-01
キーワード: htt_server zh Quanpin multilingual chinese
説明: SunOS 5.7_x86: htt server unexpectedly restart
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4172429

パッチ ID: 106953-01
キーワード: security uux buffer overflow
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/uux patch
SunOS リリース: 5.7_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4179980

パッチ ID: 106941-01
キーワード: makedbm corrupt output files
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/makedbm patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4144726

パッチ ID: T107925-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Traditional Chinese zh_TW Dtmail
説明: Solaris 7_x86: Fix the problem with Dtmail sent data
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4236355

パッチ ID: 107922-01
キーワード: locale xwininfo dtwm ja
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: xwininfo patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4240524

パッチ ID: 107920-01
キーワード: mhd.h ioctl device ID
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/include/sys/mhd.h patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4236793

パッチ ID: 106918-01
キーワード: dtmail zh.GBK coredump
説明: SunOS 5.7_x86: when view mails change charset, dtmail dump core.
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4175029

パッチ ID: 107878-01
キーワード: cadp adaptec ultra2
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/drv/cadp patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4232354 4218072 4213974 4215327 4217029 4211748
4202184 4210415 4211749 4210505 4209951 4203809 4205612 4203811 4204641 4205186
4204682 4199541 4202188 4206303 4206704 4206791 4206871 4207140 4207152 4204603
4197248 4204285 4202186 4202194 4202187 4140090 4140102 4140103 4225895 4209852

パッチ ID: T107864-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: l10n_euro bug fixes, euro symbol, OW, printing
説明: SunOS 5.7_x86: European locale updates
SunOS リリース: 5.7_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4179837 4175110 4193529 4203951

パッチ ID: T107857-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: performance AIO
説明: SunOS 5.7_x86: POINT PATCH: 4236372 - aio performance improvements
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4236372

パッチ ID: 107839-01
キーワード: prex core libtnfctl
説明: SunOS 5.7_x86: libtnfctl patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4192482

パッチ ID: 107814-01
キーワード: japanese ja iconv UTF-8
説明: SunOS 5.7_x86: Japanese UTF-8 iconv patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4216797 4221058 4232724

パッチ ID: 107812-01
キーワード: japanese ja iconv
説明: SunOS 5.7_x86: Japanese iconv patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4216797 4232724

パッチ ID: 107800-01
キーワード: compress uncompress zcat filesystem
説明: SunOS 5.7_x86: compress/uncompress/zcat patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4217213

パッチ ID: 107681-01
キーワード: SysV queue msgsys
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/sys/msgsys patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4058214

パッチ ID: 107625-01
キーワード: df lofs mount directory
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/fs/ufs/df patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4211712

(続く)

続き

パッチ ID: T108615-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: newfs mount device.tab
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/fs/ufs/newfs patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1251864

パッチ ID: T108603-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: strerror sys_errlist
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: X Window Include Files Patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4283416

パッチ ID: 107588-01
キーワード: y2000 runacct loginlog lastlogin
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/acct/lastlogin patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4212054

パッチ ID: 107585-01
キーワード: vold core dev_cdrom.so.1
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/vold/dev_cdrom.so.1 patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4062297

パッチ ID: 107556-01
キーワード: LDAP ldap_set_option LDAP_OPT_REFERRALS core
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/libldap.so.3 patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4182937 4200010

パッチ ID: T108550-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: nisaddent netid RPC LOCAL
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/nis/nisaddent patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 1252636

パッチ ID: 107476-01
キーワード: in.telnetd core dump zmodem
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/in.telnetd patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4225958

パッチ ID: T107466-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: hsfs block CD-R cdrom
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/hsfs patch

(続く)

続き

SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4193932

パッチ ID: 107463-01
キーワード: lwp_create TS NULL doors
説明: SunOS 5.7_x86: /kernel/sched/TS patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4201921

パッチ ID: 108452-01
キーワード: rpcmod nfsd lockd TLI
説明: SunOS 5.7_x86: rpcmod patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4186250

パッチ ID: 107449-01
キーワード: cachefsd debug core autoclient
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/fs/cachefs/cachefsd patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4204223

パッチ ID: T108417-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: POSIX ksh trap
説明: SunOS 5.7_x86: ksh patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4265262

パッチ ID: T108415-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: cpio TAR/USTAR pointer
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/cpio patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4104534 4231078 4248026

パッチ ID: 107404-01
キーワード: rlmmod telmod rlmmodrput mblk
説明: SunOS 5.7_x86: rlmmod & telmod patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4204044

パッチ ID: 107402-01
キーワード: iostat -xcn RSM2000
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/iostat patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4085790

(続く)

続き

パッチ ID: 108382-01
キーワード: panic pty BSD MP
説明: SunOS 5.7_x86: ptsl driver patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4184049

パッチ ID: T108377-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security X11R6.4 CUP DPMS Record EVI libdga USB OPENGL Thai
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Xsun Patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4102279 4109097 4136721 4154511 4157641 4178200
4183231 4184889 4198669 4206665 4208458 4209569 4215548 4220615 4220673 4223880
4225253 4225372 4225409 4226605 4226641 4229039 4229532 4231879 4232363 4233140
4233145 4234976 4237267 4237375 4239004 4244399 4245335 4247287 4248958 4250447
4254255 4255571 4257455 4258344 4259460 4261678 4261919 4262197 4262560 4263599
4263893 4263895 4264088 4264756 4266316 4267964 4280807 4280859

パッチ ID: T108332-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security set-uid uucp uustat buffer stack
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/uustat patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4164924

パッチ ID: 107331-01
キーワード: ntpdate -w packet
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/ntpdate patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4201436

パッチ ID: T108328-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: security set-uid uucp cu buffer stack
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/cu patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4164924

パッチ ID: 107323-01
キーワード: elx ethernet driver_aliases
説明: SunOS 5.7_x86: /etc/driver_aliases patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4193228

パッチ ID: 108320-01
キーワード: batch temporary open(2) NFS
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/at patch
SunOS リリース: 5.7_x86

(続く)

続き

関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4215586

パッチ ID: 108312-01
キーワード: head 1024 character
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/head patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4076487

パッチ ID: 108302-01
キーワード: security in.tftpd read(2) errno syscall
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/in.tftpd patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4254347

パッチ ID: T108300-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: rmt largefiles
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/rmt patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4109806

パッチ ID: 107294-01
キーワード: gsscred libgss.so.1 memory kerberos
説明: SunOS 5.7_x86: libgss.so.1 and gsscred patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4195223

パッチ ID: T108286-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: MOUNTFSYS quotacheck mnttab
説明: SunOS 5.7_x86: /etc/init.d/MOUNTFSYS patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4242666

パッチ ID: 108278-01
キーワード: Matrox Millennium Mystique Productiva G100 G200 G400
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Updated Matrox video support (S7 3/99).
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4201876 4152129 4226513 4243973 4256047 4244681

パッチ ID: 108277-01
キーワード: Matrox Millennium Mystique Productiva G100 G200 G400
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Updated Matrox video support (S7 FCS).
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4136534 4201876 4152129 4226513 4243973 4256047 4244681

(続く)

続き

パッチ ID: T108245-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: libaio SEGV SIGPROF
説明: SunOS 5.7_x86: libaio patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4231212

パッチ ID: 107234-01
キーワード: xterm kill
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: xterm patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4184297

パッチ ID: 107176-01
キーワード: SUNWman man manual pages date date.1
説明: SunOS 5.7_x86: Manual page for date.1
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4176353

パッチ ID: 108171-01
キーワード: showrev core Xsun
説明: SunOS 5.7_x86: showrev patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4162298

パッチ ID: T108163-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: jsh rsh itos() temp
説明: SunOS 5.7_x86: jsh, rsh, sh patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4215604

パッチ ID: 107128-01
キーワード: automountd cache
説明: SunOS 5.7_x86: /usr/lib/autofs/automountd patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4188020

パッチ ID: T108118-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: Fontserver crashes
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Font Server patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4239205

パッチ ID: 107077-01
キーワード: cdrom vol eject panic

(続く)

説明: SunOS 5.7_x86: /usr/kernel/drv/vol_patch
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4181968

パッチ ID: T108062-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: dtmail print non iso1 locales
 説明: Cannot print in dtmail in any non iso-1 locale _x86
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4072209

パッチ ID: 107060-01
 キーワード: sort non-whitespace separator
 説明: SunOS 5.7_x86: /usr/bin/sort and /usr/xpg4/bin/sort_patch
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4181185

パッチ ID: T108058-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: OpenWindows X Server common library video monitor configuration
 説明: OpenWindows 3.6_x86: Common library, monitors, and configuration
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4173668

パッチ ID: T108057-01 (正式にリリースされていない予備パッチ)
 キーワード: OpenWindows X Server common library video monitor configuration
 説明: OpenWindows 3.6_x86: Common library, monitors, and configuration
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4173668

パッチ ID: 107039-01
 キーワード: security catman directory permissions apropos whatis man
 説明: SunOS 5.7_x86: apropos/catman/man/whatis patch
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4107178 4154565

パッチ ID: 107019-01
 キーワード: res_mkquery libresolv __confcheck in.named
 説明: SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/in.named patch
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386
 このパッチで修正されるバグ ID: 4134616

パッチ ID: 107017-01
 キーワード: driver spwr buffer v2 gld
 説明: SunOS 5.7_x86: SPWR Patch
 SunOS リリース: 5.7_x86
 関連アーキテクチャ: i386

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ ID: 4155766 4183567

パッチ ID: 107375-01
キーワード: xview core cmdtool
説明: OpenWindows 3.6.1_x86: Xview Patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: ix86
このパッチで修正されるバグ ID: 4141064

パッチ ID: T107934-02 (正式にリリースされていない予備パッチ)
キーワード: 110n_euro message updates for SUNW(euro)is SUNW(euro)os 899
説明: SunOS 5.7_x86: 110n_euro message updates for SUNW(euro)is SUNW(euro)os 899
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4215590

パッチ ID: 108232-01
キーワード: Tooltips SDTimage Printclient messages CDE 1199
説明: Japanese CDE 1.3: Features Patch
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4265080

パッチ ID: 106928-01
キーワード: OpenWindows OW AnswerBook wsmenu workspace menu
説明: OpenWindows 3.6.1 (japanese) OW ws menu bug for _x86
SunOS リリース: 5.7_x86
関連アーキテクチャ: i386
このパッチで修正されるバグ ID: 4177882

パッチ ID: 108334-01
キーワード: hang, jserver_m, Wnn6
説明: SunOS 5.6_x86: Wnn6/Http server hangs up on a supecific condition.
SunOS リリース: 5.6
関連アーキテクチャ: x86
このパッチで修正されるバグ ID: 4253553

パッチ ID: 108655-01
キーワード: Wnn6, japanese
説明: SunOS 5.6_x86: 9th htt_server of Wnn/Http process dumps core
SunOS リリース: 5.6
関連アーキテクチャ: x86
このパッチで修正されるバグ ID: 4258749